

令和5年度

島根県保険者協議会医療費等分析事業報告書

島根県保険者協議会

(事務局 島根県・島根県国民健康保険団体連合会)

本事業は、島根県立大学の協力・助言を得つつ、分析結果を報告書として取りまとめた。関係機関におかれては、保健事業等の推進に本報告書をご活用いただきたい。

目 次

令和5年度 島根県保険者協議会医療費等分析事業 総括	1
I 医療費統計	2
◆医療費統計にあたって	2
◆本統計における疾病分類表	3
1 県全体及び制度別の状況	5
(1) 加入者数、レセプト件数、費用額	5
① 加入者数	6
② レセプト件数	7
③ 費用額	8
(2) 医療費諸率	9
① 受診率	9
② 1件当たり費用額	10
③ 1人当たり費用額	10
(3) 疾病統計	11
① 大分類別医療費	11
② 中分類別1人当たり費用額	13
③ 生活習慣病	14
2 市町村別の状況	18
(1) 加入者数、レセプト件数、費用額	18
① 年齢階層別加入者割合	18
② 制度別加入者数割合・レセプト件数割合・費用額割合	19
(2) 医療費諸率	20
① 受診率	21
② 1件当たり費用額	21
③ 1人当たり費用額	22
④ 1件当たり費用額と受診率の関係	23
⑤ 年齢調整1人当たり費用額	24
(3) 疾病統計	25
① 大分類別費用額の割合	25
② 中分類別1人当たり費用額	26
③ 生活習慣病	27

II	特定健康診査結果統計	36
	◆健診結果データ集計にあたって	36
1	県全体及び制度別の状況	37
	(1) 特定健診受診者数等	37
	(2) メタボリックシンドローム該当者・予備群割合	39
	(3) 検査等結果	40
	① 肥満者の割合	40
	② 高血圧症有病者・予備群の割合	41
	③ 糖尿病有病者・予備群の割合	42
	④ 脂質異常症有病者・予備群の割合	43
	⑤ 習慣的喫煙者の割合	44
	⑥ 毎日飲酒する人の割合	45
	⑦ 運動習慣がない人の割合	46
2	市町村別の状況	42
	(1) 特定健診受診者数等	42
	(2) メタボリックシンドローム該当者・予備群の割合	48
	① メタボリックシンドローム該当者の割合	48
	② メタボリックシンドローム予備群の割合	49
	(3) 検査等結果	50
	① 肥満者の割合	50
	② 高血圧症有病者・予備群の割合	51
	③ 糖尿病有病者・予備群の割合	53
	④ 脂質異常症有病者・予備群の割合	55
	⑤ 習慣的喫煙者の割合	57
	⑥ 毎日飲酒する人の割合	58

令和5年度 島根県保険者協議会医療費等分析事業 総括

I 医療費統計（令和5年5月診療分）

島根県人口の約7割を対象とした医療費データから、循環器系疾患に係る医療費が最も高いことが分かった。循環器系疾患に係る医療費が高いのは、1件当たり費用額としては決して高額ではない反面、受診率が高いことに起因している。中でも、高血圧性疾患に係る医療費が高額となっている。

なお、内分泌、栄養・代謝疾患、脳血管疾患、腎不全などの医療費も高いことから、生活習慣病の罹患予防及び重症化予防対策が必要と考えられる。

また、悪性新生物や骨折（特に女性）の医療費も高いため、がんの早期発見、転倒予防等も必要である。

II 特定健康診査結果統計（令和4年度特定健康診査結果データ）

健診受診者のうち、約4割が肥満に該当している。年齢では大差ない。男女別にみると、男性は約半数が肥満に該当しており、女性の約2倍となっている。

なお、習慣的喫煙者、毎日飲酒する人の割合も男性の方が女性より高く、メタボリックシンドローム該当者、高血圧、糖尿病の有病者割合も、男性が高い。

肥満対策として求められることは生活習慣の改善、特に食事や運動であるが、毎日飲酒する人は男性で4割強、運動習慣のない人は男女とも6割強といずれも高い。若い世代からの禁煙や減酒（特に男性）、運動に関する啓発、取り組みが必要である。

III 医療費と特定健診結果の状況からみえたこと

課題

【医療費】生活習慣病、特に高血圧性疾患、がんに係る医療費が高い。

女性の骨折に係る医療費が高い。

【健康状態】肥満者が多い、生活習慣病のリスク保有割合が高い。

【生活習慣】男性の飲酒頻度の高い人、習慣的喫煙者の割合が高い。

運動習慣のない人の割合が高い。



対策(案)

- 特定健診・保健指導実施率向上による生活習慣病（重症化）予防につなぐ。
- がん検診受診率向上による早期発見・早期治療につなぐ。
禁煙や減酒、運動習慣に関する啓発活動を通じて、肥満の予防・改善による生活習慣病の罹患予防、筋力低下の予防による転倒・骨折予防を行う。

I 医療費統計

◆医療費統計にあたって

1 使用データについて

次の県内医療保険者における令和5年5月診療分レセプトデータを集計した。

- ・島根県内 19 市町村国民健康保険
- ・島根県医師国民健康保険組合
- ・全国健康保険協会島根支部
- ・島根県市町村職員共済組合
- ・島根県後期高齢者医療広域連合

2 分類方法（単位）

次の方法により分類する。

【制度（別）】

（1）国保

島根県内 19 市町村国民健康保険

島根県医師国民健康保険組合：「市町村別の状況」には含まない

（2）被用者保険

全国健康保険協会島根支部

島根県市町村職員共済組合

（3）後期高齢者

島根県後期高齢者医療広域連合

【診療区分（別）】

（1）入院（食事・生活療養費を含む）

（2）入院外（調剤費用額を含む）

（3）歯科

※調剤については、費用額のみ入院外に含め、件数は含めない。

【疾病分類】

レセプト1件につき1疾病（主病）を抽出し、社会保険表章用疾病分類表に従い分類（P2、3「本統計における疾病分類表」参照）する。

なお、歯科レセプト及び疾病大分類「X I 消化器系の疾患」のうち、分類コード「1101」「1102」「1103」については、『歯科』と分類した。

3 生活習慣病の定義

次の分類コードを生活習慣病と定義する。

- ・悪性新生物：0201～0210
- ・糖尿病：0402
- ・脂質異常症：0403
- ・高血圧性疾患：0901
- ・虚血性心疾患：0902
- ・脳血管疾患：0904～0908

4 その他

本書掲載グラフのうち、端数処理の関係上、割合の合計が100%にならない場合がある。

◆本統計における疾病分類表

大分類(21項目)	中分類(122項目)	
	コード	疾 病
I 感染症及び寄生虫症	0101	腸管感染症
	0102	結核
	0103	主として性的伝播様式をとる感染症
	0104	皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス性疾患
	0105	ウイルス性肝炎
	0106	その他のウイルス性疾患
	0107	真菌症
	0108	感染症及び寄生虫症の続発・後遺症
	0109	その他の感染症及び寄生虫症
II 新生物<腫瘍>	0201	胃の悪性新生物<腫瘍>
	0202	結腸の悪性新生物<腫瘍>
	0203	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>
	0204	肝及び肝内胆管の悪性新生物<腫瘍>
	0205	気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>
	0206	乳房の悪性新生物<腫瘍>
	0207	子宮の悪性新生物<腫瘍>
	0208	悪性リンパ腫
	0209	白血病
	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>
	0211	良性新生物<腫瘍>及びその他新生物<腫瘍>
III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	0301	貧血
	0302	その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害
IV 内分泌、栄養及び代謝疾患	0401	甲状腺障害
	0402	糖尿病
	0403	脂質異常症
	0404	その他の内分泌、栄養及び代謝疾患
V 精神及び行動の障害	0501	血管性及び詳細不明の認知症
	0502	精神作用物質使用による精神及び行動の障害
	0503	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害
	0504	気分[感情]障害(躁うつ病を含む)
	0505	神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害
	0506	知的障害<精神遅滞>
	0507	その他の精神及び行動の障害
VI 神経系の疾患	0601	パーキンソン病
	0602	アルツハイマー病
	0603	てんかん
	0604	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群
	0605	自律神経系の障害
	0606	その他の神経系の疾患
VII 眼及び付属器の疾患	0701	結膜炎
	0702	白内障
	0703	屈折及び調節の障害
	0704	その他の眼及び付属器の疾患
VIII 耳及び乳様突起の疾患	0801	外耳炎
	0802	その他の外耳疾患
	0803	中耳炎
	0804	その他の中耳及び乳様突起の疾患
	0805	メニエール病
	0806	その他の内耳疾患
	0807	その他の耳疾患
IX 循環器系の疾患	0901	高血圧性疾患
	0902	虚血性心疾患
	0903	その他の心疾患
	0904	くも膜下出血
	0905	脳内出血
	0906	脳梗塞
	0907	脳動脈硬化(症)
	0908	その他の脳血管疾患
	0909	動脈硬化(症)
	0911	低血圧(症)
	0912	その他の循環器系の疾患

大分類(21項目)	中分類(122項目)	
	コード	疾 病
X 呼吸器系の疾患	1001	急性鼻咽頭炎[かぜ]
	1002	急性咽頭炎及び急性扁桃炎
	1003	その他の急性上気道感染症
	1004	肺炎
	1005	急性気管支炎及び急性細気管支炎
	1006	アレルギー性鼻炎
	1007	慢性副鼻腔炎
	1008	急性又は慢性と明示されない気管支炎
	1009	慢性閉塞性肺疾患
	1010	喘息
	1011	その他の呼吸器系の疾患
X I 消化器系の疾患	1104	胃潰瘍及び十二指腸潰瘍
	1105	胃炎及び十二指腸炎
	1106	痔核
	1107	アルコール性肝疾患
	1108	慢性肝炎(アルコール性のものを除く)
	1109	肝硬変(アルコール性のものを除く)
	1110	その他の肝疾患
	1111	胆石症及び胆のう炎
	1112	膵疾患
	1113	その他の消化器系の疾患
	X II 皮膚及び皮下組織の疾患	1201
1202		皮膚炎及び湿疹
1203		その他の皮膚及び皮下組織の疾患
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	1301	炎症性多発性関節障害
	1302	関節症
	1303	脊椎障害(脊椎症を含む)
	1304	椎間板障害
	1305	頸腕症候群
	1306	腰痛症及び坐骨神経痛
	1307	その他の脊柱障害
	1308	肩の傷害<損傷>
	1309	骨の密度及び構造の障害
	1310	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患
X IV 腎尿路生殖器系の疾患	1401	糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患
	1402	腎不全
	1403	尿路結石症
	1404	その他の腎尿路系の疾患
	1405	前立腺肥大(症)
	1406	その他の男性生殖器の疾患
	1407	月経障害及び閉経周辺期障害
	1408	乳房及びその他の女性生殖器の疾患
X V 妊娠、分娩及び産じょく	1501	流産
	1502	妊娠高血圧症候群
	1503	単胎自然分娩
	1504	その他の妊娠、分娩及び産じょく
X VI 周産期に発生した病態	1601	妊娠及び胎児発育に関連する障害
	1602	その他の周産期に発生した病態
X VII 先天奇形、変形及び染色体異常	1701	心臓の先天奇形
	1702	その他の先天奇形、変形及び染色体異常
X VIII 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの
X IX 損傷、中毒及びその他の外因の影響	1901	骨折
	1902	頭蓋内損傷及び内臓の損傷
	1903	熱傷及び腐食
	1904	中毒
	1905	その他の損傷及びその他の外因の影響
X X II 特殊目的用コード	2210	重症急性呼吸器症候群[SARS]
	2220	その他の特殊目的用コード(コロナウイルス感染症 2019)
X X 歯科	1101	う蝕
	1102	歯肉炎及び歯周疾患
	1103	その他の歯及び歯の支持組織の障害

1 県全体及び制度別の状況

(1) 加入者数、レセプト件数、費用額

本統計における加入者数、レセプト件数及び費用額は下表のとおり。国保及び後期高齢者は全加入者のデータを、被用者保険は一部の保険者に係る加入者のデータを収集している。

制度	性別	加入者数(人)	レセプト件数(件)	費用額(円)
国保	男性	57,181	55,725	2,750,060,068
	女性	60,189	65,785	2,204,782,160
	計	117,370	121,510	4,954,842,228
被用者保険	男性	115,571	77,725	2,038,999,544
	女性	115,457	90,724	2,041,190,468
	計	231,028	168,449	4,080,190,012
後期高齢者	男性	48,831	75,150	4,444,241,283
	女性	78,690	116,936	5,661,913,669
	計	127,521	192,086	10,106,154,952
合計	男性	221,583	208,600	9,233,300,895
	女性	254,336	273,445	9,907,886,297
	計	475,919	482,045	19,141,187,192

※加入者数:令和5年5月現在

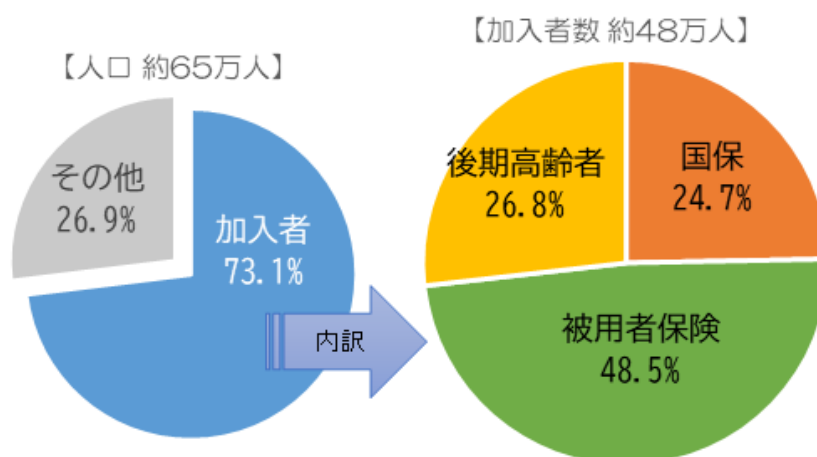
※レセプト件数及び費用額:令和5年5月診療(6月審査)分

① 加入者数

本統計における加入者数は、令和5年5月現在の合計で約48万人である。これは同時期の島根県人口約65万人（しまね統計情報データベース）のうちの73.1%に相当する。

制度別加入者の割合をみると、被用者保険が最も高く48.5%を占める。国保と後期高齢者を比較すると、国保は24.7%、後期高齢者は26.8%。昨年度までの統計結果は国保が高かったが逆転し、後期高齢者が2.1ポイント高くなった。

人口に占める加入者割合

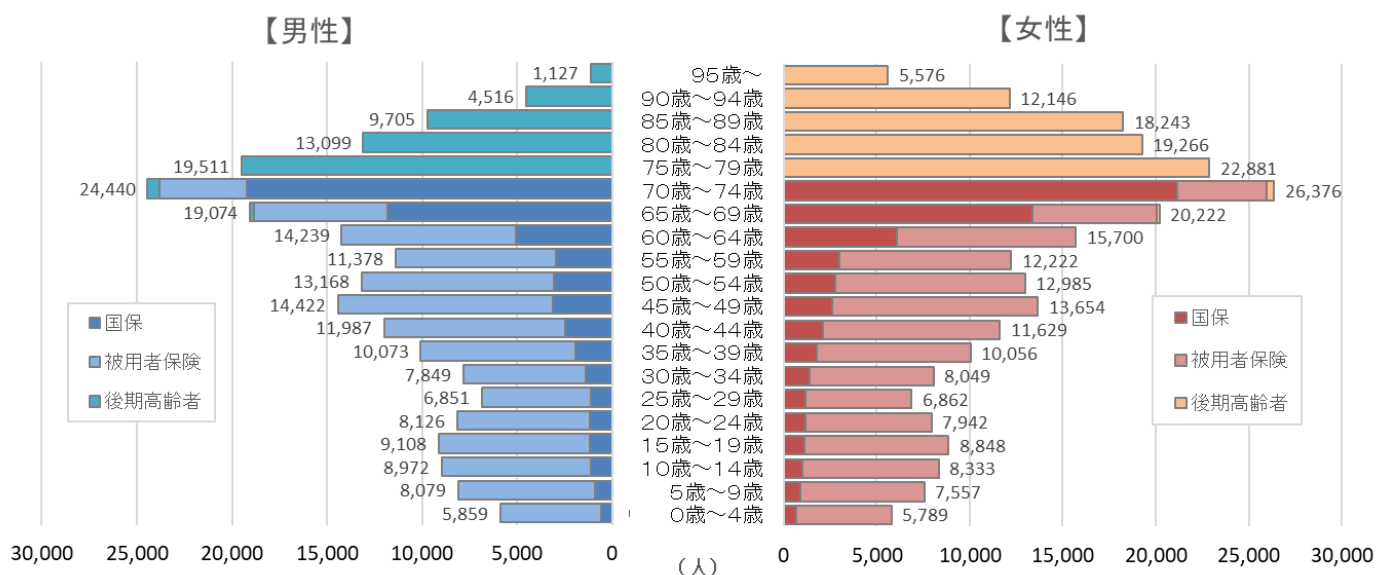


加入者数を年齢階層別にみると、70歳～74歳が最も多い。

男女別にみると、54歳までは差がみられないが、55歳以上では女性が多く、加齢とともに差が大きくなる。

また、国保と被用者保険を比較すると、64歳以下では被用者保険が多く、65歳～74歳は国保が多い。

性年齢階層別制度別加入者の状況



② レセプト件数

令和5年5月診療分のレセプト件数は約48万件である。

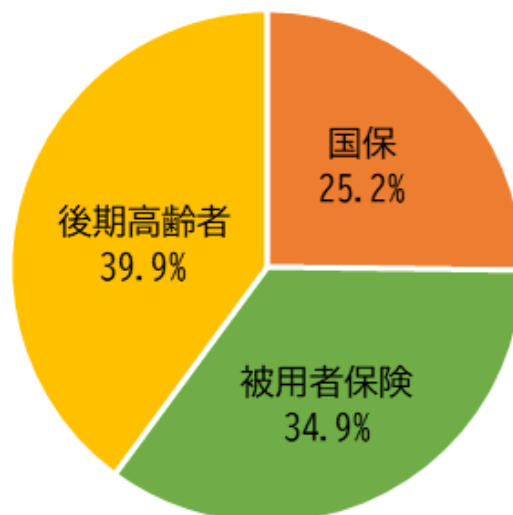
加入者数と同様に、男性より女性が多い。診療区分別では、入院外が最も多い。

(件)

制度	性別	入院	入院外	歯科	合計
国保	男性	2,024	45,848	7,853	55,725
	女性	1,433	53,412	10,940	65,785
	計	3,457	99,260	18,793	121,510
被用者保険	男性	1,036	63,040	13,649	77,725
	女性	1,074	72,578	17,072	90,724
	計	2,110	135,618	30,721	168,449
後期高齢者	男性	3,642	63,753	7,755	75,150
	女性	4,922	101,005	11,009	116,936
	計	8,564	164,758	18,764	192,086
合計	男性	6,702	172,641	29,257	208,600
	女性	7,429	226,995	39,021	273,445
	計	14,131	399,636	68,278	482,045

後期高齢者は加入者数の割合が26.8%であるのに対し、レセプト件数は39.9%と、最も高い(P5参照)。

制度別レセプト件数割合【約48万件】



③ 費用額

令和5年5月診療分の費用額は、約191億円である。

男女別にみると、加入者数、レセプト件数と同様に、男性より女性が高い。

診療区分別にみると、入院については費用額が最も高いがレセプト件数は最も低い。

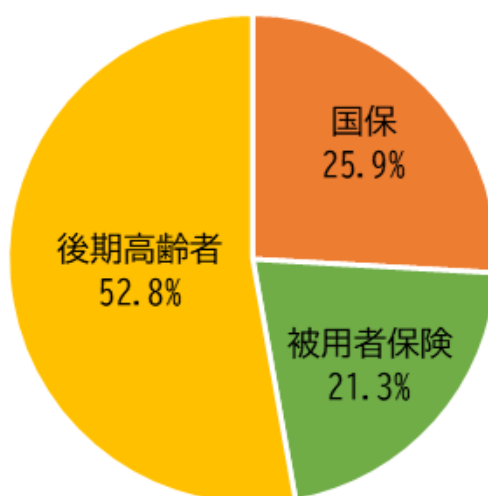
(円)

制度	性別	入院	入院外	歯科	合計
国保	男性	1,348,750,856	1,291,619,030	109,690,182	2,750,060,068
	女性	916,467,210	1,150,116,630	138,198,320	2,204,782,160
	計	2,265,218,066	2,441,735,660	247,888,502	4,954,842,228
被用者保険	男性	660,031,948	1,206,924,830	172,042,766	2,038,999,544
	女性	597,634,378	1,240,221,610	203,334,480	2,041,190,468
	計	1,257,666,326	2,447,146,440	375,377,246	4,080,190,012
後期高齢者	男性	2,435,604,481	1,891,354,270	117,282,532	4,444,241,283
	女性	3,169,484,507	2,331,940,910	160,488,252	5,661,913,669
	計	5,605,088,988	4,223,295,180	277,770,784	10,106,154,952
合計	男性	4,444,387,285	4,389,898,130	399,015,480	9,233,300,895
	女性	4,683,586,095	4,722,279,150	502,021,052	9,907,886,297
	計	9,127,973,380	9,112,177,280	901,036,532	19,141,187,192

※調剤費用額は、入院外に含む

後期高齢者は加入者数の割合が26.8%であるのに対し、費用額は52.8%と、最も高い(P5参照)。

制度別費用額割合【約191億円】



(2) 医療費諸率

① 受診率

$$\text{受診率 (\%)} = \text{レセプト件数 (件)} \div \text{加入者数 (人)} \times 100$$

受診率は、合計で 101.3% と、当分析事業開始以来、初めて 100% を超した。このことは、見かけ上、加入者全員が分析期間の 1 カ月間に 1 回以上医療機関を受診したこととなる。

男女別では女性が高く、診療区分別では入院外、制度別では後期高齢者が最も高い。

(%)

制度	性別	入院	入院外	歯科	合計
国保	男性	3.5	80.2	13.7	97.5
	女性	2.4	88.7	18.2	109.3
	計	2.9	84.6	16.0	103.5
被用者保険	男性	0.9	54.5	11.8	67.3
	女性	0.9	62.9	14.8	78.6
	計	0.9	58.7	13.3	72.9
後期高齢者	男性	7.5	130.6	15.9	153.9
	女性	6.3	128.4	14.0	148.6
	計	6.7	129.2	14.7	150.6
合計	男性	3.0	77.9	13.2	94.1
	女性	2.9	89.3	15.3	107.5
	計	3.0	84.0	14.3	101.3

② 1 件当たり費用額

$$1 \text{ 件当たり費用額 (円)} = \text{費用額 (円)} \div \text{レセプト件数 (件)}$$

1 件当たり費用額は、合計で 39,708 円である。男女別では男性が高く、診療区分別では入院、制度別では後期高齢者が最も高い。(円)

制度	性別	入院	入院外	歯科	合計
国保	男性	666,379	28,172	13,968	49,351
	女性	639,544	21,533	12,632	33,515
	計	655,255	24,599	13,190	40,777
被用者保険	男性	637,096	19,145	12,605	26,234
	女性	556,457	17,088	11,910	22,499
	計	596,050	18,044	12,219	24,222
後期高齢者	男性	668,755	29,667	15,123	59,138
	女性	643,942	23,087	14,578	48,419
	計	654,494	25,633	14,803	52,613
合計	男性	663,143	25,428	13,638	44,263
	女性	630,446	20,803	12,865	36,234
	計	645,954	22,801	13,197	39,708

※調剤費用額は入院外費用額に含む

③ 1 人当たり費用額

$$1 \text{ 人当たり費用額 (円)} = \text{費用額 (円)} \div \text{加入者数 (人)}$$

1 人当たり費用額は、合計で 40,219 円と、当分析事業開始以来、初めて 40,000 円を超した。男女別にみると男性が高く、診療区分別では入院、制度別では後期高齢者が最も高い。(円)

制度	性別	入院	入院外	歯科	合計
国保	男性	23,587	22,588	1,918	48,094
	女性	15,226	19,108	2,296	36,631
	計	19,300	20,804	2,112	42,216
被用者保険	男性	5,711	10,443	1,489	17,643
	女性	5,176	10,742	1,761	17,679
	計	5,444	10,592	1,625	17,661
後期高齢者	男性	49,878	38,733	2,402	91,013
	女性	40,278	29,635	2,039	71,952
	計	43,954	33,118	2,178	79,251
合計	男性	20,057	19,812	1,801	41,670
	女性	18,415	18,567	1,974	38,956
	計	19,180	19,146	1,893	40,219

※調剤費用額は入院外に含む

(3) 疾病統計

① 大分類別医療費

ア レセプト件数及び費用額

疾病大分類別にみると、レセプト件数、費用額ともに「循環器系の疾患」が最も高い。

次いで、レセプト件数では「歯科」、「内分泌、栄養・代謝疾患」、費用額では「新生物」、「内分泌、栄養・代謝疾患」の順に高い。

「循環器系の疾患」、「内分泌、栄養・代謝疾患」及び「筋骨格系・結合組織の疾患」は、レセプト件数、費用額ともに上位5疾病に入る。

※表中の塗りつぶしは上位5疾病

疾病(大分類)	件数(件)	費用額(円)
感染症・寄生虫症	9,387	323,254,085
新生物<腫瘍>	17,569	2,577,821,912
血液・造血器疾患、免疫機構障害	2,072	202,578,865
内分泌、栄養・代謝疾患	47,787	1,418,644,924
精神・行動の障害	23,305	1,175,209,571
神経系の疾患	15,548	1,119,621,816
眼及び付属器の疾患	36,575	668,221,790
耳・乳様突起の疾患	5,553	83,336,068
循環器系の疾患	90,988	3,691,133,049
呼吸器系の疾患	36,018	1,101,737,965
消化器系の疾患(歯科を除く)	20,878	1,037,528,215
皮膚・皮下組織の疾患	21,190	324,868,068
筋骨格系・結合組織の疾患	44,131	1,417,633,420
腎尿路生殖器系の疾患	14,650	1,267,413,849
妊娠、分娩・産じょく	692	62,743,208
周産期に発生した病態	309	72,241,588
先天奇形、変形・染色体異常	896	78,622,226
他に分類されないもの	7,801	267,622,014
損傷、中毒・他の外因の影響	15,769	1,236,904,533
特殊目的用コード	2,016	97,978,696
歯科	68,278	901,036,532
分類不明	633	15,034,798
総計	482,045	19,141,187,192

イ 諸率

疾病大分類別にみると、受診率、1人当たり費用額ともに「循環器系の疾患」が最も高く、「新生物<腫瘍>」、「内分泌、栄養・代謝疾患」、「筋骨格系・結合組織の疾患」、「腎尿路生殖器系の疾患」が続く。

1人当たり費用額が高い「循環器系の疾患」、「内分泌、栄養・代謝障害」及び「筋骨格系・結合組織の疾患」は、受診率は高いが1件当たり費用額は低いことから、受診者が多いことが1人当たり費用額の増高につながっていると考えられる。

また、「周産期に発生した病態」及び「新生物<腫瘍>」は、受診率は低いが1件当たり費用額が高いことから、高額な医療が必要であったことが伺える。

※表中の塗りつぶしは上位5疾病

疾病(大分類)	受診率 (%)	1件当たり費用額 (円)	1人当たり費用額 (円)
感染症・寄生虫症	2.0	34,436	679
新生物<腫瘍>	3.7	146,726	5,417
血液・造血器疾患、免疫機構障害	0.4	97,770	426
内分泌、栄養・代謝疾患	10.0	29,687	2,981
精神・行動の障害	4.9	50,427	2,469
神経系の疾患	3.3	72,011	2,353
眼及び付属器の疾患	7.7	18,270	1,404
耳・乳様突起の疾患	1.2	15,007	175
循環器系の疾患	19.1	40,567	7,756
呼吸器系の疾患	7.6	30,589	2,315
消化器系の疾患(歯科を除く)	4.4	49,695	2,180
皮膚・皮下組織の疾患	4.5	15,331	683
筋骨格系・結合組織の疾患	9.3	32,123	2,979
腎尿路生殖器系の疾患	3.1	86,513	2,663
妊娠、分娩・産じょく	0.1	90,669	132
周産期に発生した病態	0.1	233,792	152
先天奇形、変形・染色体異常	0.2	87,748	165
他に分類されないもの	1.6	34,306	562
損傷、中毒・他の外因の影響	3.3	78,439	2,599
特殊目的用コード	0.4	48,601	206
歯科	14.3	13,197	1,893
分類不明	0.1	23,752	32
総計	101.3	39,708	40,219

② 中分類別 1 人当たり費用額

疾病中分類別に 1 人当たり費用額の上位 10 疾病をみると、男女合計（制度合計）で「高血圧性疾患」が最も高く、「他の心疾患」が続く。男女別にみると、男性は「他の悪性新生物＜腫瘍＞」、女性は「高血圧性疾患」が最も高い。

制度別にみると、国保は「統合失調症、妄想性障害」、被用者保険は「歯科」、後期高齢者は「高血圧性疾患」が最も高い。

	1位	2位	3位	4位	5位
男女合計 (制度合計)	高血圧性 疾患	他の 心疾患	歯科	他の 悪性新生物 ＜腫瘍＞	骨折
男性	他の 悪性新生物 ＜腫瘍＞	高血圧性 疾患	腎不全	他の 心疾患	糖尿病
女性	高血圧性 疾患	骨折	歯科	他の 心疾患	糖尿病
国保	統合失調症, 妄想性障害	他の 悪性新生物 ＜腫瘍＞	腎不全	高血圧性 疾患	歯科
被用者保険	歯科	高血圧性 疾患	他の 悪性新生物 ＜腫瘍＞	他の 消化器系	糖尿病
後期高齢者	高血圧性 疾患	他の 心疾患	骨折	他の 悪性新生物 ＜腫瘍＞	脳梗塞
	6位	7位	8位	9位	10位
男女合計 (制度合計)	腎不全	糖尿病	他の 消化器系	脳梗塞	統合失調症, 妄想性障害
男性	歯科	他の 消化器系	脳梗塞	他の 呼吸器系	他の 神経系
女性	他の 悪性新生物 ＜腫瘍＞	他の 消化器系	関節症	腎不全	脳梗塞
国保	糖尿病	他の 心疾患	他の 神経系	他の 消化器系	脳梗塞
被用者保険	他の 神経系	他の 心疾患	腎不全	良性新生物・ 他の新生物 ＜腫瘍＞	脂質異常症
後期高齢者	腎不全	糖尿病	他の 消化器系	他の 呼吸器系	歯科

③ 生活習慣病

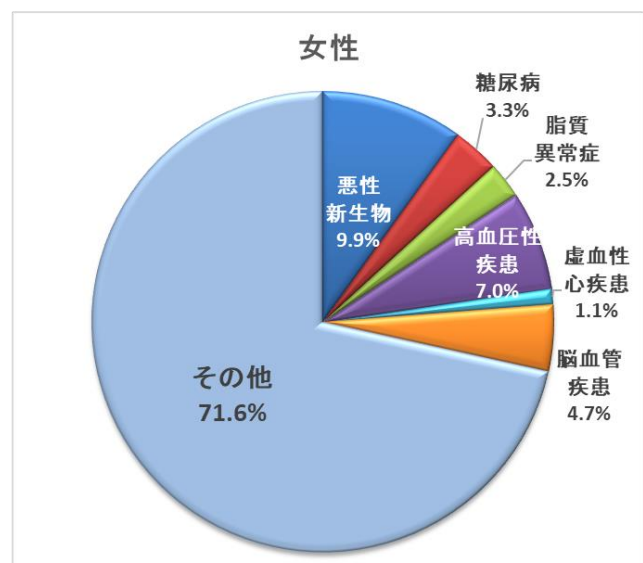
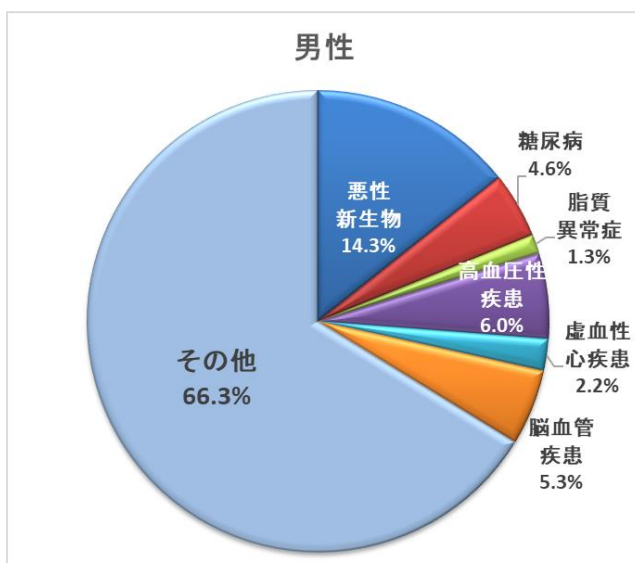
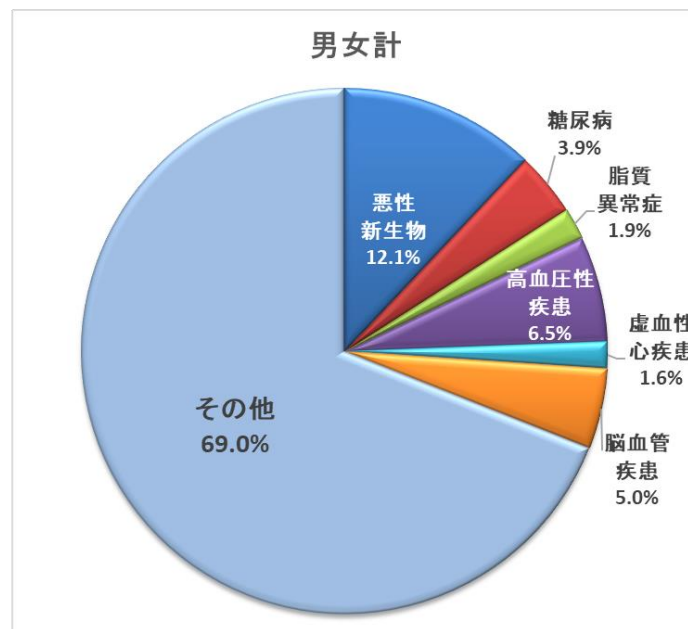
次の疾病分類コード（P3、4 参照）を生活習慣病と定義する。

- 悪性新生物：0201～0210
- 糖尿病：0402
- 脂質異常症：0403
- 高血圧性疾患：0901
- 虚血性心疾患：0902
- 脳血管疾患：0904～0908

ア 費用額に占める生活習慣病の割合

費用額に占める生活習慣病の割合は、男女計で約 31%である。内訳は、「悪性新生物」が最も高く、「高血圧性疾患」が次いで高い。

男女別では、男性は約 34%、女性は約 28%を生活習慣病が占めており、男女とも「悪性新生物」が最も高い。

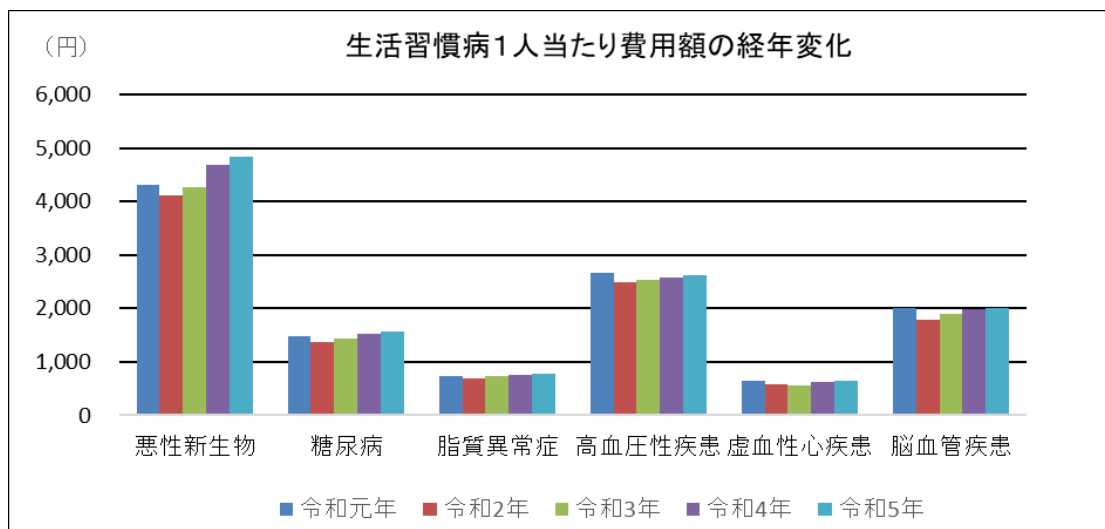
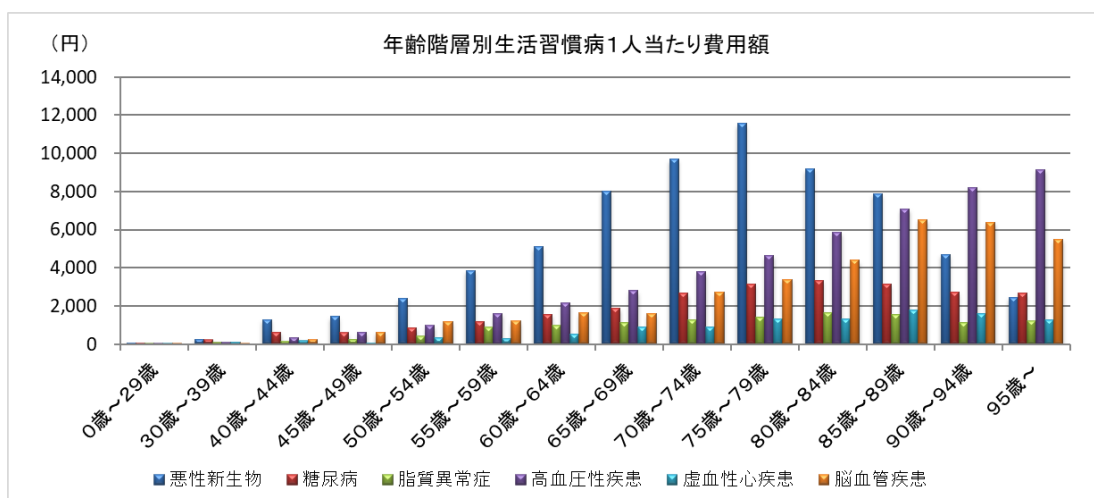
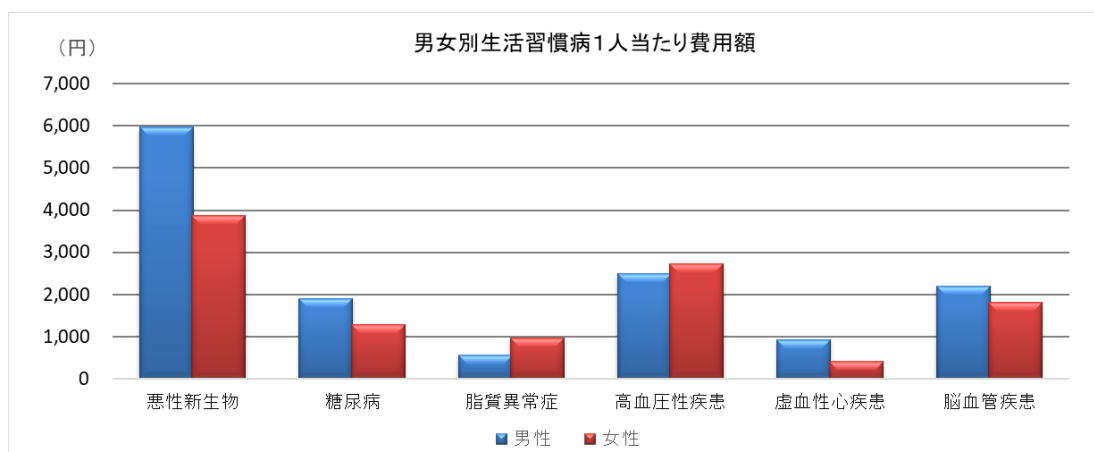


イ 生活習慣病の1人当たり費用額

1人当たり費用額を男女別に比較すると、「脂質異常症」及び「高血圧性疾患」は女性が高く、その他の疾病については男性が高い。

年齢階層別にみると、「悪性新生物」は75歳～79歳までは増加し、以降減少に転じるが、「悪性新生物」以外の疾病は加齢とともに増加の傾向がみられる。

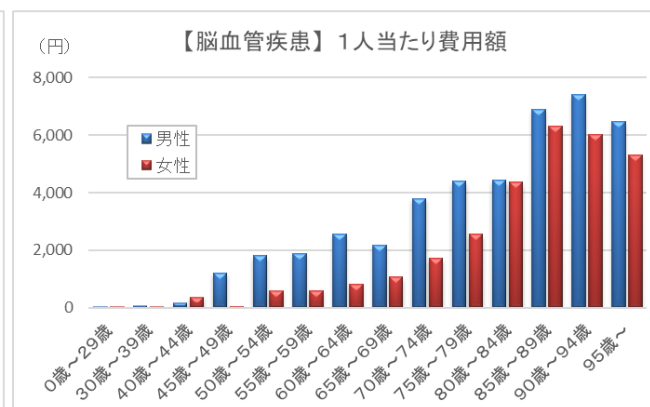
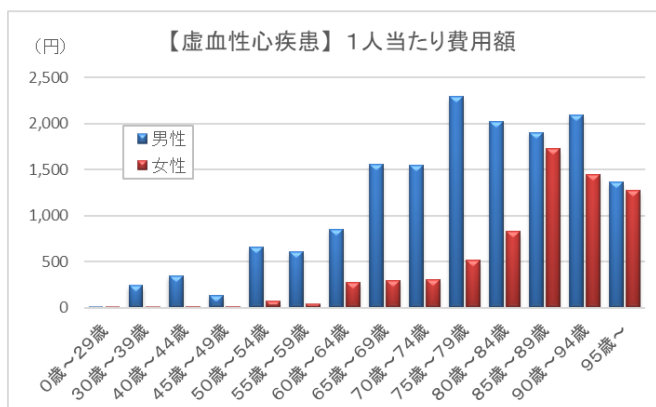
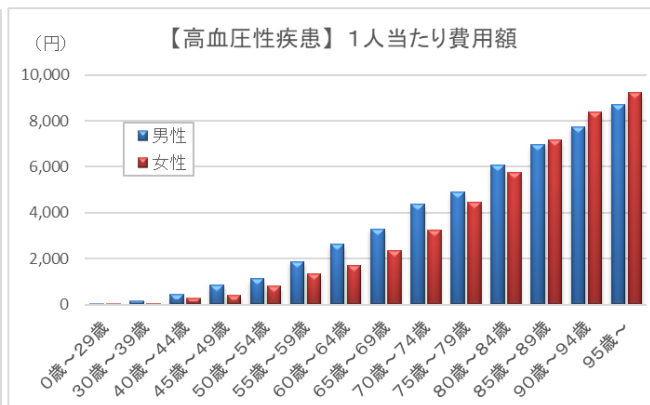
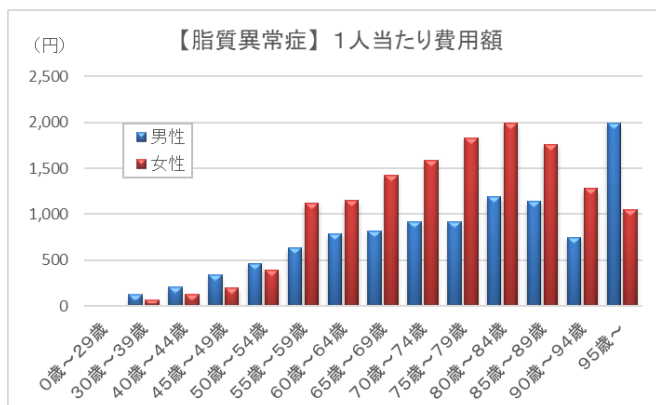
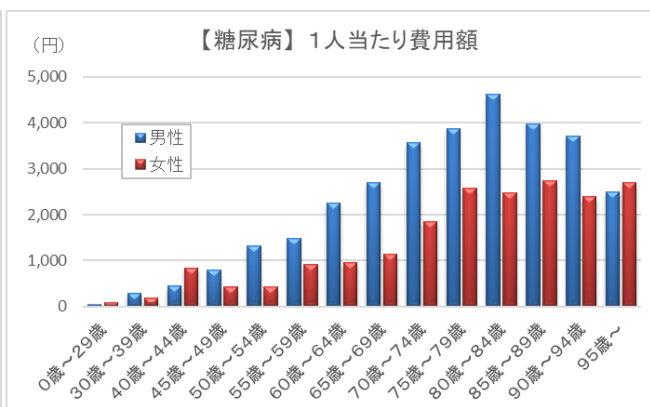
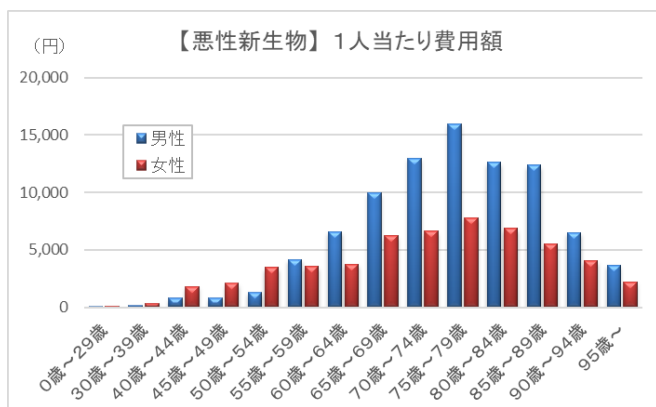
経年で比較すると、新型コロナウイルス感染症の影響から令和2年は一旦減少したが、その後はすべての疾病が増加傾向にある。



1人当たり費用額について性年齢階層別に比較すると、「高血圧性疾患」及び「脳血管疾患」は、男女とも加齢とともに増加の傾向がみられるが、他の疾病では75歳～84歳に最も高くなる。

なお、脂質異常症のみ、ほとんどの年齢で女性が高い。

また、「虚血性心疾患」は、30歳～84歳の広い範囲で男性が高く、男女差も顕著である。

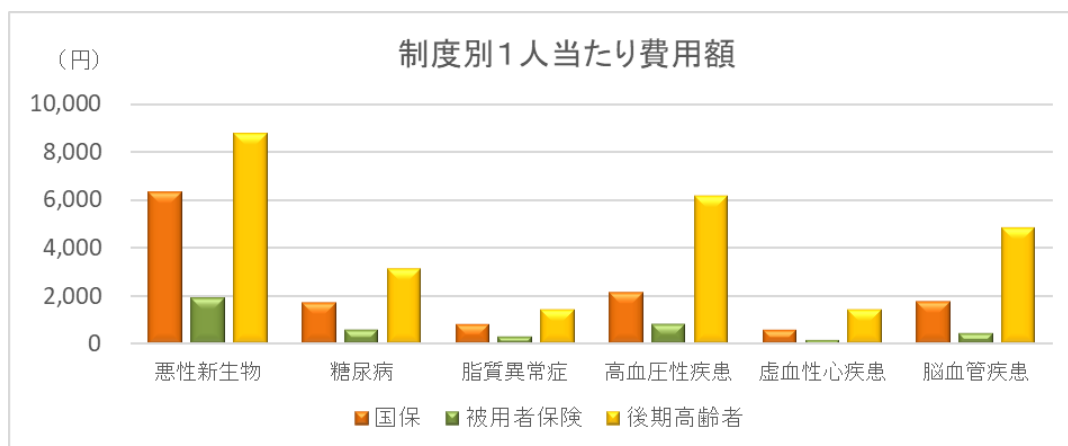
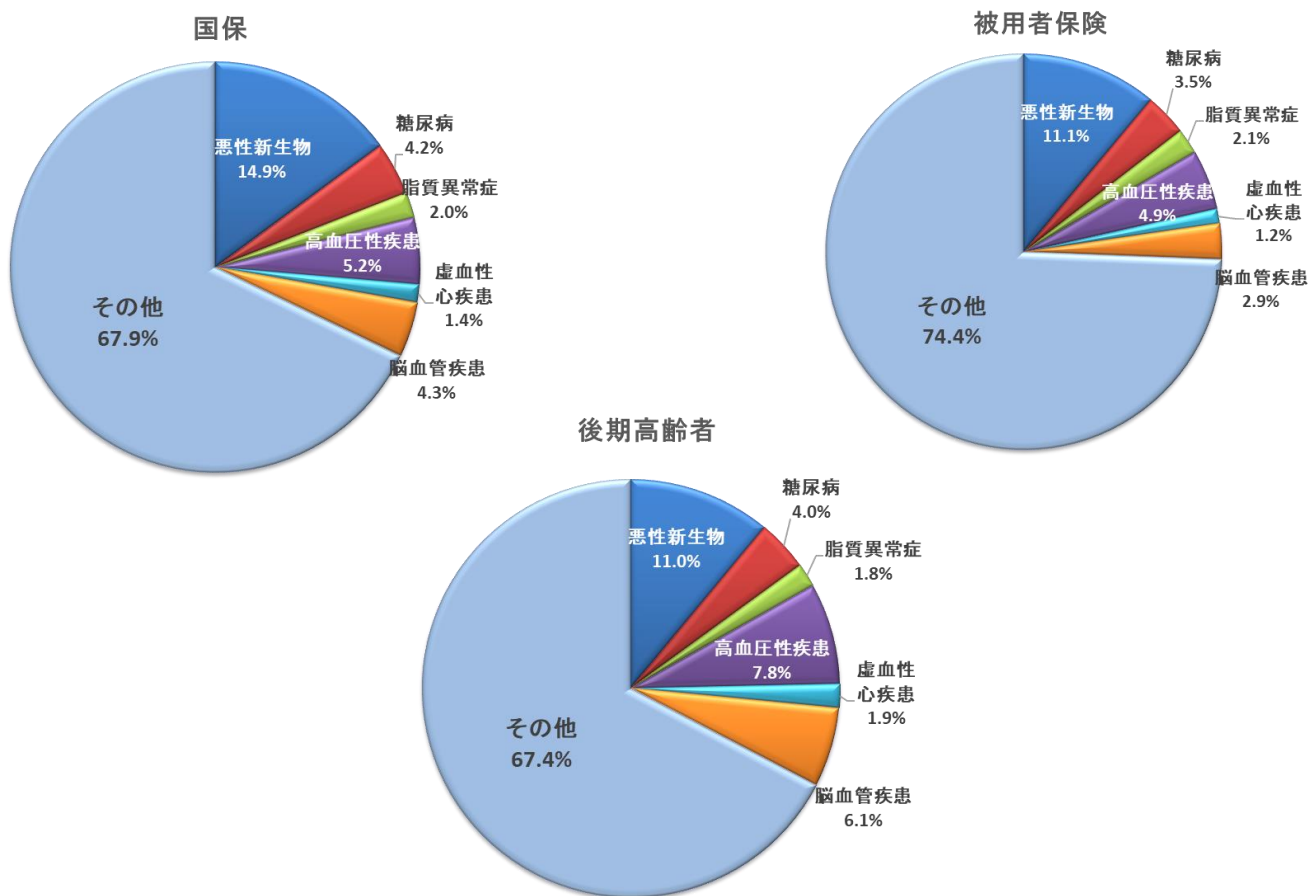


ウ 制度別生活習慣病の状況

費用額に占める生活習慣病の割合は、国保及び後期高齢者が30%を超している状況に対して、被用者保険は約26%と低い。

なお、全ての制度において「悪性新生物」が最も高く、次いで「高血圧性疾患」が高い。3番目に高い疾病は、国保及び後期高齢者が「脳血管疾患」、被用者保険が「糖尿病」である。

制度別1人当たり費用額は、すべての生活習慣病において後期高齢者が高く、国保が次いで高い。



2 市町村別の状況

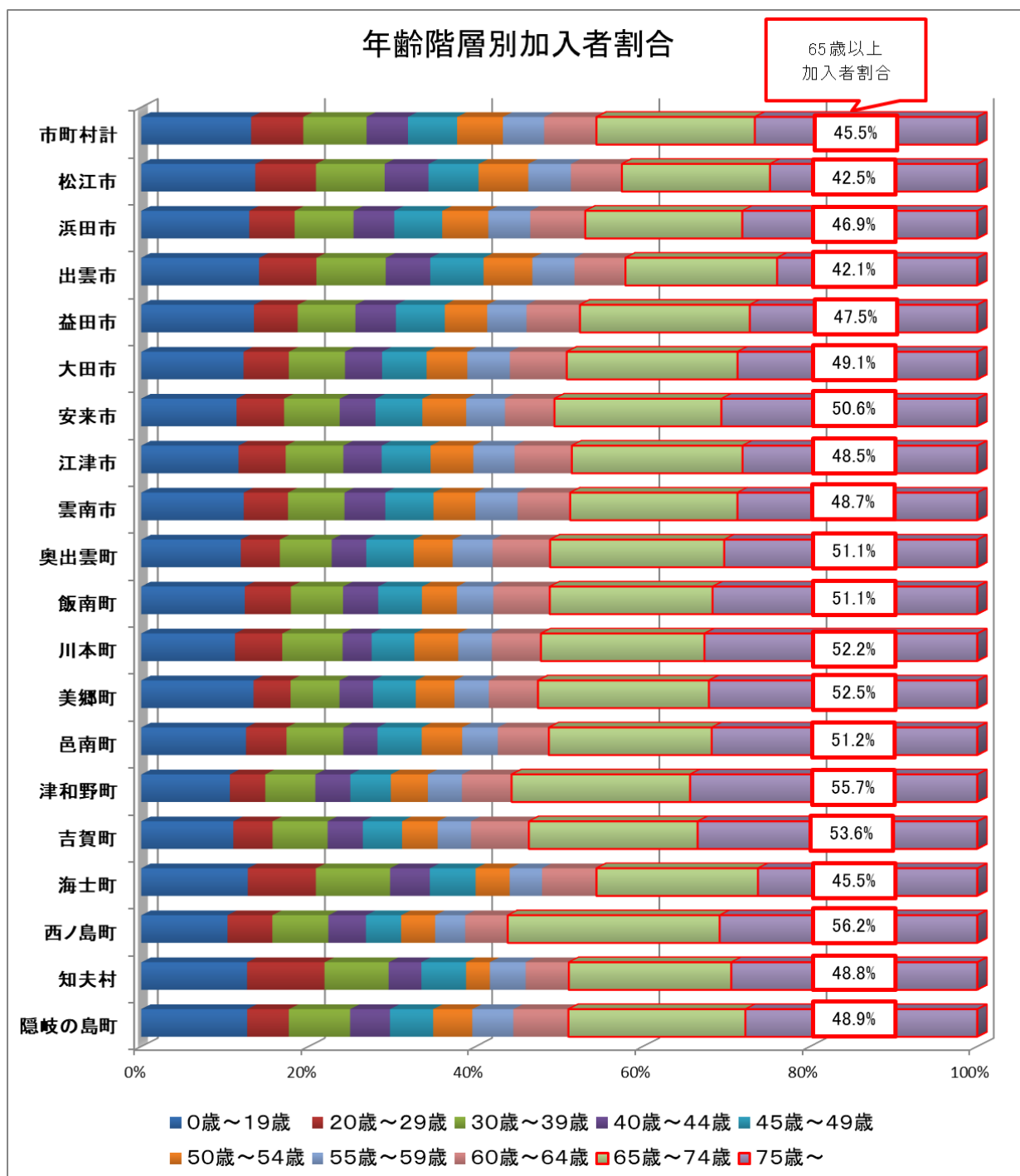
※市町村別の状況には、島根県医師国民健康保険組合のデータを含まないため、市町村計と前章の島根県（合計）とは一致しない。

(1) 加入者数、レセプト件数、費用額

① 年齢階層別加入者割合

本統計における加入者のうち65歳以上の割合は、市町村計で45.5%を占める。市町村別にみると西ノ島町が最も高く56.2%。

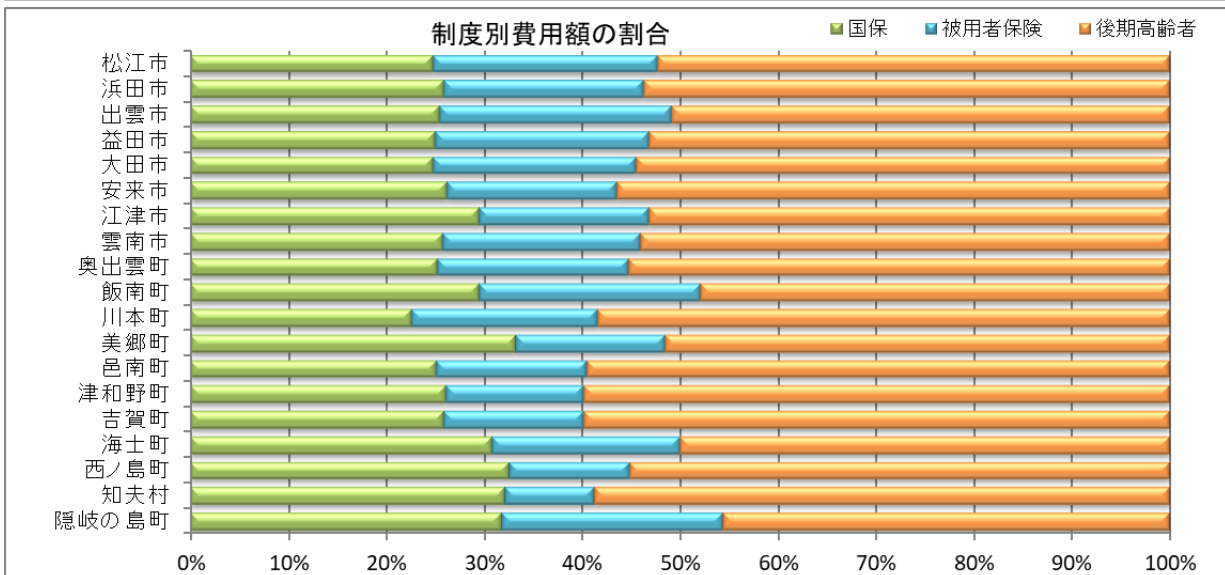
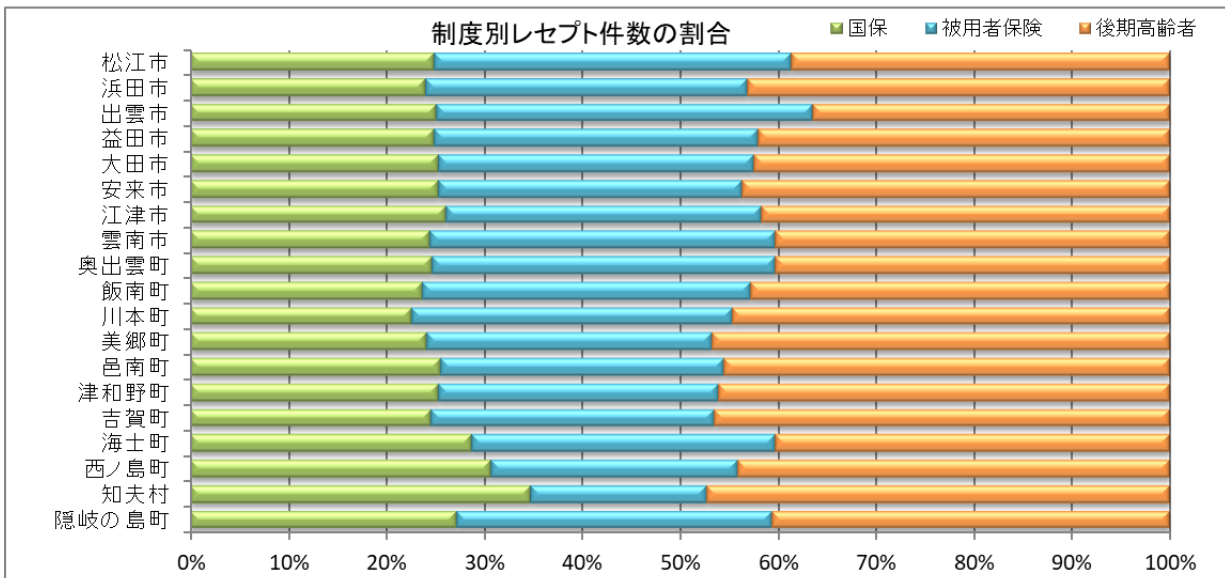
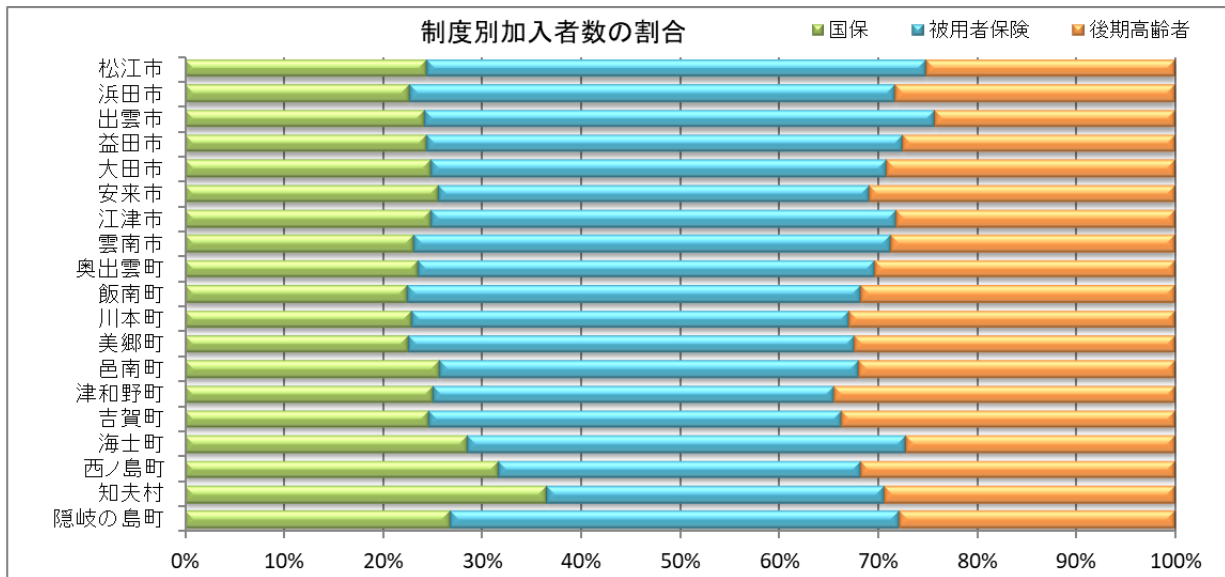
なお、19市町村のうち、安来市、奥出雲町、飯南町、川本町、美郷町、邑南町、津和野町、吉賀町、西ノ島町の9市町村が、50%を超えている。



② 制度別加入者数の割合・レセプト件数の割合・費用額の割合

被用者保険は、加入者数の割合は高いが費用額の割合は低い。

後期高齢者は、加入者数の割合は低いが費用額の割合は高い。



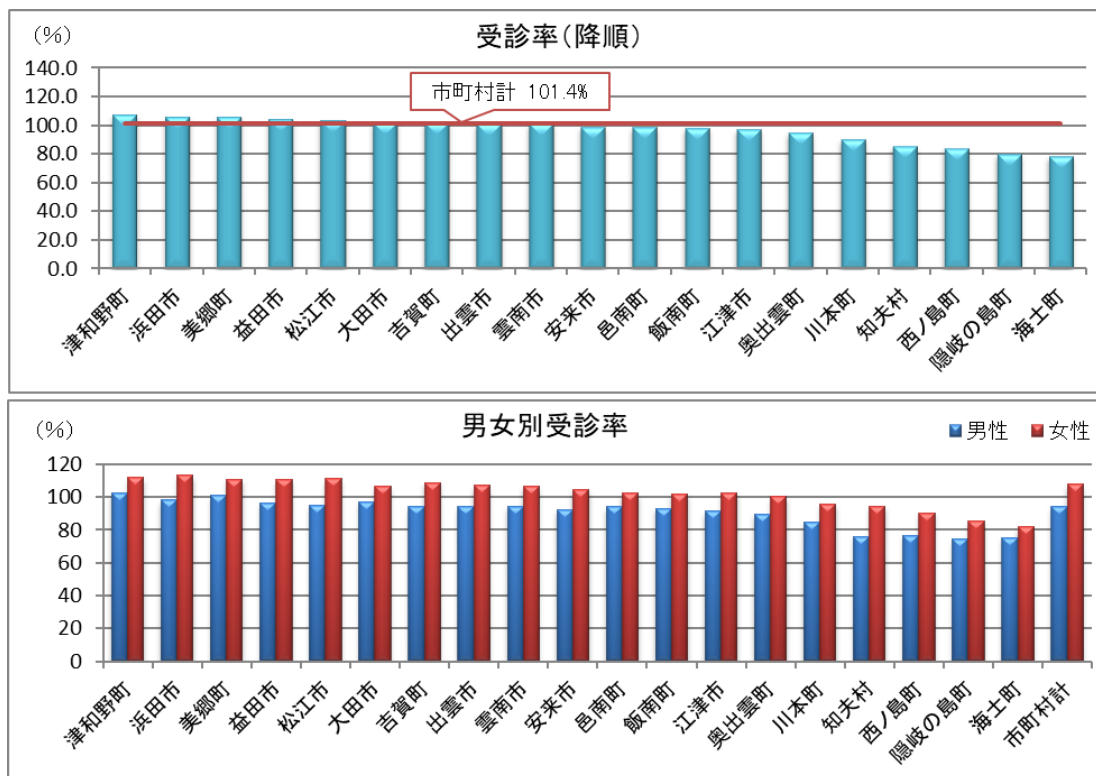
(2) 医療費諸率

市町村別の医療費諸率は、表のとおり。

	受診率 (%)	1件当たり 費用額(円)	1人当たり 費用額(円)
松江市	103.6	36,376	37,685
浜田市	106.3	39,283	41,749
出雲市	100.9	39,954	40,322
益田市	104.3	38,781	40,450
大田市	102.3	41,888	42,855
安来市	98.9	44,018	43,538
江津市	97.6	45,538	44,427
雲南市	100.8	38,476	38,792
奥出雲町	95.3	45,189	43,067
飯南町	97.9	41,718	40,862
川本町	90.6	48,316	43,755
美郷町	106.2	47,338	50,252
邑南町	98.6	40,652	40,067
津和野町	107.7	46,858	50,444
吉賀町	102.0	44,217	45,104
海士町	78.9	53,427	42,128
西ノ島町	83.8	55,516	46,503
知夫村	85.2	29,546	25,175
隠岐の島町	80.2	43,375	34,789
市町村計	101.4	39,744	40,306

① 受診率

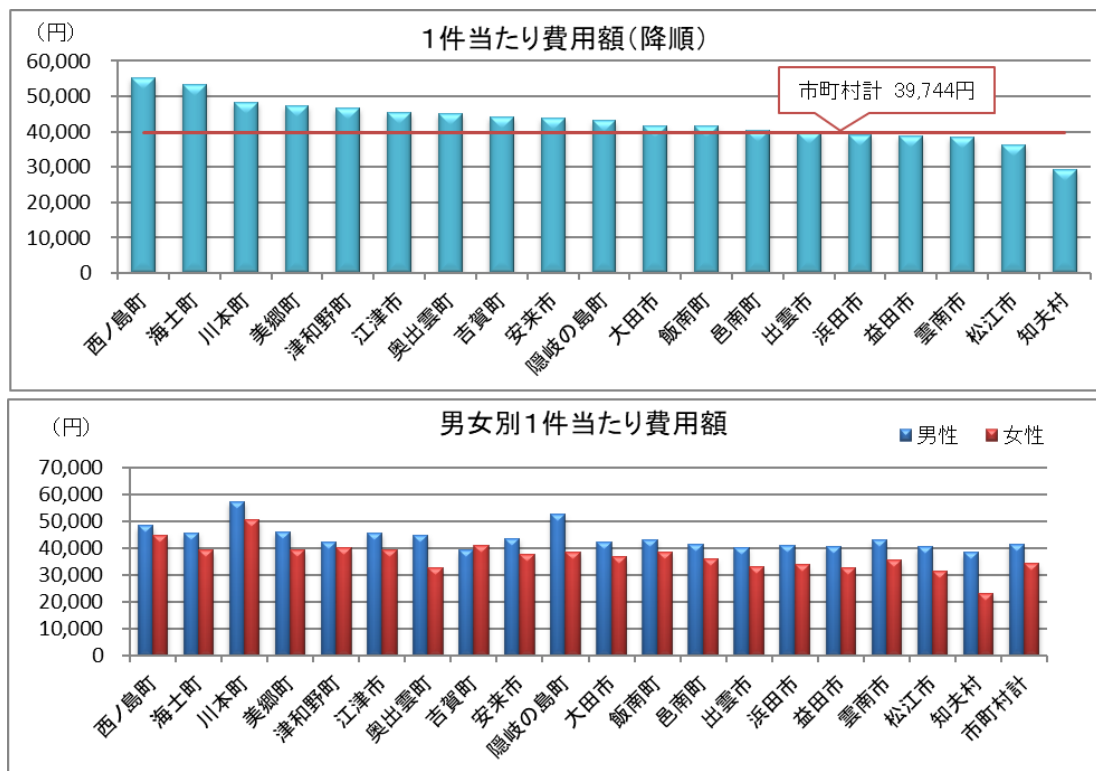
受診率は、市町村計で101.4%である。市町村別では、津和野町が最も高い。男女別にみると、全ての市町村で女性が高い。



② 1件当たり費用額

1件当たり費用額は、市町村計で39,744円である。市町村別では、西ノ島町が最も高い。

男女別にみると、吉賀町を除く全ての市町村で男性が高い。

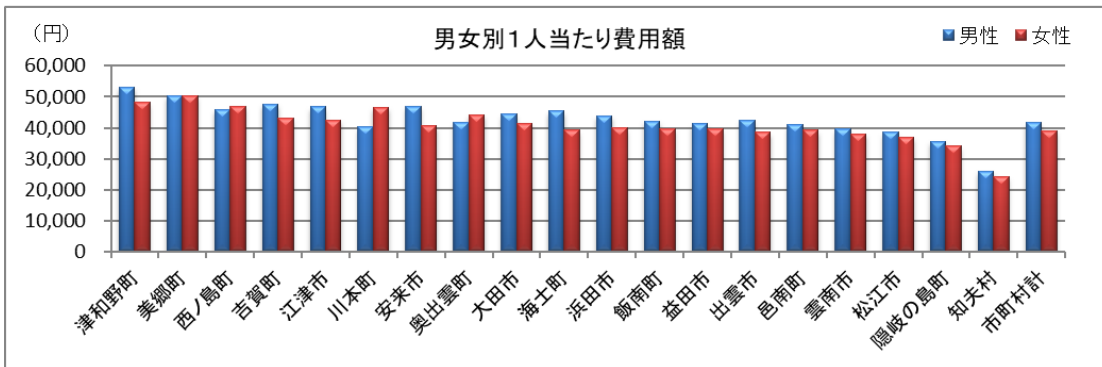
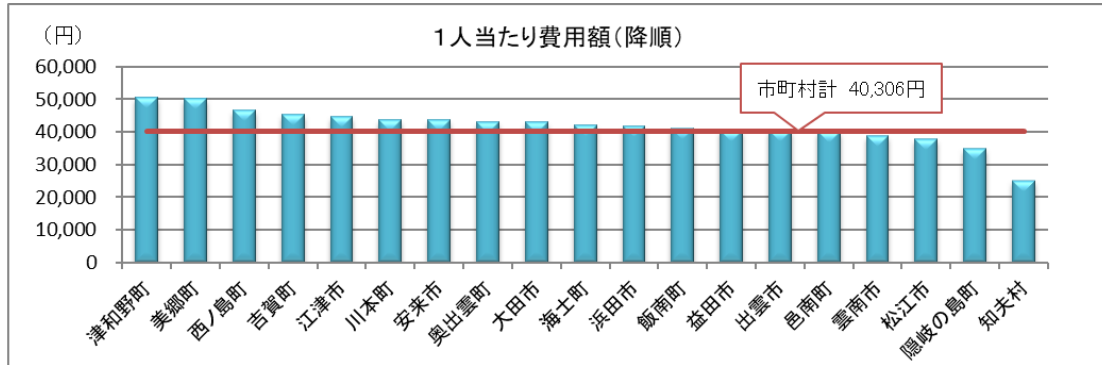


③ 1人あたり費用額

1人あたり費用額は、市町村計で40,306円である。市町村別にみると、津和野町が最も高い。

男女別にみると、ほとんどの市町村において男性が高い。

また、市町村計より高い市町村は、入院に係る費用額が高い傾向がある。

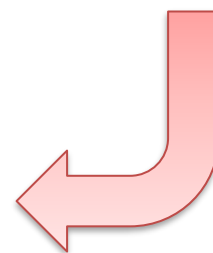
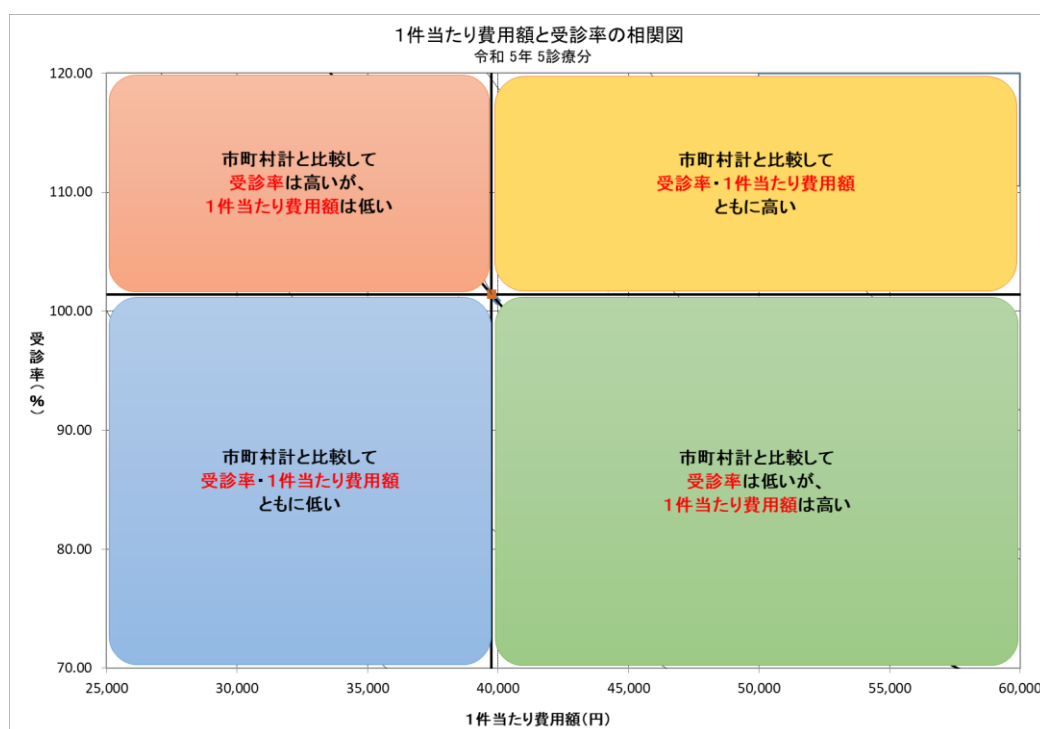
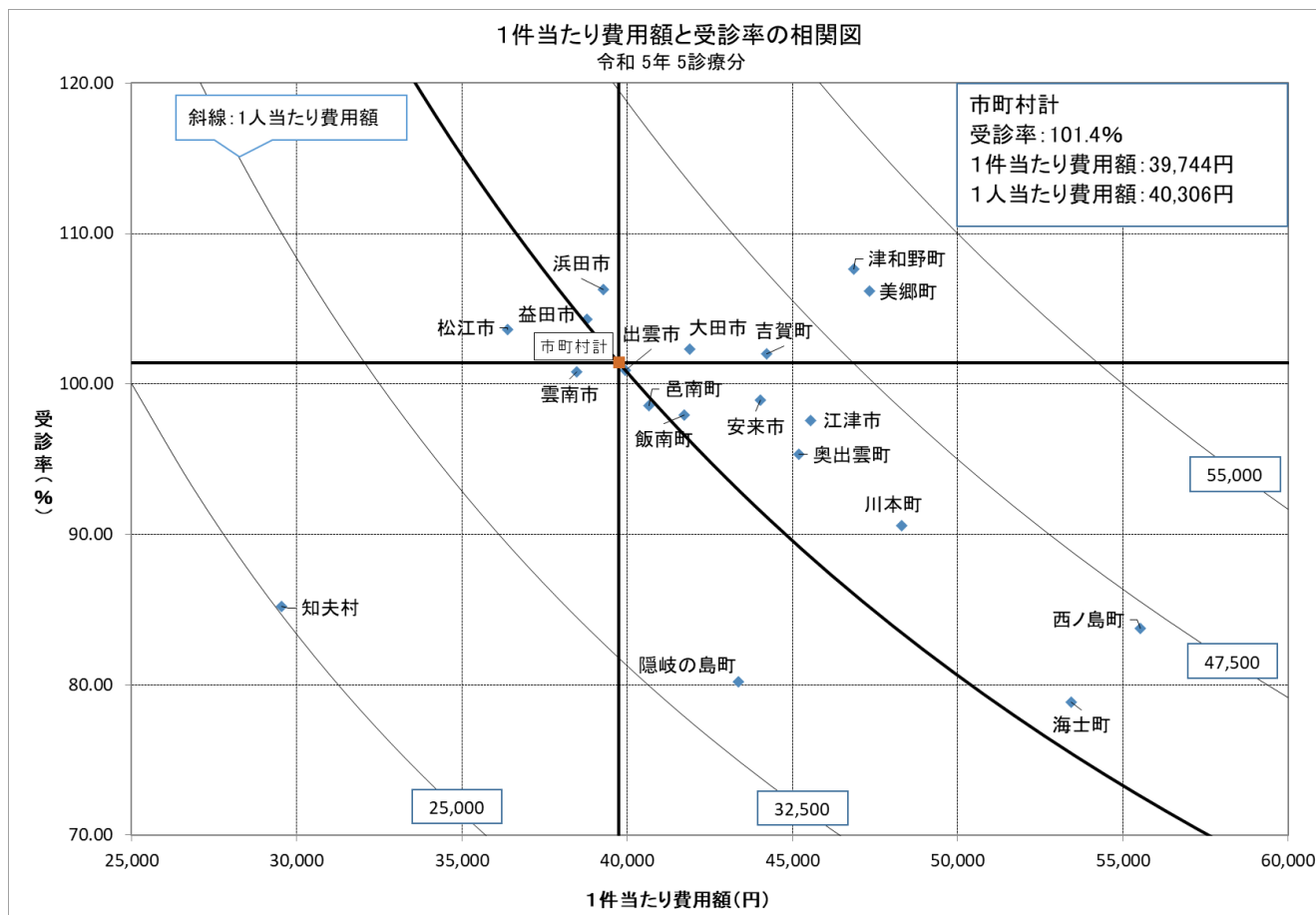


④ 1件当たり費用額と受診率の関係

受診率を縦軸に、1件当たり費用額を横軸にして相関をみた。

津和野町は、受診率、1件当たり費用額ともに市町村計より高く、美郷町、吉賀町及び大田市も同様である。

一方で、1人当たり費用額が最も低い知夫村は、受診率及び1件当たり費用額ともに市町村計より低い。



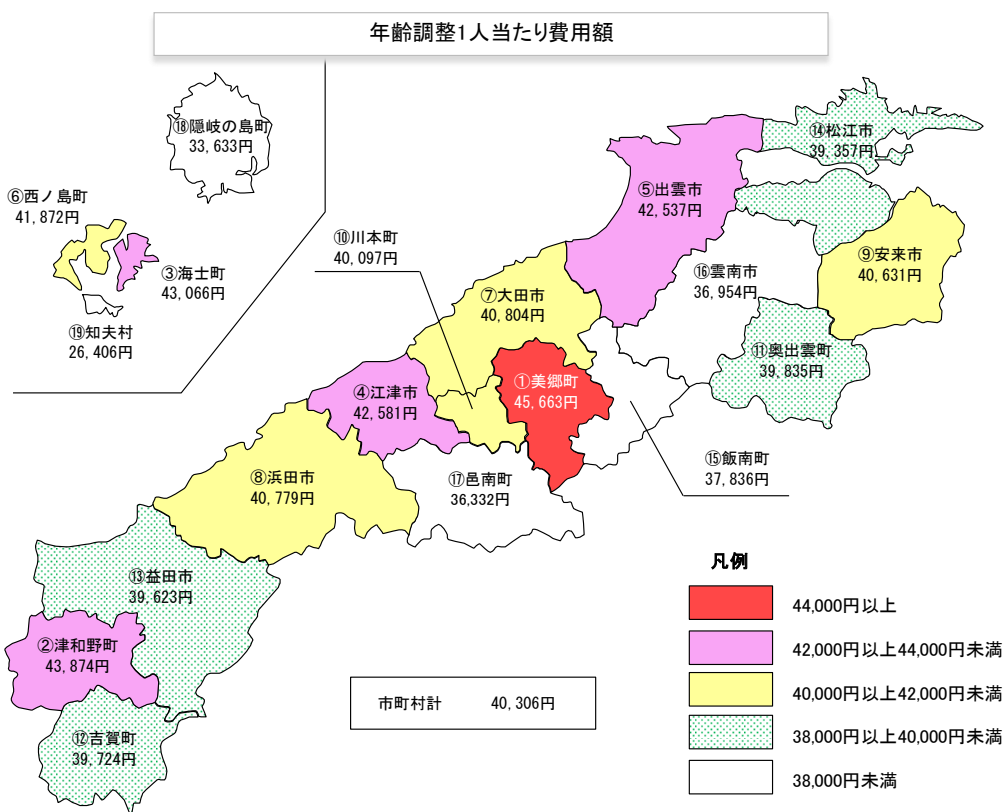
⑤ 年齢調整 1人あたり費用額

1人あたり費用額は、加入者の年齢構成が影響すると考えられることから、直接法による年齢調整を行ったうえで、市町村計を100として比較を行った。

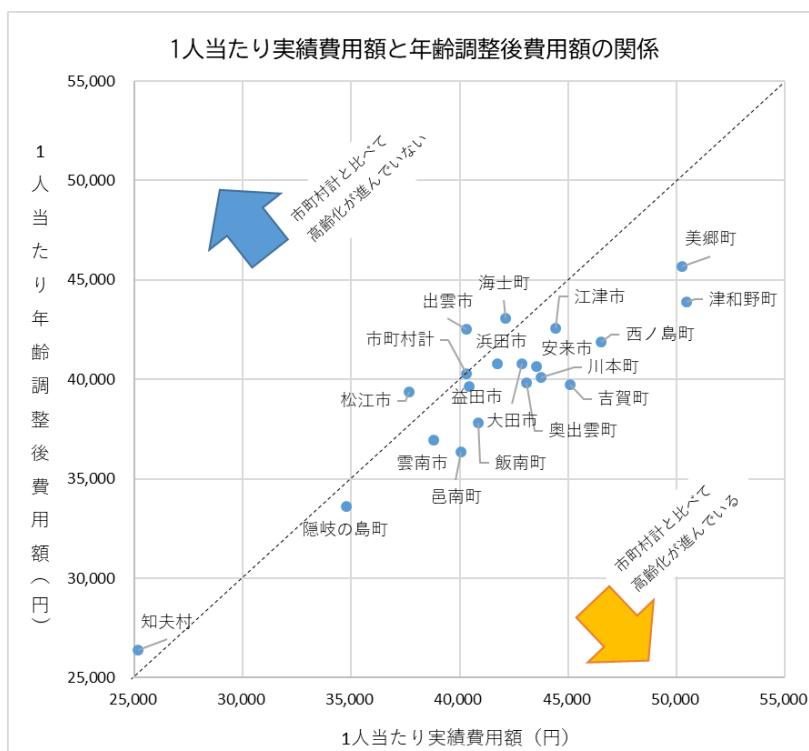
直接法による年齢調整 1人あたり費用額

…各市町村の年齢階層別 1人あたり費用額を算出して計算

$$= \sum (\text{市町村別年齢階層別1人あたり費用額} \times \text{年齢階層別基準人口}) / \text{市町村計加入者}$$



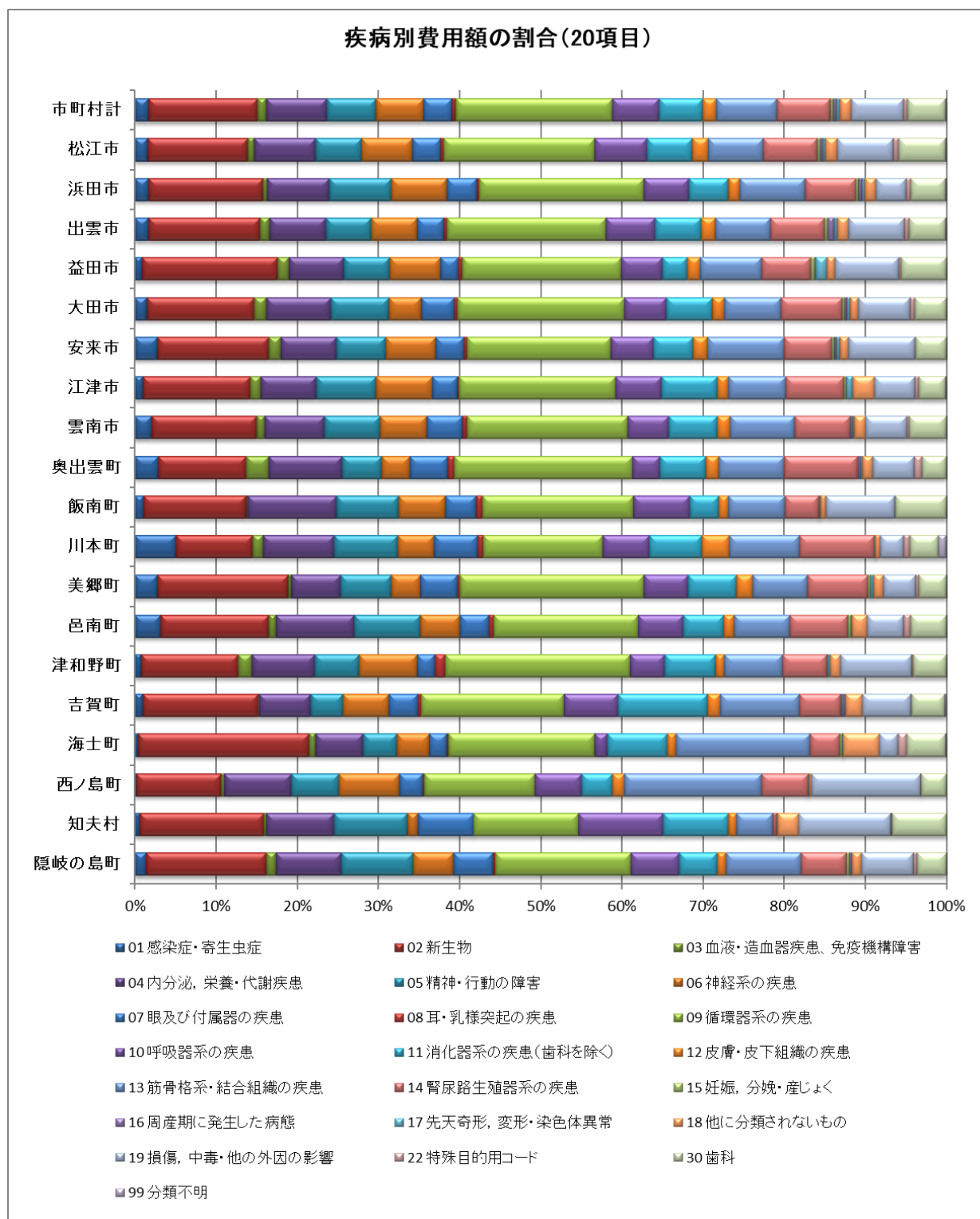
<参考>



(3) 疾病統計

① 大分類別費用額の割合

総費用額に占める疾病大分類別費用額の割合をみると、海士町、西ノ島町及び知夫村を除く市町村で「循環器系の疾患」が最も高い。



② 中分類別 1 人当たり費用額

疾病中分類別 1 人当たり費用額は、市町村計で「高血圧性疾患」が 1 位、「他の心疾患」、「歯科」と続く。市町村別にみると、3 市町村で「高血圧性疾患」が 1 位となっている。

	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位
松江市	高血圧性疾患	歯科	他の心疾患	骨折	他の悪性新生物<腫瘍>	腎不全	糖尿病	他の消化器系	脳梗塞	他の神経系
浜田市	高血圧性疾患	他の悪性新生物<腫瘍>	糖尿病	歯科	脳梗塞	腎不全	他の心疾患	統合失調症, 妄想性障害	アルツハイマー病	他の消化器系
出雲市	高血圧性疾患	他の心疾患	骨折	歯科	他の悪性新生物<腫瘍>	腎不全	糖尿病	他の消化器系	他の神経系	脳梗塞
益田市	高血圧性疾患	歯科	他の悪性新生物<腫瘍>	骨折	他の心疾患	糖尿病	腎不全	脳梗塞	統合失調症, 妄想性障害	アルツハイマー病
大田市	高血圧性疾患	他の悪性新生物<腫瘍>	骨折	統合失調症, 妄想性障害	他の心疾患	糖尿病	歯科	腎不全	他の消化器系	脂質異常症
安来市	骨折	他の悪性新生物<腫瘍>	他の心疾患	高血圧性疾患	腎不全	糖尿病	歯科	関節症	脳梗塞	他の消化器系
江津市	高血圧性疾患	他の心疾患	腎不全	他の消化器系	糖尿病	他の悪性新生物<腫瘍>	統合失調症, 妄想性障害	歯科	他に分類されない	他の呼吸器系
雲南市	高血圧性疾患	他の心疾患	歯科	糖尿病	他の悪性新生物<腫瘍>	腎不全	他の消化器系	骨折	他の眼・付属器の疾患	脳梗塞
奥出雲町	高血圧性疾患	他の心疾患	腎不全	糖尿病	虚血性心疾患	歯科	他の悪性新生物<腫瘍>	他の眼・付属器	関節症	骨折
飯南町	高血圧性疾患	歯科	他の悪性新生物<腫瘍>	統合失調症, 妄想性障害	糖尿病	他の心疾患	他の損傷・外因	他の内分泌, 栄養・代謝	脂質異常症	腎不全
川本町	腎不全	糖尿病	高血圧性疾患	他の消化器系	歯科	統合失調症, 妄想性障害	他の呼吸器系の疾患	他の悪性新生物<腫瘍>	脳梗塞	他の眼・付属器
美郷町	他の心疾患	他の悪性新生物<腫瘍>	高血圧性疾患	腎不全	糖尿病	他の消化器系	歯科	他の筋骨格系	良性・他の新生物<腫瘍>	屈折・調節の障害
邑南町	他の悪性新生物<腫瘍>	高血圧性疾患	糖尿病	歯科	他の心疾患	腎不全	骨折	脳梗塞	統合失調症, 妄想性障害	他の循環器系
津和野町	高血圧性疾患	骨折	歯科	糖尿病	他の悪性新生物<腫瘍>	他の心疾患	他の神経系	腎不全	脳梗塞	脂質異常症
吉賀町	高血圧性疾患	他の悪性新生物<腫瘍>	他の消化器系	他の心疾患	歯科	骨折	糖尿病	腎不全	結腸の悪性新生物<腫瘍>	他の神経系
海士町	高血圧性疾患	他の消化器系	他の筋骨格系	良性・他の新生物<腫瘍>	関節症	歯科	他に分類されないもの	くも膜下出血	悪性リンパ腫	他の神経系
西ノ島町	関節症	骨折	高血圧性疾患	他の悪性新生物<腫瘍>	糖尿病	脊椎障害(脊椎症を含む)	他の損傷・外因	他の神経系	脳梗塞	歯科
知夫村	骨折	高血圧性疾患	他の悪性新生物<腫瘍>	歯科	他の消化器系	他の呼吸器系	気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	白内障	糖尿病	気管・肺の悪性新生物<腫瘍>
隠岐の島町	高血圧性疾患	他の悪性新生物<腫瘍>	糖尿病	関節症	骨折	他の心疾患	歯科	腎不全	気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	良性・他の新生物<腫瘍>
市町村計	高血圧性疾患	他の心疾患	歯科	他の悪性新生物<腫瘍>	骨折	腎不全	糖尿病	他の消化器系	脳梗塞	統合失調症, 妄想性障害

※歯科は疾病コードが 1101～1103 及び 歯科レセプトの合計(以下同)

③生活習慣病

ア 年齢調整1人当たり費用額（一覧）

生活習慣病に係る1人当たり費用額を年齢調整し、市町村別に比較した。
複数疾病が上位3市町村に入っている市町村がある。

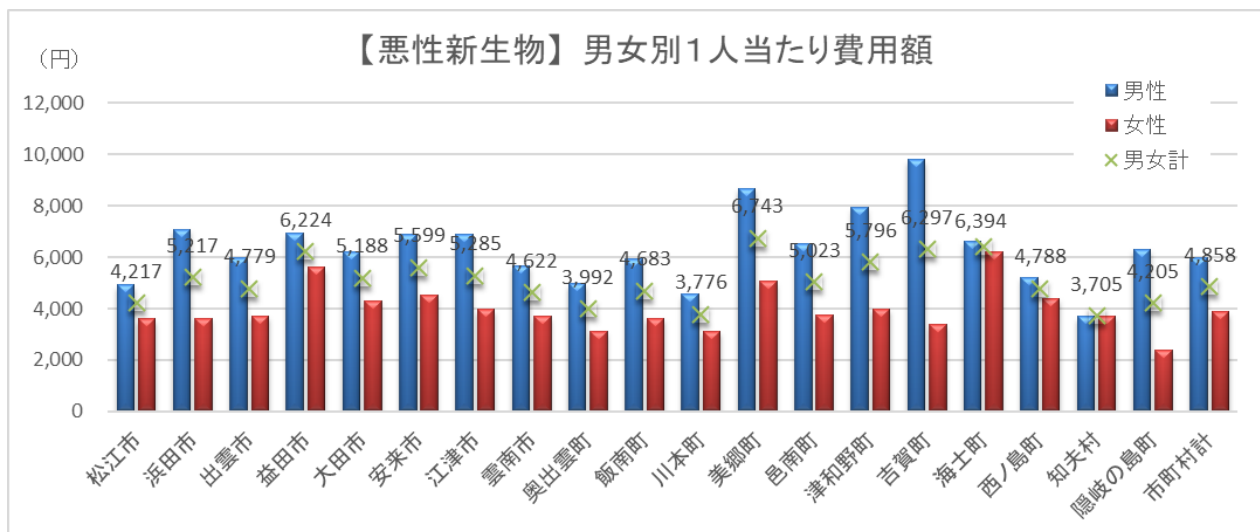
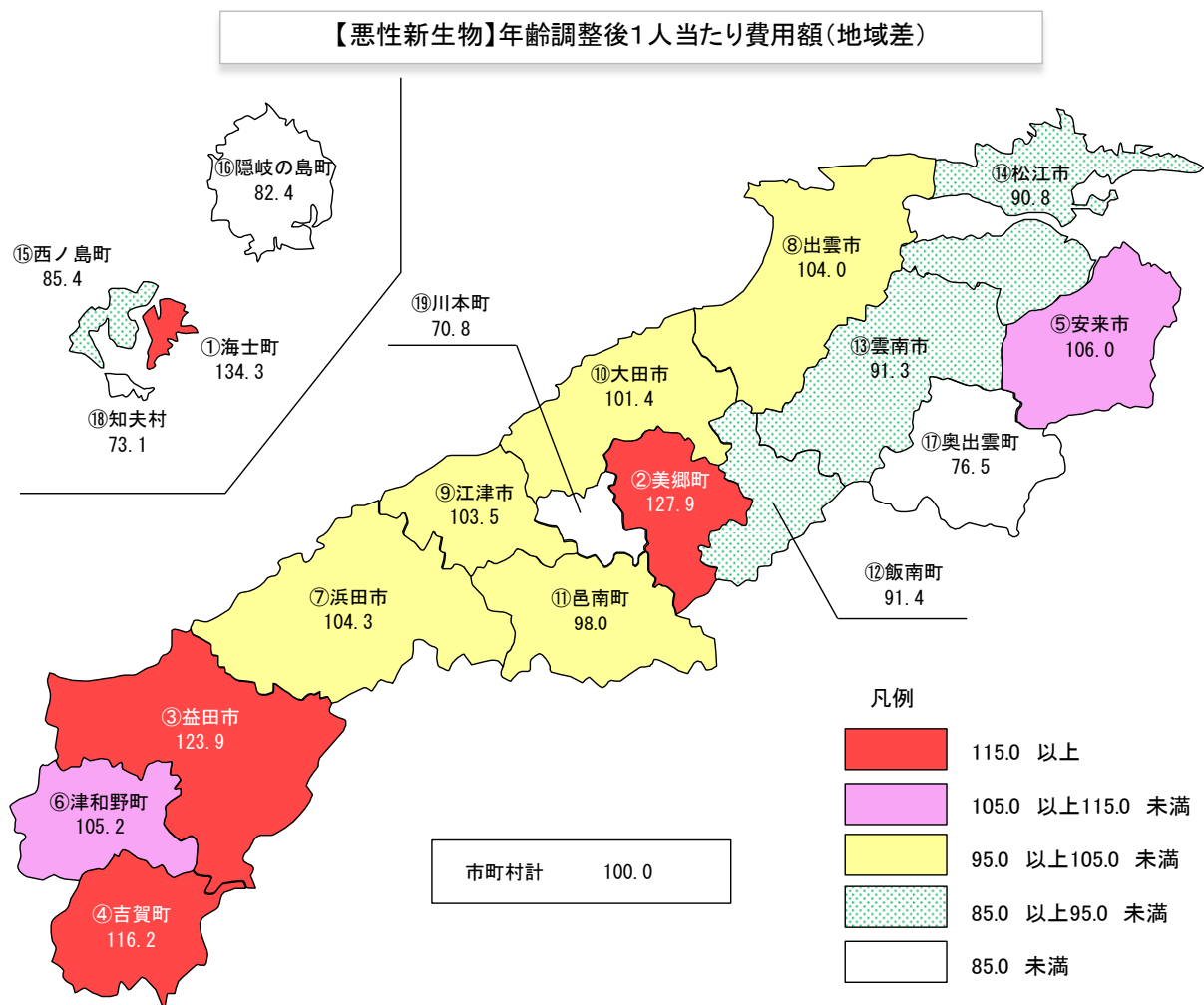
※表中の塗りつぶしは上位3市町村

(円)

市町村	悪性 新生物	糖尿病	脂質 異常症	高血圧性 疾患	虚血性 心疾患	脳血管 疾患
松江市	4,408	1,538	717	2,452	701	1,852
浜田市	5,087	1,801	775	3,686	585	2,075
出雲市	5,065	1,542	784	2,466	723	2,415
益田市	6,051	1,489	748	2,304	565	2,272
大田市	4,929	1,619	1,080	3,032	817	1,878
安来市	5,076	1,482	559	2,132	465	1,941
江津市	5,004	1,488	847	3,204	467	1,919
雲南市	4,458	1,494	793	2,680	421	1,531
奥出雲町	3,711	1,808	938	3,280	1,309	1,245
飯南町	4,439	1,534	1,106	2,888	499	731
川本町	3,394	2,231	842	1,706	643	2,052
美郷町	6,274	1,865	739	2,409	1,278	2,173
邑南町	4,551	1,852	767	1,881	134	1,785
津和野町	5,123	1,776	1,314	3,356	1,092	2,866
吉賀町	5,991	1,201	692	2,457	169	1,845
海士町	6,924	1,142	536	3,377	259	2,753
西ノ島町	4,100	1,999	1,067	2,328	449	1,364
知夫村	3,291	853	826	2,411	337	115
隠岐の島町	4,005	1,728	599	2,351	598	1,054
市町村計	4,858	1,581	780	2,626	655	2,003

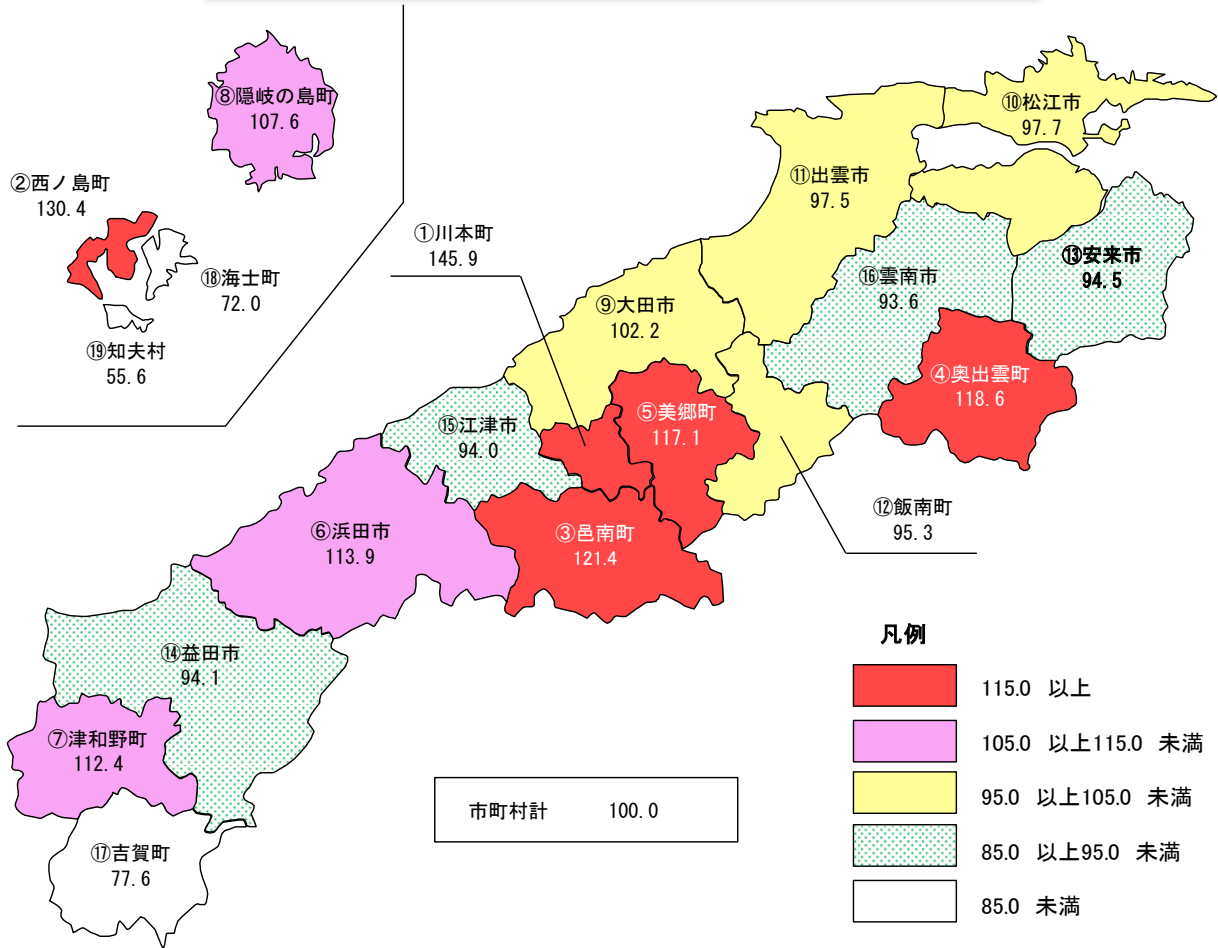
イ 1人当たり費用額

●悪性新生物

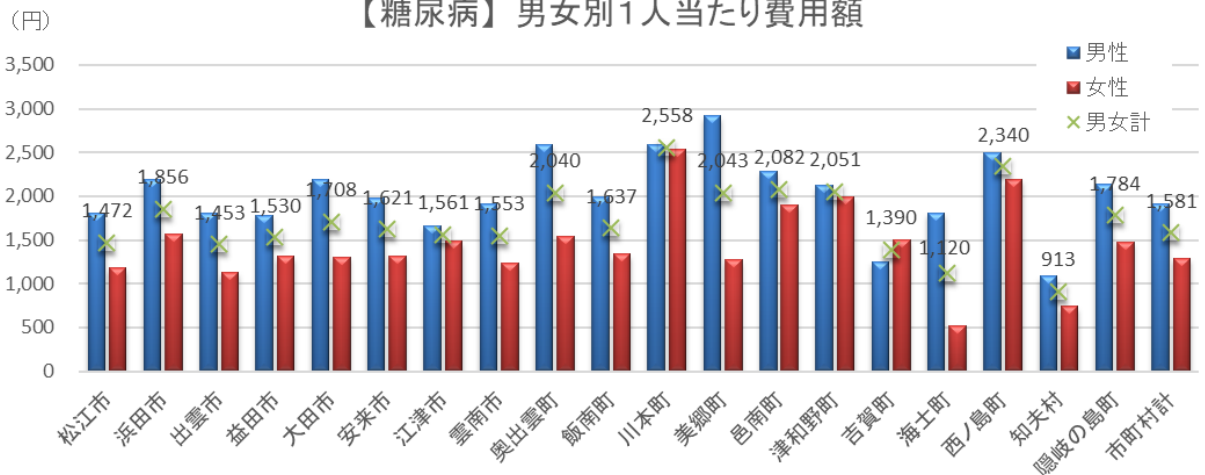


●糖尿病

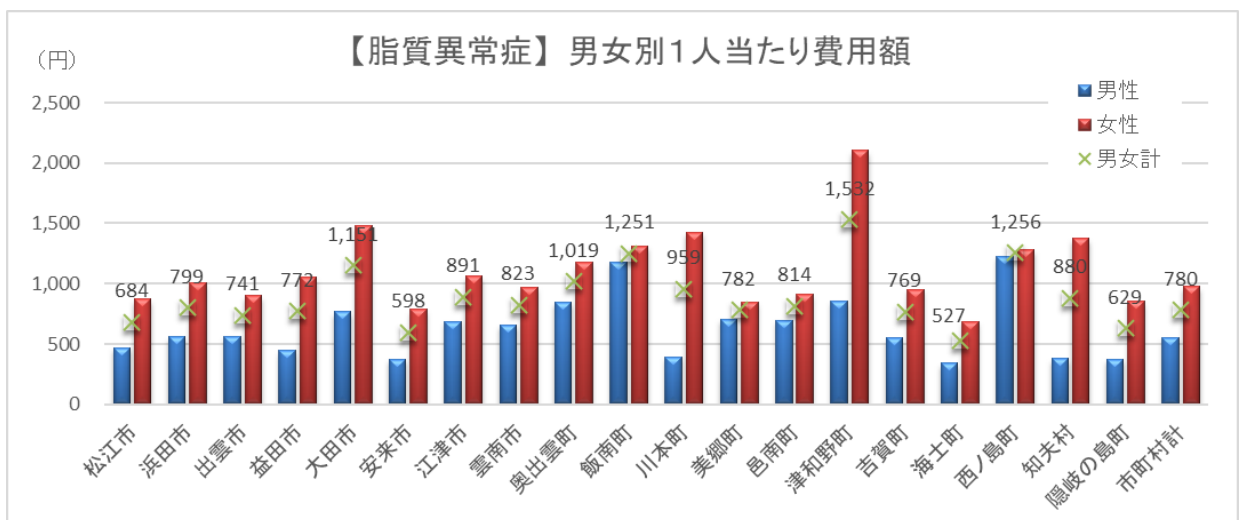
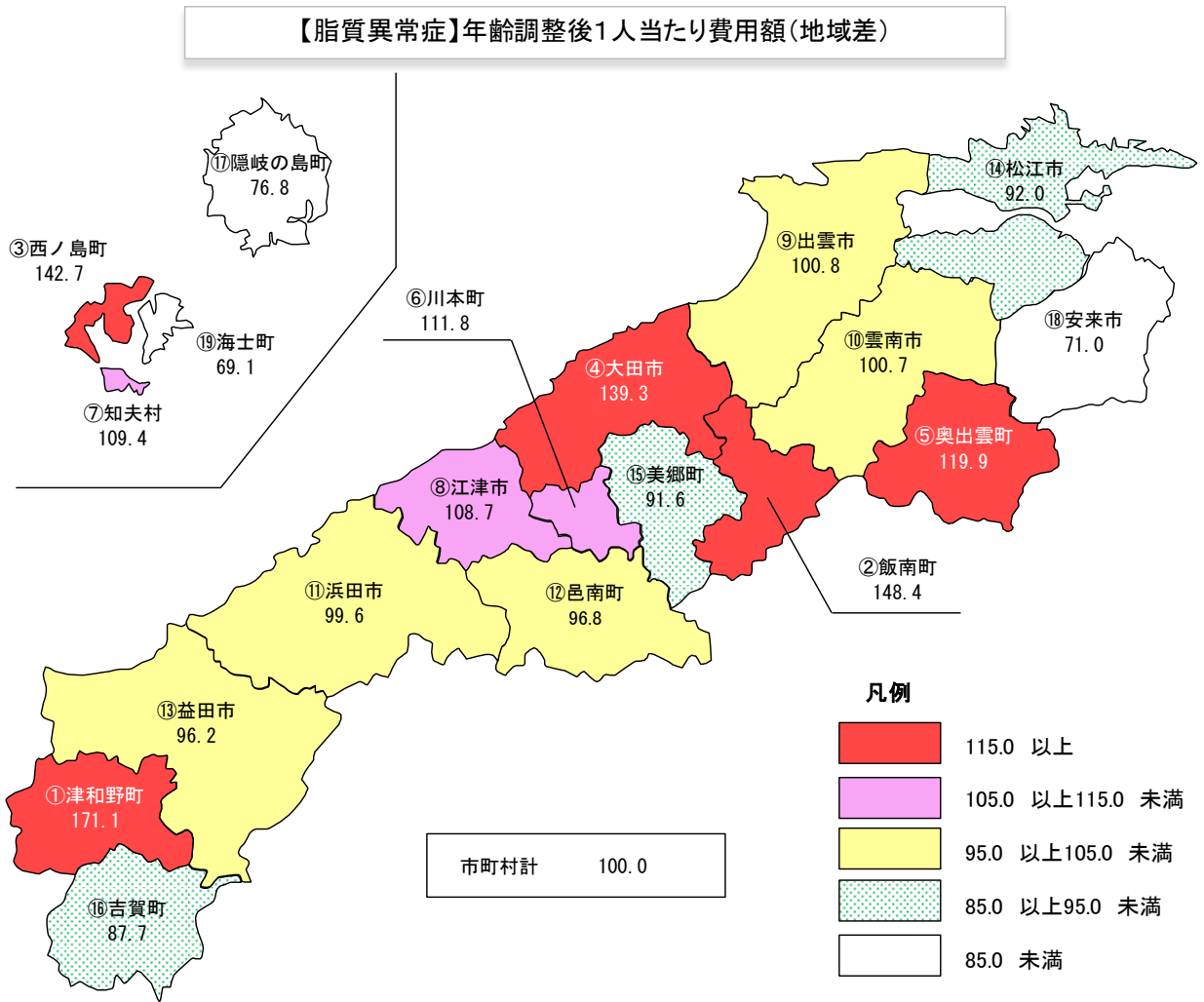
【糖尿病】年齢調整後1人当たり費用額(地域差)



【糖尿病】男女別1人当たり費用額

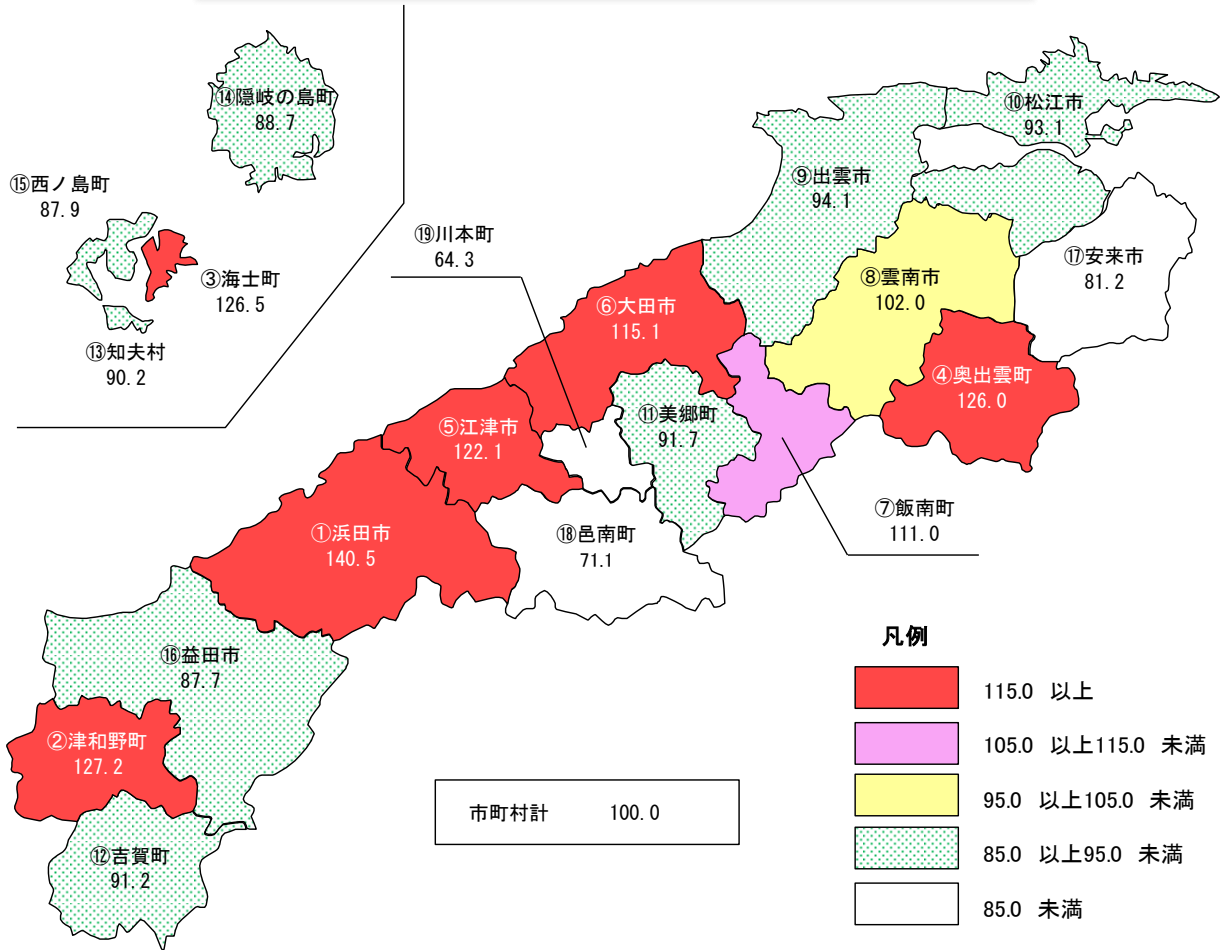


●脂質異常症

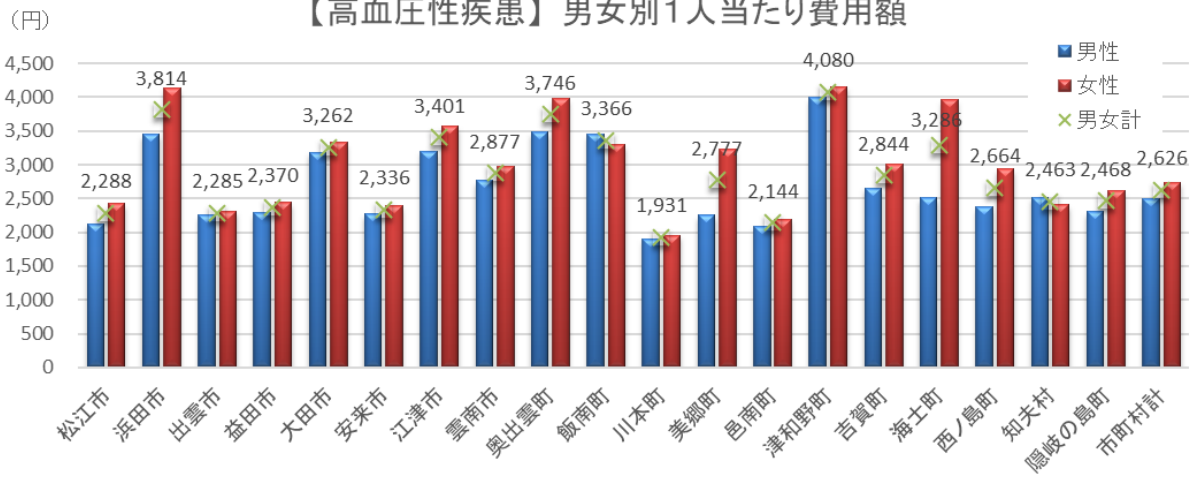


● 高血圧性疾患

【高血圧性疾患】年齢調整後1人当たり費用額(地域差)

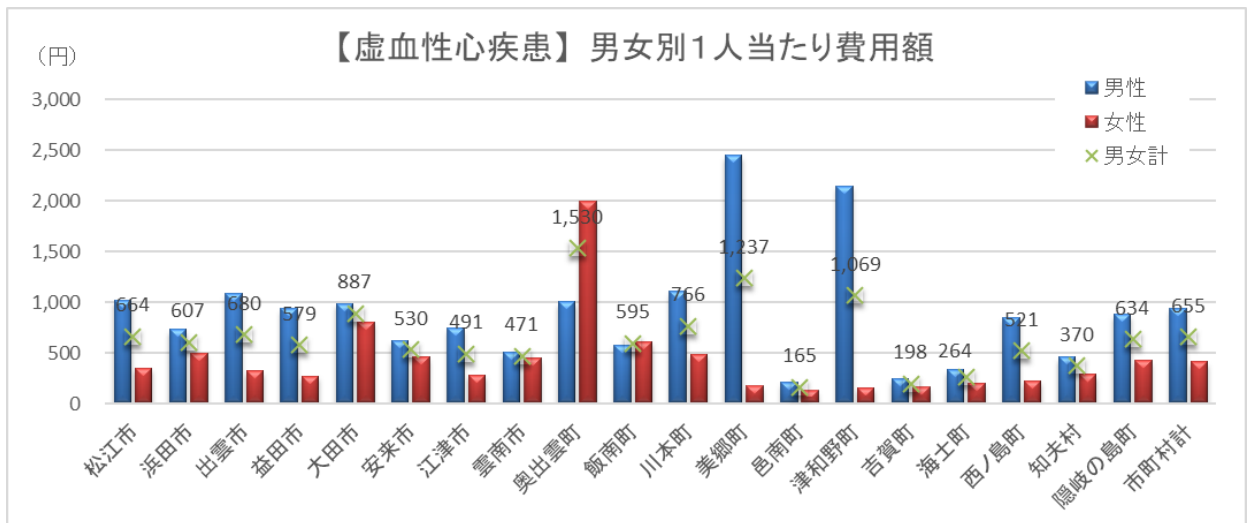
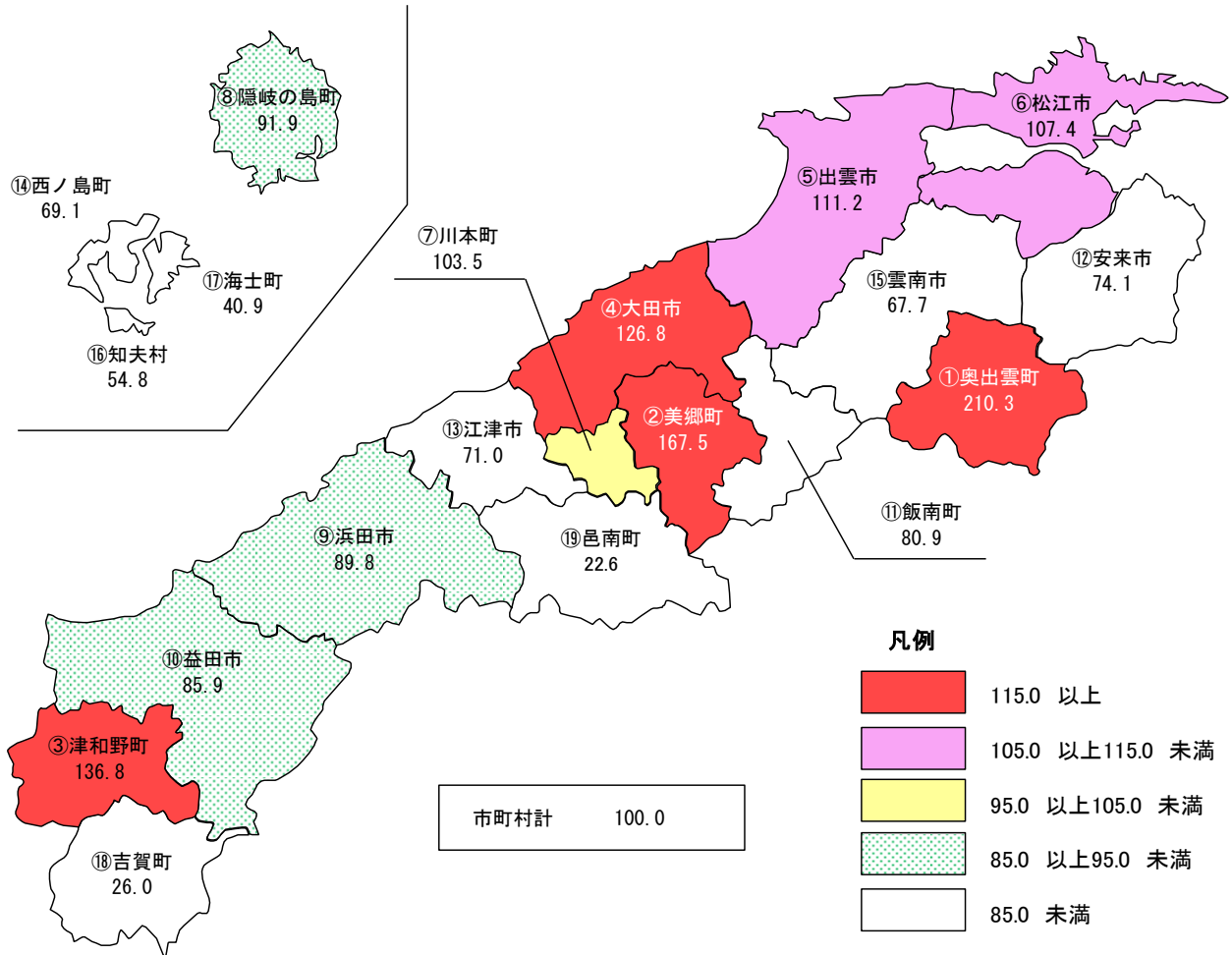


【高血圧性疾患】男女別1人当たり費用額

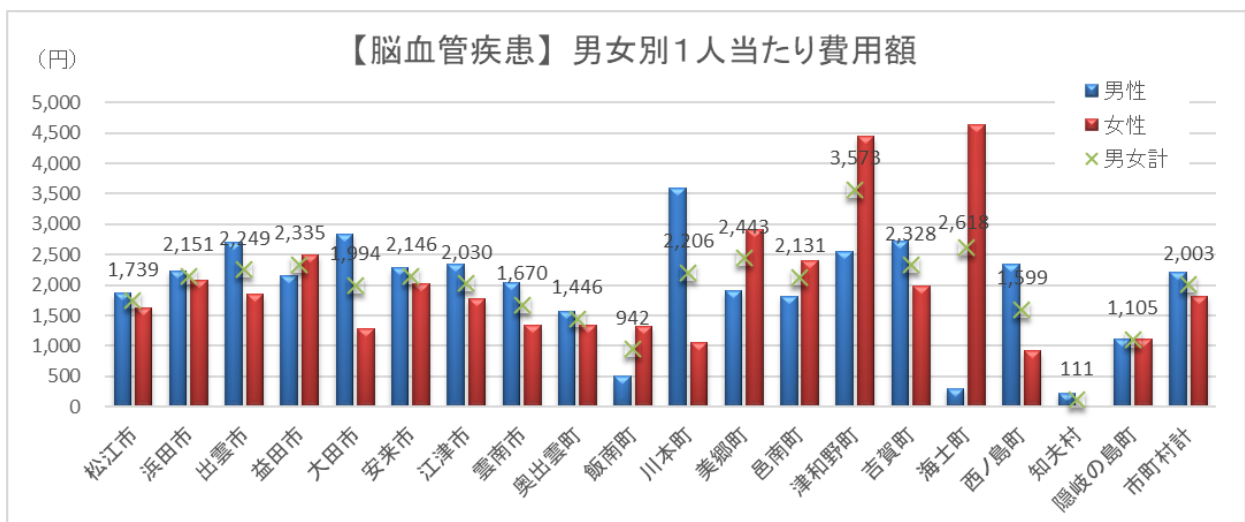
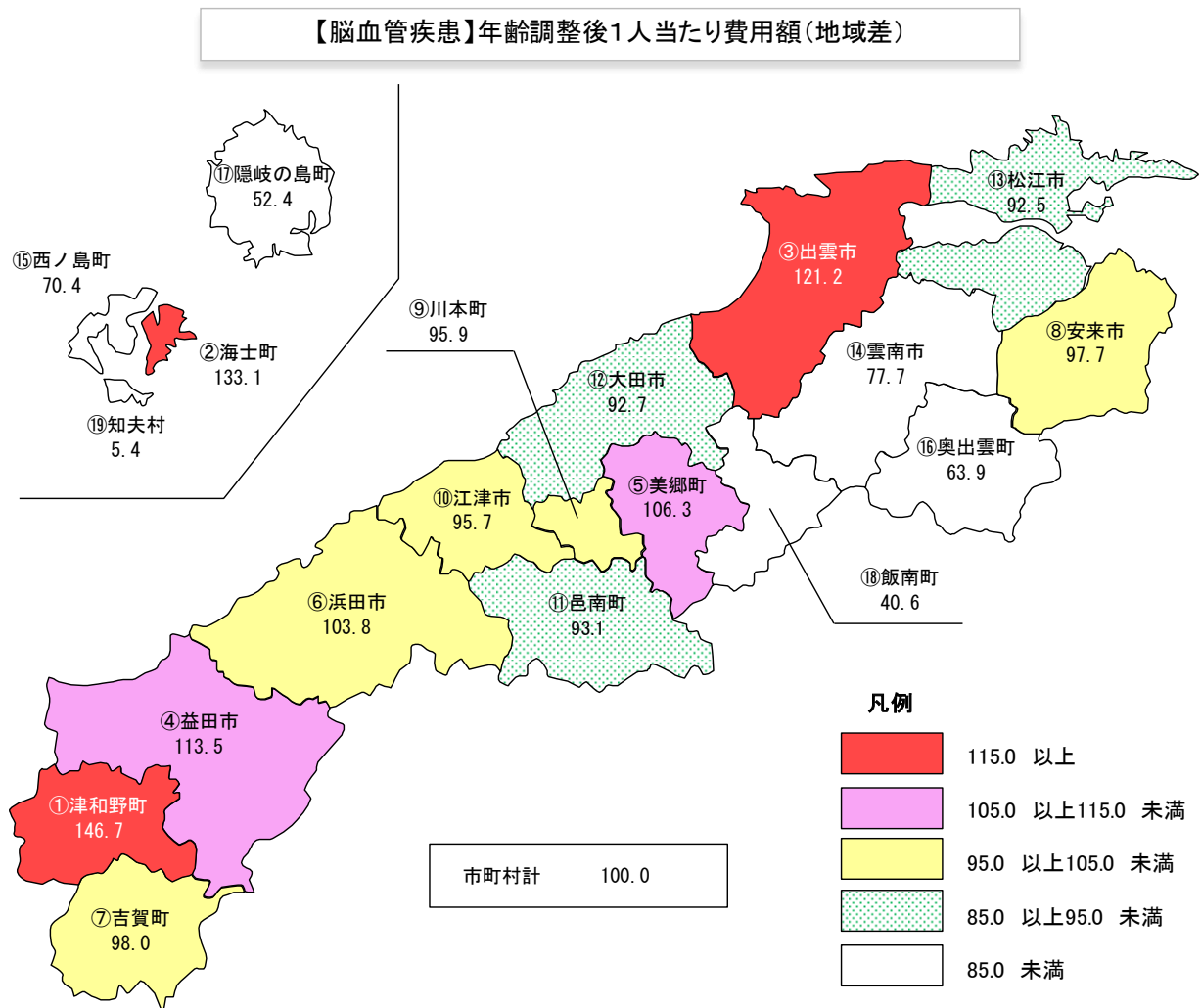


●虚血性心疾患

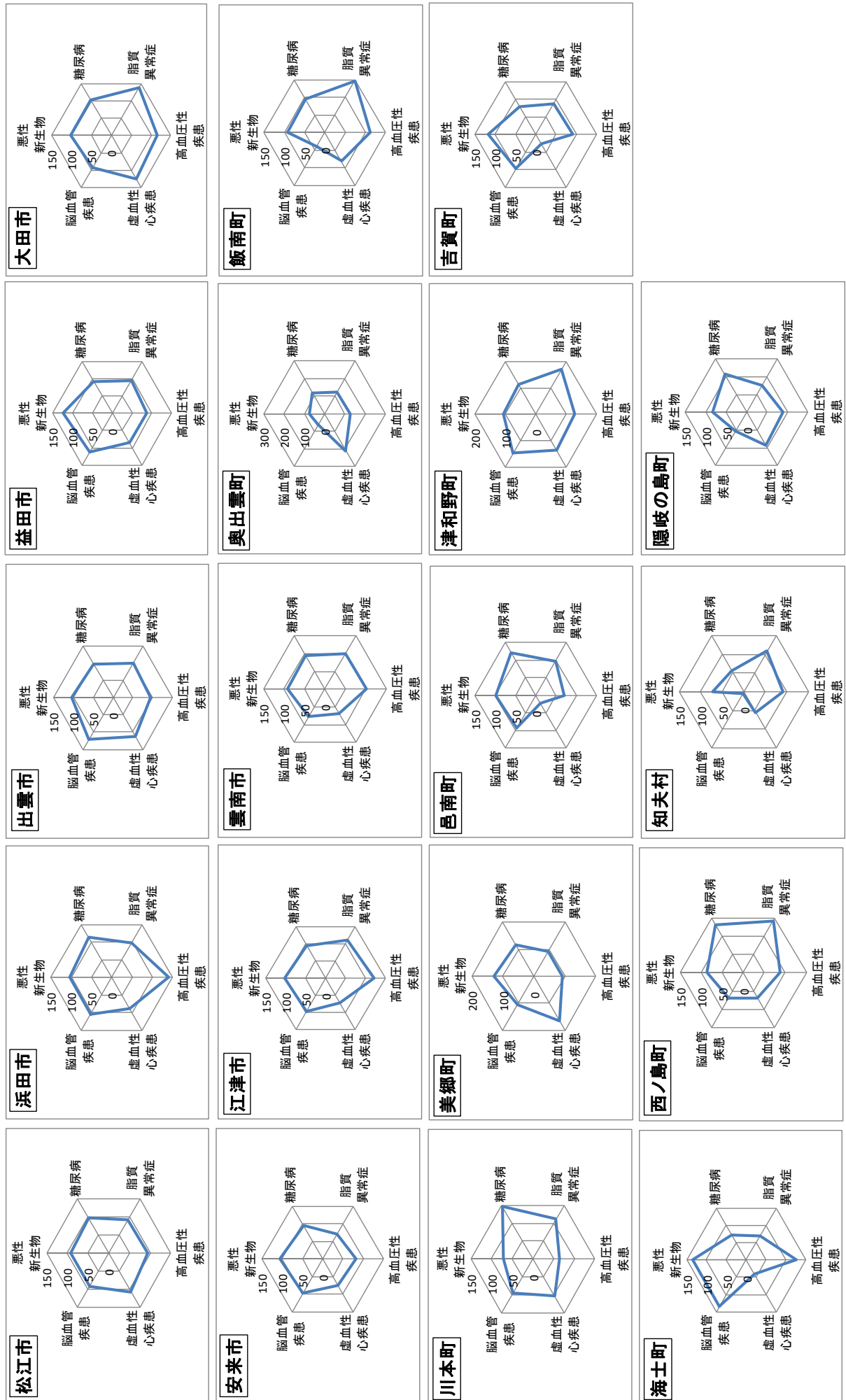
【虚血性心疾患】年齢調整後1人当たり費用額(地域差)



●脳血管疾患



●生活習慣病疾病別1人当たり費用額(市町村計を100とする)



【参考】市町村別状況一覧（国保・被用者保険・後期高齢者）

	人口 (人)	加入者数	カバー率 (%) 加入者 /人口	受診率	1件当たり 費用額	1人当たり 費用額 (年齢調整)	費用額上位3疾病(大分類)			費用額上位3疾病(中分類)			総費用額に占 める生活習慣 病の割合(%)
							1位	2位	3位	1位	2位	3位	
松江市	199,462	130,865	65.6	103.6	36,376	39,357	循環器系	新生物	筋骨格・ 結合組織	歯科	他の悪性新生物 <腫瘍>	統合失調症, 妄想性障害	29.4
浜田市	52,062	38,502	74.0	106.3	39,283	40,779	循環器系	新生物	内分泌・ 栄養・代謝	統合失調症, 妄想性障害	他の悪性新生物 <腫瘍>	高血圧性疾患	34.6
出雲市	171,090	118,195	69.1	100.9	39,954	42,537	循環器系	新生物	筋骨格・ 結合組織	統合失調症, 妄想性障害	腎不全	他の悪性新生物 <腫瘍>	30.2
益田市	43,228	34,779	80.5	104.3	38,781	39,623	循環器系	新生物	内分泌・ 栄養・代謝	統合失調症, 妄想性障害	歯科	他の悪性新生物 <腫瘍>	34.1
大田市	31,385	26,083	83.1	102.3	41,888	40,804	循環器系	新生物	他の外因 の影響	統合失調症, 妄想性障害	高血圧性疾患	腎不全	33.1
安来市	35,294	25,465	72.2	98.9	44,018	40,631	循環器系	新生物	内分泌・ 栄養・代謝	統合失調症, 妄想性障害	高血圧性疾患	腎不全	29.5
江津市	21,773	17,338	79.6	97.6	45,538	42,581	循環器系	新生物	筋骨格・ 結合組織	統合失調症, 妄想性障害	脳性麻痺・他の 麻痺性症候群	高血圧性疾患	30.7
雲南市	34,163	28,258	82.7	100.8	38,476	36,954	循環器系	新生物	精神・行動 の障害	統合失調症, 妄想性障害	高血圧性疾患	腎不全	31.0
奥出雲町	11,080	9,884	89.2	95.3	45,189	39,835	循環器系	新生物	筋骨格・ 結合組織	腎不全	高血圧性疾患	統合失調症, 妄想性障害	32.0
飯南町	4,361	3,899	89.4	97.9	41,718	37,836	循環器系	新生物	腎尿路 生殖器系	他の悪性新生物 <腫瘍>	統合失調症, 妄想性障害	他の神経系	30.5
川本町	3,079	2,532	82.2	90.6	48,316	40,097	循環器系	新生物	内分泌・ 栄養・代謝	統合失調症, 妄想性障害	腎不全	他の脳血管疾患	27.9
美郷町	4,034	3,672	91.0	106.2	47,338	45,663	循環器系	新生物	腎尿路 生殖器系	他の悪性新生物 <腫瘍>	他の心疾患	統合失調症, 妄想性障害	31.9
邑南町	9,627	8,409	87.3	98.6	40,652	36,332	循環器系	新生物	腎尿路 生殖器系	統合失調症, 妄想性障害	他の悪性新生物 <腫瘍>	歯科	30.8
津和野町	6,459	5,919	91.6	107.7	46,858	43,874	循環器系	新生物	内分泌・ 栄養・代謝	統合失調症, 妄想性障害	高血圧性疾患	腎不全	35.9
吉賀町	5,660	4,687	82.8	102.0	44,217	39,724	循環器系	新生物	他の外因 の影響	他の悪性新生物 <腫瘍>	他の消化器系	他の肝疾患	30.7
海士町	2,300	1,915	83.3	78.9	53,427	43,066	循環器系	新生物	消化器系 (歯科を除く)	他の筋骨格系	悪性リンパ腫	統合失調症, 妄想性障害	33.7
西ノ島町	2,635	2,162	82.0	83.8	55,516	41,872	新生物	循環器系	筋骨格・ 結合組織	関節症	腰椎障害(脊椎 症を含む)	他の神経系	28.3
知夫村	602	561	93.2	85.2	29,546	26,406	筋骨格・ 結合組織	循環器系	他の外因 の影響	他の呼吸器系	白内障	高血圧性疾患	33.5
隠岐の島町	13,023	10,948	84.1	80.2	43,375	33,633	新生物	循環器系	他の外因 の影響	他の悪性新生物 <腫瘍>	腎不全	関節症	31.1
市町村計	651,317	474,073	72.8	101.4	39,744	40,306	循環器系	新生物	筋骨格・ 結合組織	統合失調症, 妄想性障害	他の悪性新生物 <腫瘍>	腎不全	31.0

Ⅱ 特定健康診査結果統計

◆健診結果データ集計にあたって

1 使用データについて

次の県内医療保険者における、令和4年度特定健康診査結果データを集計した。

- ・島根県内 19 市町村国民健康保険
- ・島根県医師国民健康保険組合
- ・全国健康保険協会島根支部
- ・島根県市町村職員共済組合

2 分類方法（単位）

次の方法により分類する。

【制度（別）】

（1）国保

島根県内 19 市町村国民健康保険
島根県医師国民健康保険組合

（2）被用者保険

全国健康保険協会島根支部
島根県市町村職員共済組合

3 集計方法等

より多くのデータを対象とした傾向を掴むため、次の方法により集計した。

- （1）各医療保険者から提供された全ての特定健康診査結果データを使用する
（実施年度中における加入及び脱退等の異動を除外しない）。

※各医療保険者の法定報告値とは一致しない。

- （2）健診（検査・質問）項目の一部が実施されていない（欠損値がある）場合も分析対象とする。

1 県全体及び制度別の状況

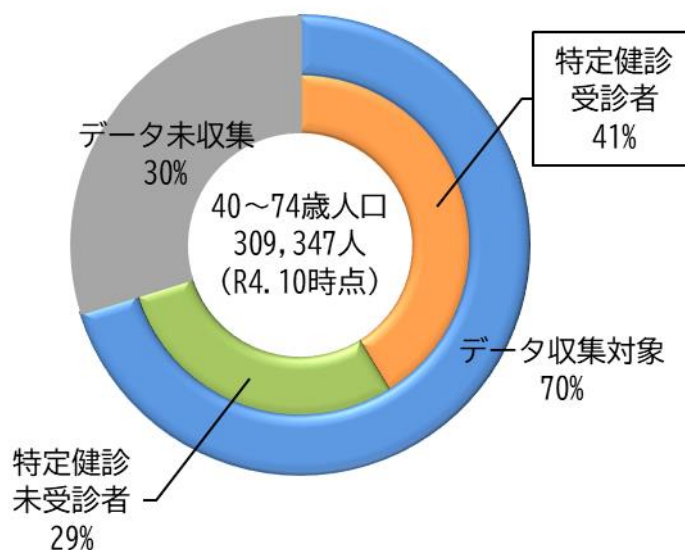
(1) 特定健診受診者数等

本統計における特定健診対象者数、受診者数及び受診率は下表のとおり。医療費統計と同様に、国保分は全保険者の健診結果データを、被用者保険分は一部の保険者のデータを収集している。

制度	性別	特定健診対象者数(人)	特定健診受診者数(人)	受診率(%)
国保	男性	48,211	18,987	39.4
	女性	51,587	24,069	46.7
	計	99,798	43,056	43.1
被用者保険	男性	59,103	44,833	75.9
	女性	58,274	40,118	68.8
	計	117,377	84,951	72.4
合計	男性	107,314	63,820	59.5
	女性	109,861	64,187	58.4
	計	217,175	128,007	58.9

なお、本統計で取り扱う健診結果データは、令和4年10月時点における島根県の40～74歳人口31万人弱のうちの約4割に相当する。

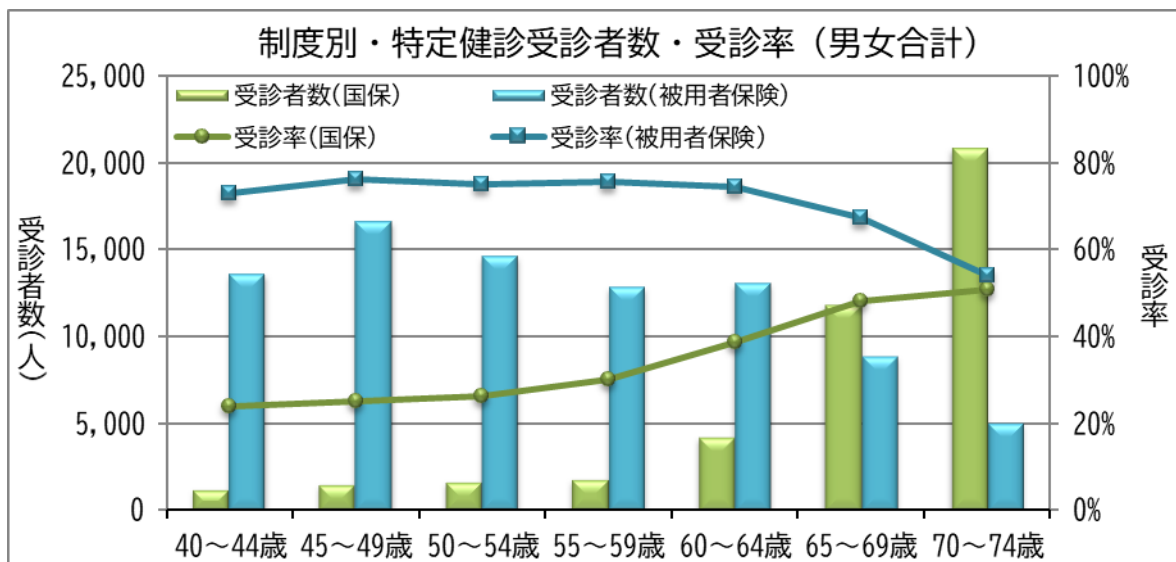
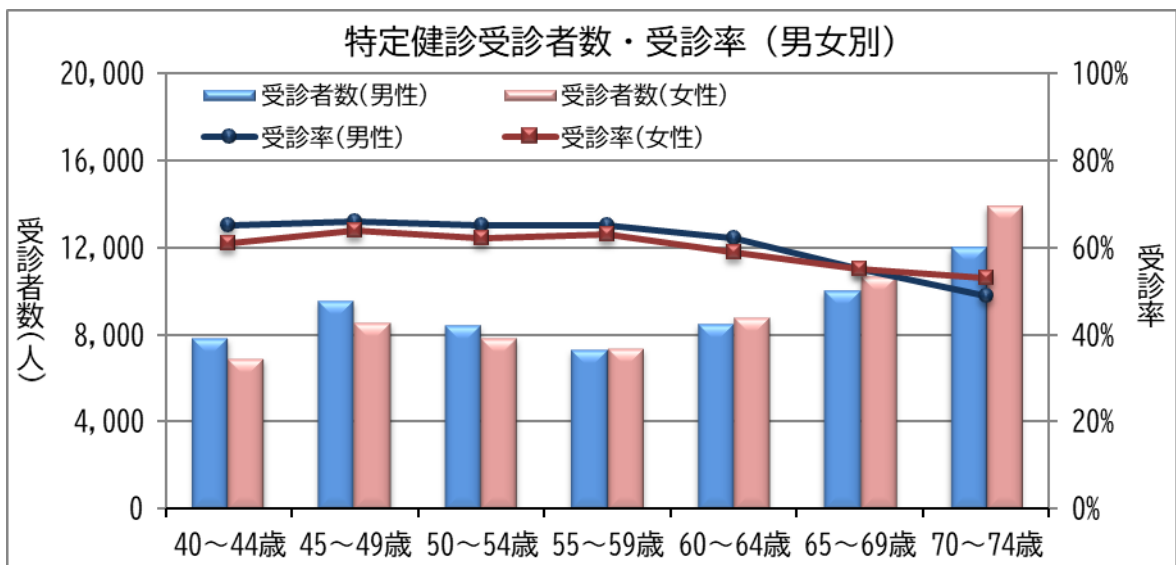
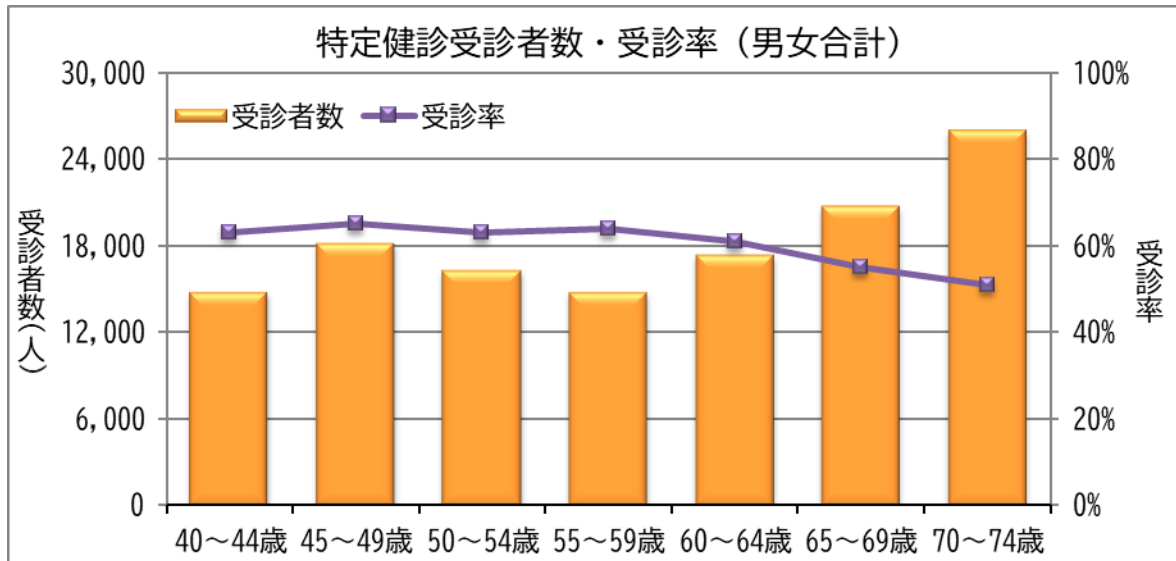
令和4年人口に占めるデータ収集状況



※人口：しまね統計情報データベースから

受診者数は70～74歳が最も多いが、受診率としては高齢者層の方がやや低い。

受診率を男女別にみると、40～64歳までは男性の方が高く、70～74歳では女性の方が高い。なお、69歳以下においては、受診者数、受診率ともに制度間で大きな差異がある。

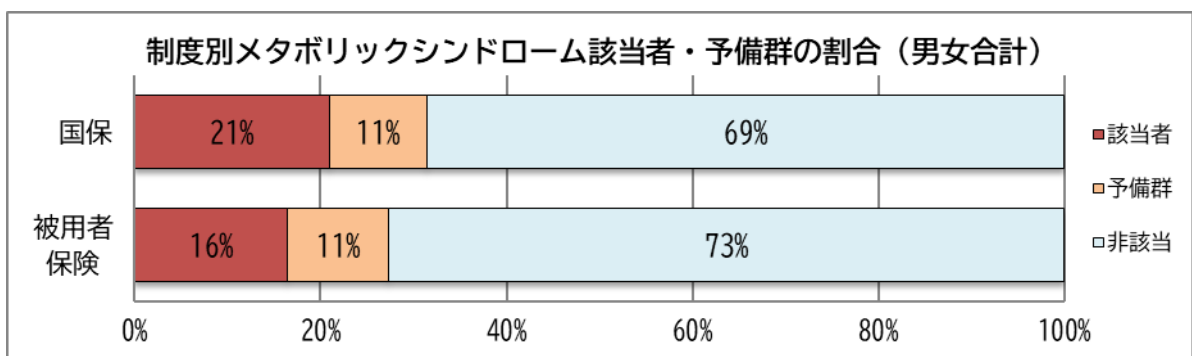
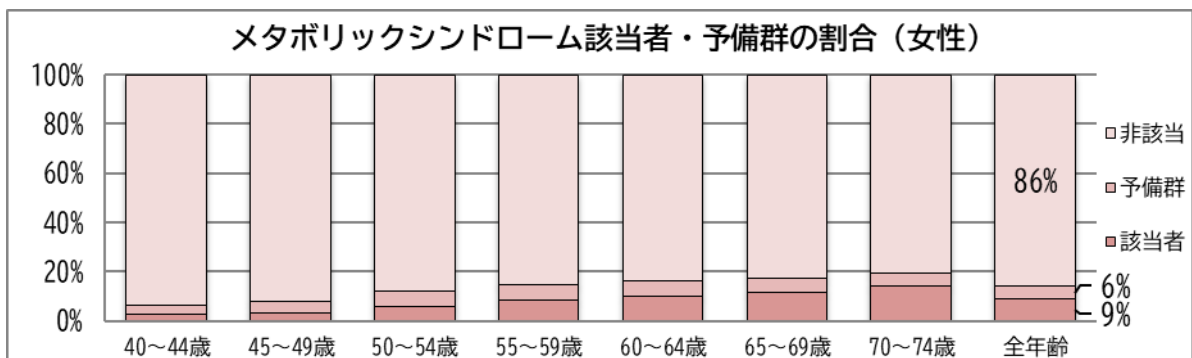
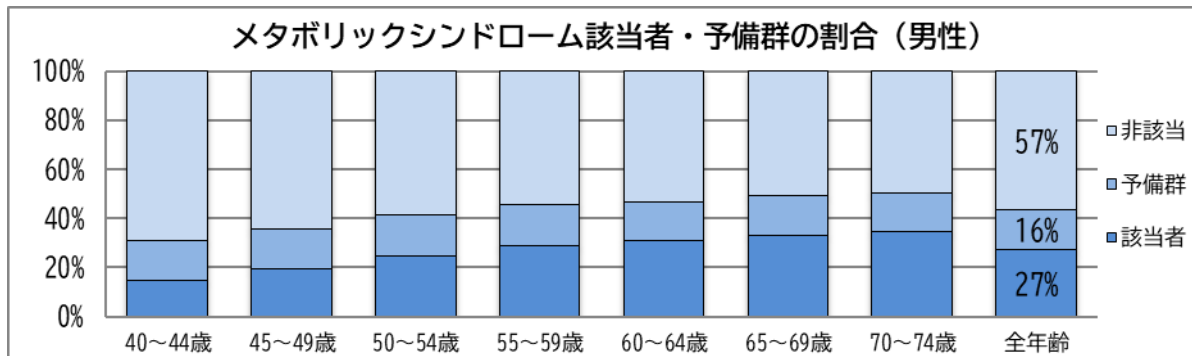
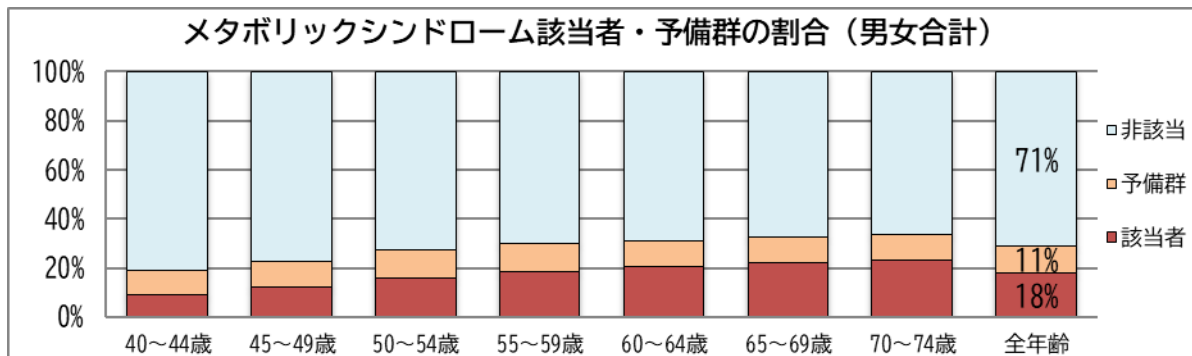


(2) メタボリックシンドローム該当者・予備群の割合

メタボリックシンドローム該当者及び予備群の診断基準は、次のとおりとした。

腹囲	男性 85 cm以上、女性 90 cm以上（内臓脂肪面積男女とも 100 cm ² 以上）
※腹囲の他、以下基準を2項目以上該当：該当者、1項目該当：予備群該当	
血糖	空腹時血糖 110mg/dl 以上 かつ/又は HbA1c 6.0%以上
脂質	中性脂肪 150mg/dl 以上 かつ/又は HDL コレステロール 40mg/dl 未満
血圧	収縮期 130mmHg 以上 かつ/又は 拡張期 85mmHg 以上

予備群の割合は全ての年齢階層でほぼ同じ水準だが、該当者の割合は高齢になるほど高くなっている。男女別にみると、男性が女性を大きく上回っている。



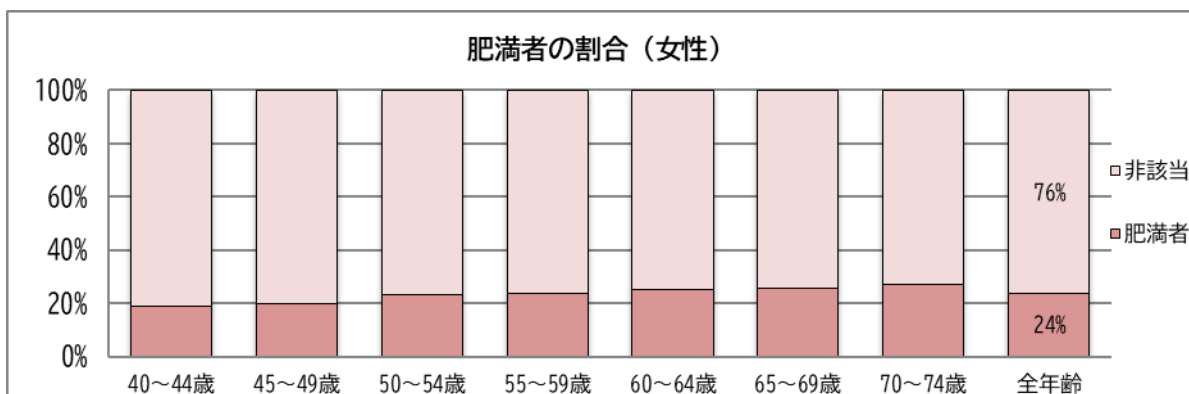
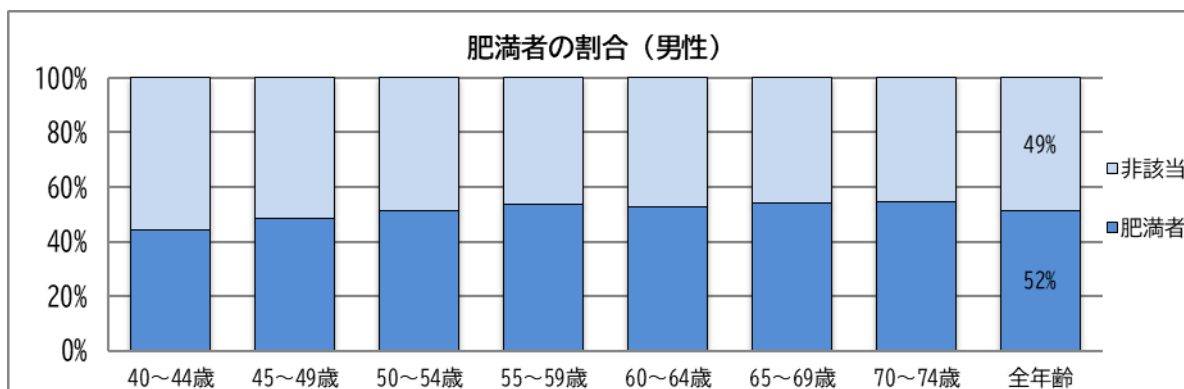
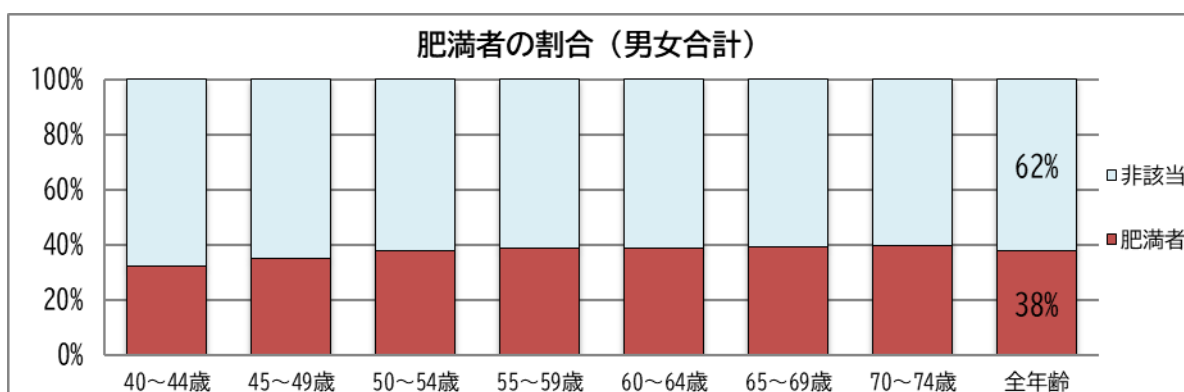
(3) 検査等結果

① 肥満者の割合

肥満者及び非肥満者の定義は、次のとおりとした。

肥満者	腹囲 男性 85 cm以上、女性 90 cm以上 又は BMI 25 以上 又は 内臓脂肪面積 100 cm ² 以上
非肥満者	上記以外

肥満者の割合は、年齢階層では大きな差はみられないものの、高齢者の方がやや高い傾向にある。男女別では、各年齢階層とも男性は女性の約2倍の割合となっている。

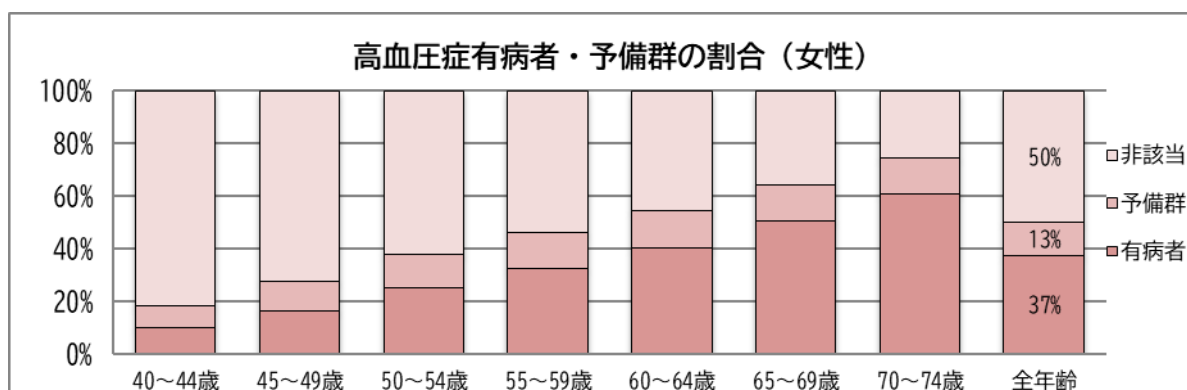
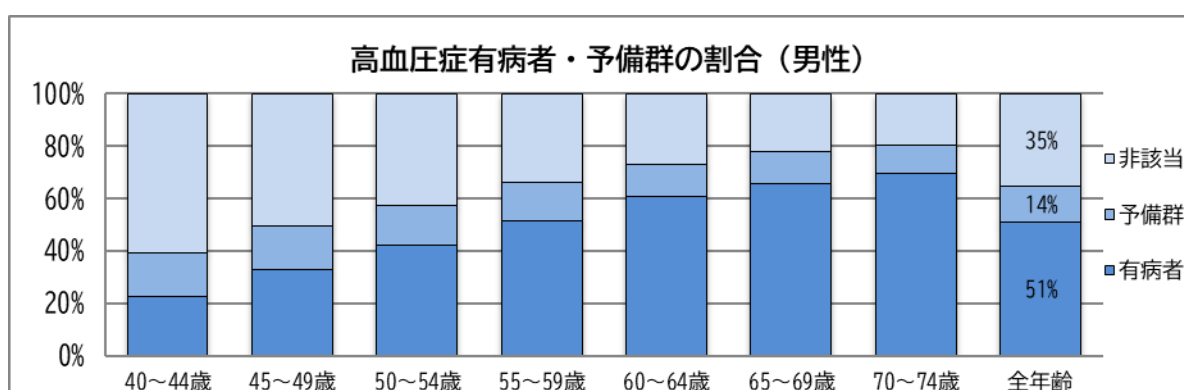
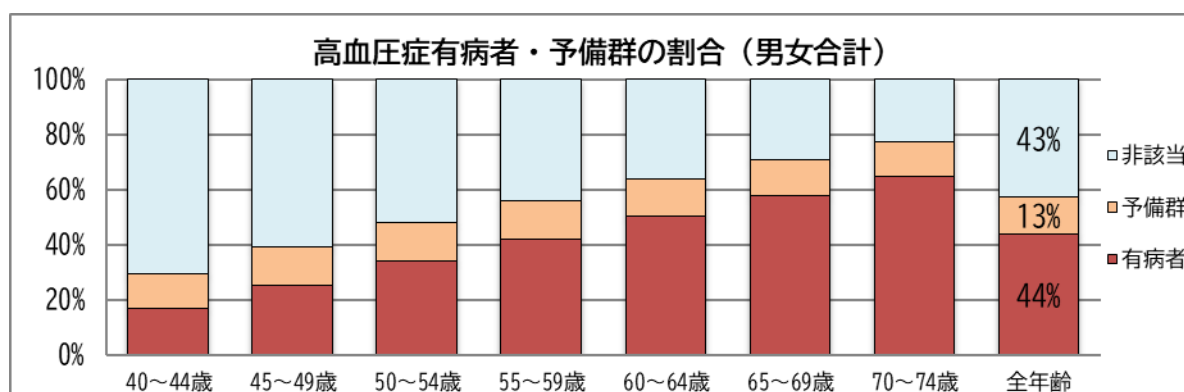


② 高血圧症有病者・予備群の割合

高血圧症有病者、予備群及び非該当の定義は、次のとおりとした。

有病者	服薬者
	服薬なし→収縮期血圧 140mmHg 以上、又は 拡張期血圧 90 以上（受診勧奨値）
予備群	収縮期血圧 130mmHg 以上 140mmHg 未満、又は 拡張期血圧 85mmHg 以上 90mmHg 未満（メタボリックシンドローム診断基準値）※有病者を除く
非該当	上記以外

年齢が高いほど有病者の割合は高い。年齢階層別に男女を比較すると、男性は若い世代から高い傾向がみられる。

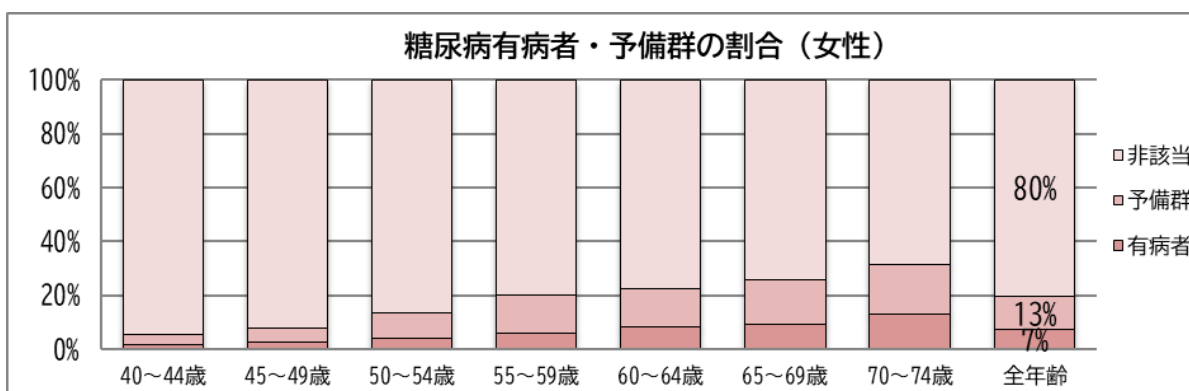
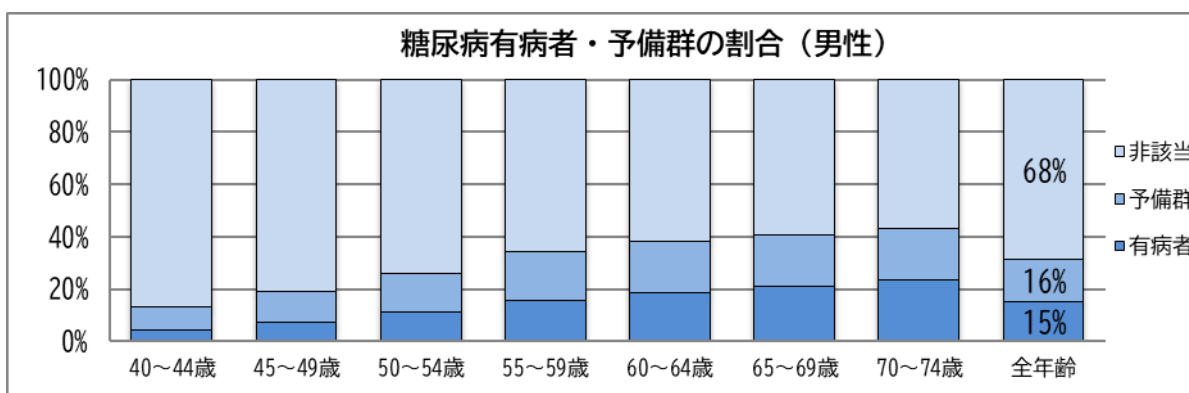
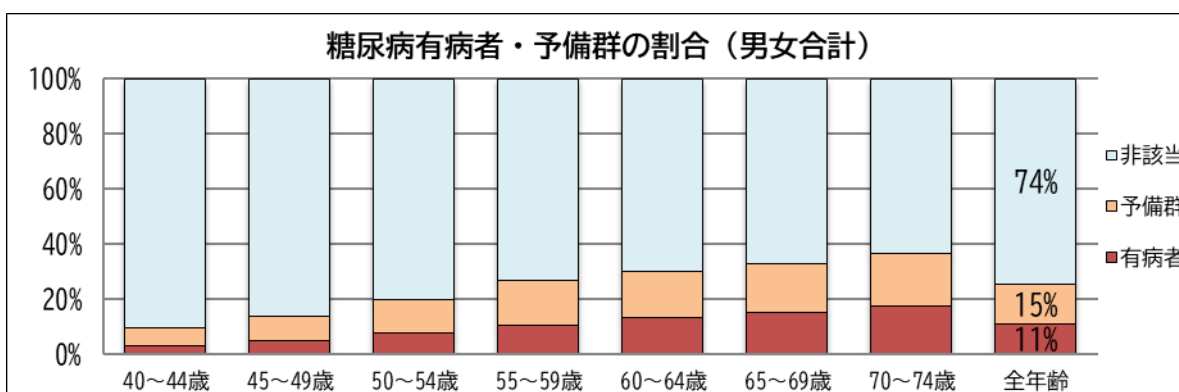


③ 糖尿病有病者・予備群の割合

糖尿病有病者、予備群及び非該当の定義は、次のとおりとした。

有病者	服薬者
	服薬なし→空腹時血糖 126mg/dl 以上、又は HbA1c 6.5%以上（受診勧奨値）
予備群	空腹時血糖 110mg/dl 以上 126mg/dl 未満、又は HbA1c 6.0%以上 6.5%未満（メタボリックシンドローム診断基準値）※有病者を除く
非該当	上記以外

年齢が高いほど有病者の割合は高い。男女別に有病者の割合をみると、男性は女性の約1.5倍となっている。

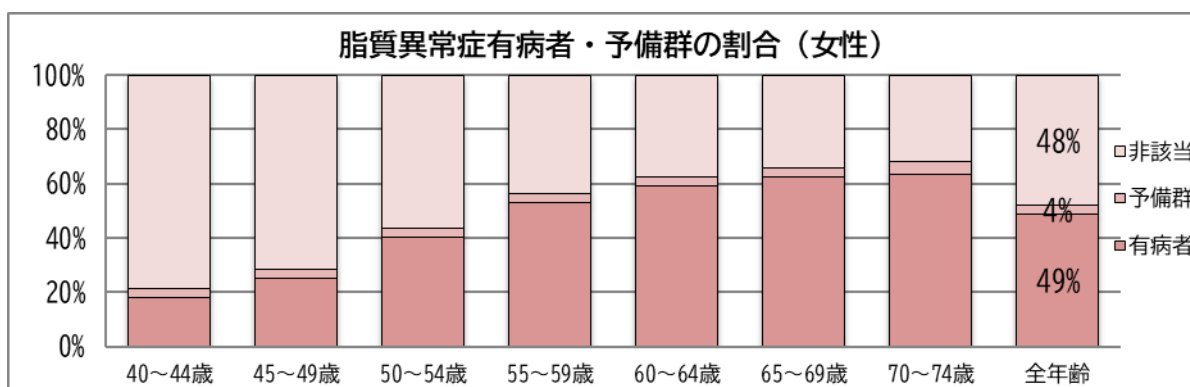
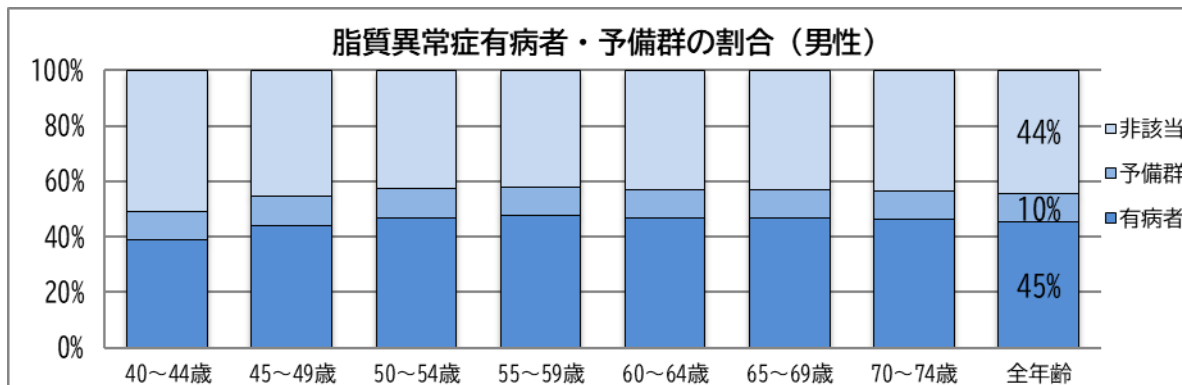
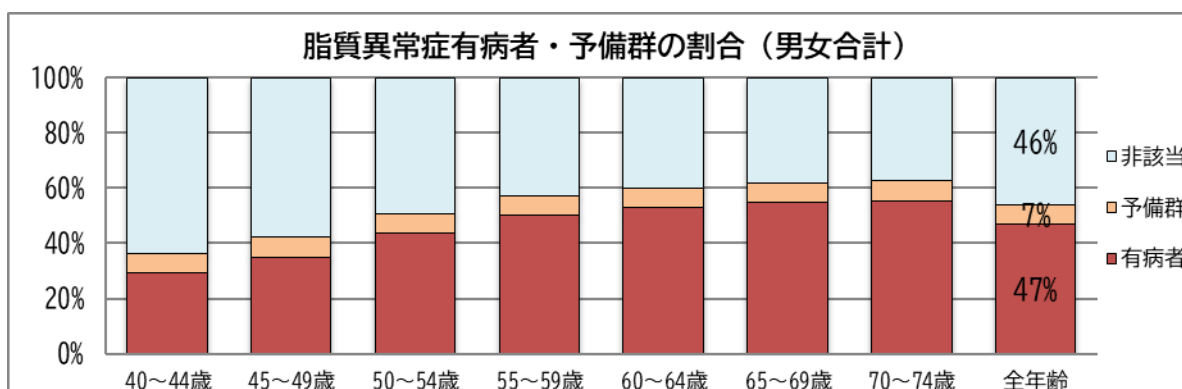


④ 脂質異常症有病者・予備群の割合

脂質異常症有病者、予備群及び非該当の定義は、次のとおりとした。

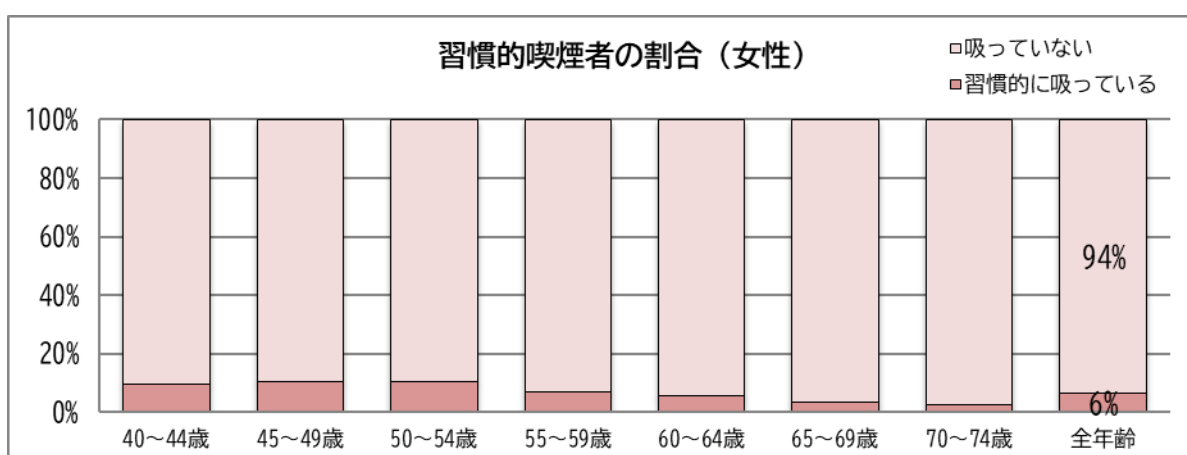
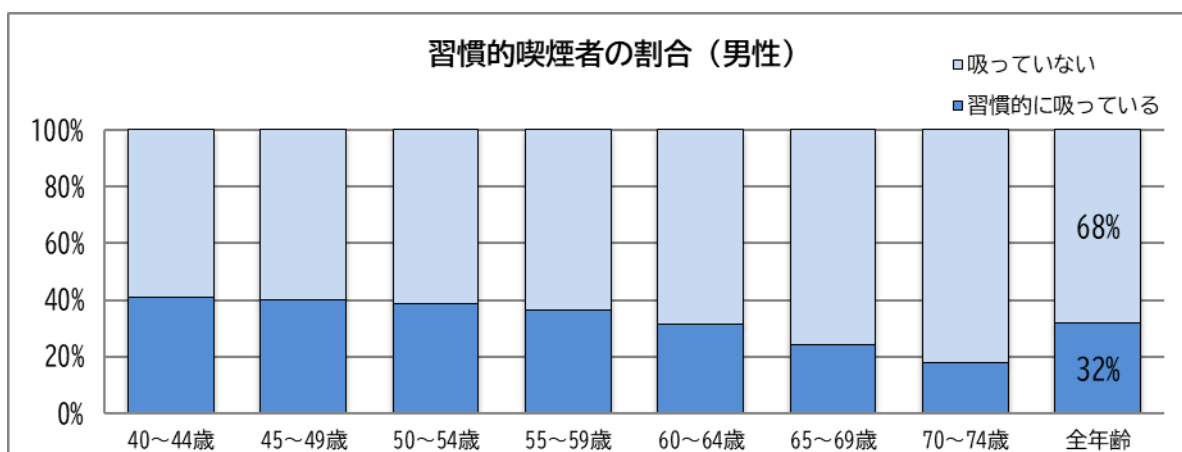
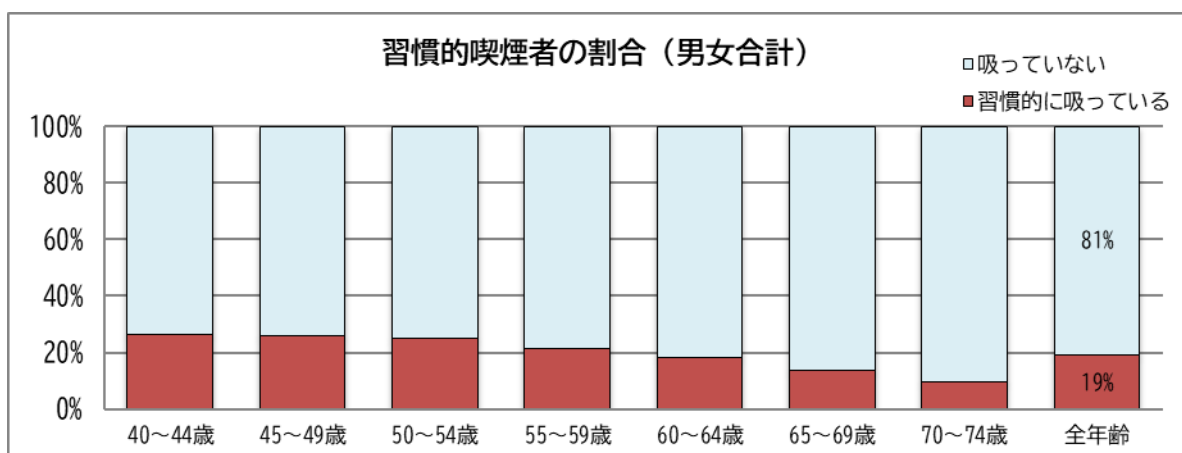
有病者	服薬者
	服薬なし→中性脂肪 300mg/dl 以上、又は HDL コレステロール 34mg/dl 未満、 又は LDL コレステロール 140mg/dl 以上（受診勧奨値）
予備群	中性脂肪 150mg/dl 以上 300mg/dl 未満、又は HDL コレステロール 40mg/dl 未満 （メタボリックシンドローム診断基準値）※有病者を除く
非該当	上記以外

年齢が高いほど有病者の割合は高い。男女別にみると、男性は年齢階層で大きな差はみられないが、女性は40～59歳にかけて有病者の増加が顕著である。



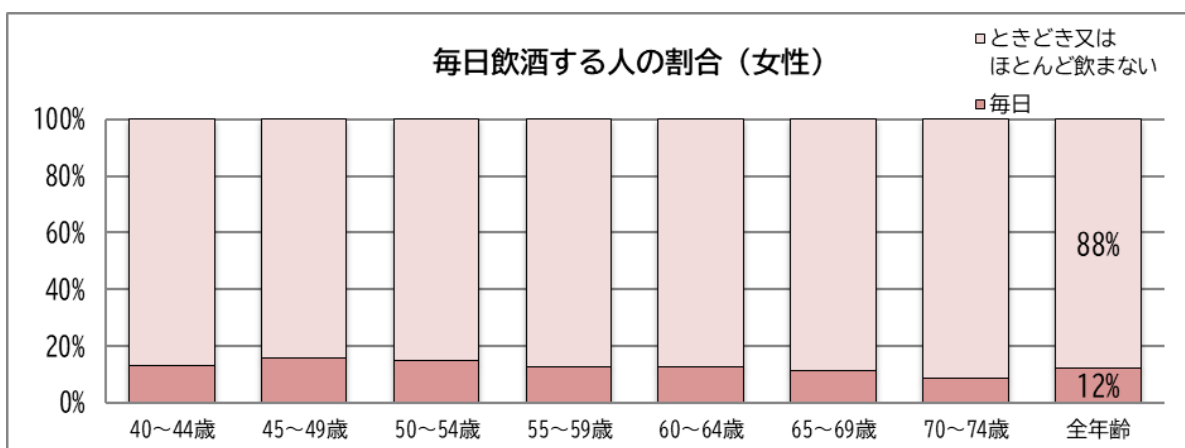
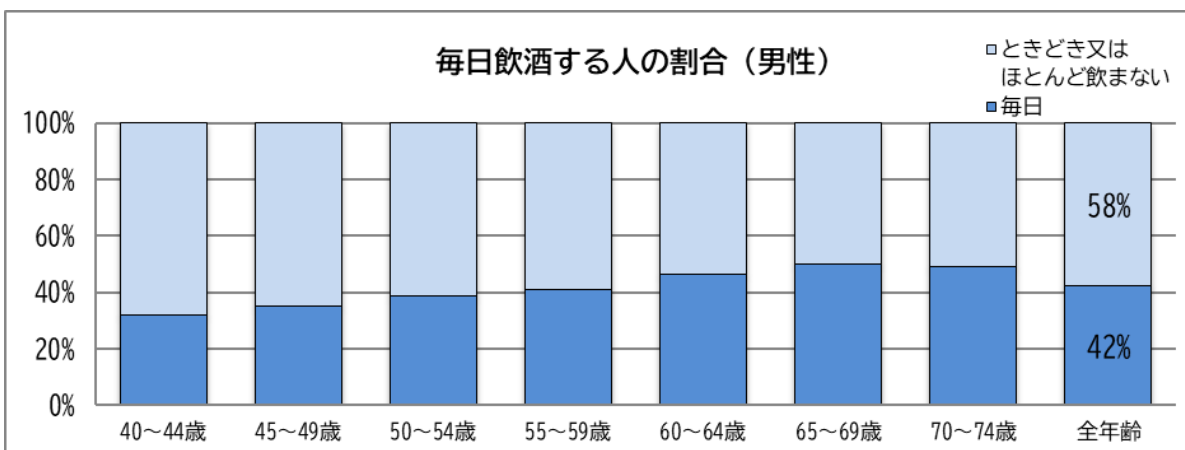
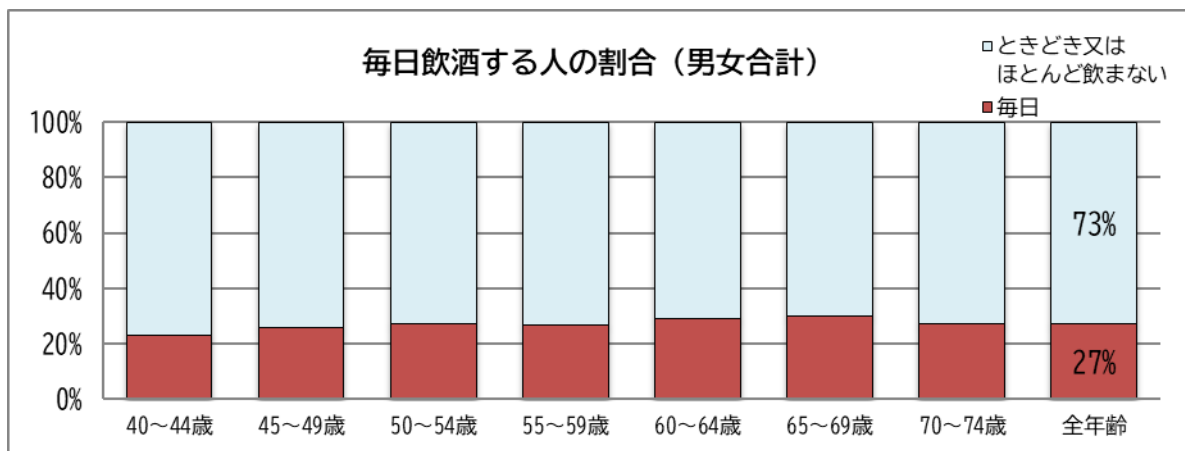
⑤ 習慣的喫煙者の割合

年齢が高いほど習慣的喫煙者の割合は低くなっている。男女ともに同じ傾向であるが、各年齢階層の割合は、男性が女性を大きく上回っている。



⑥ 毎日飲酒する人の割合

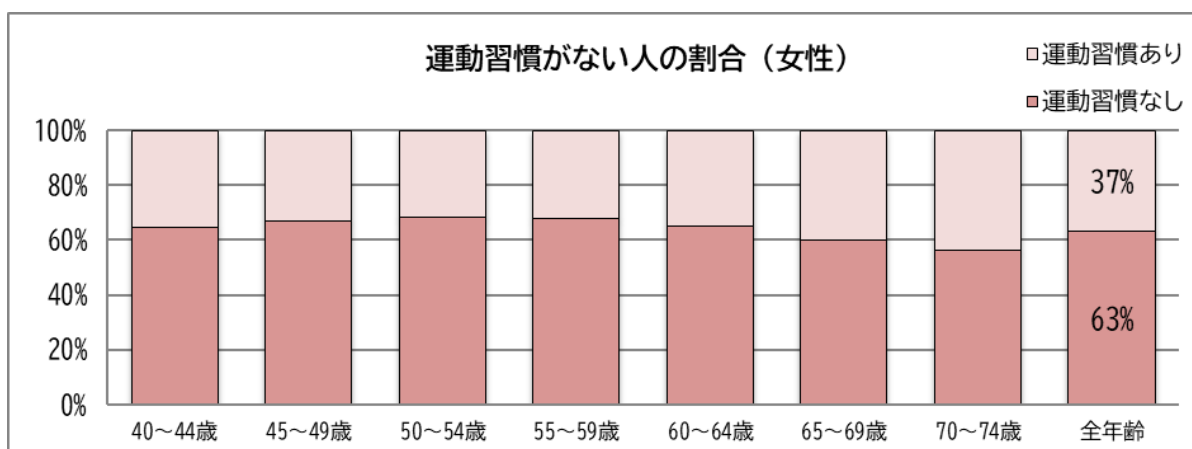
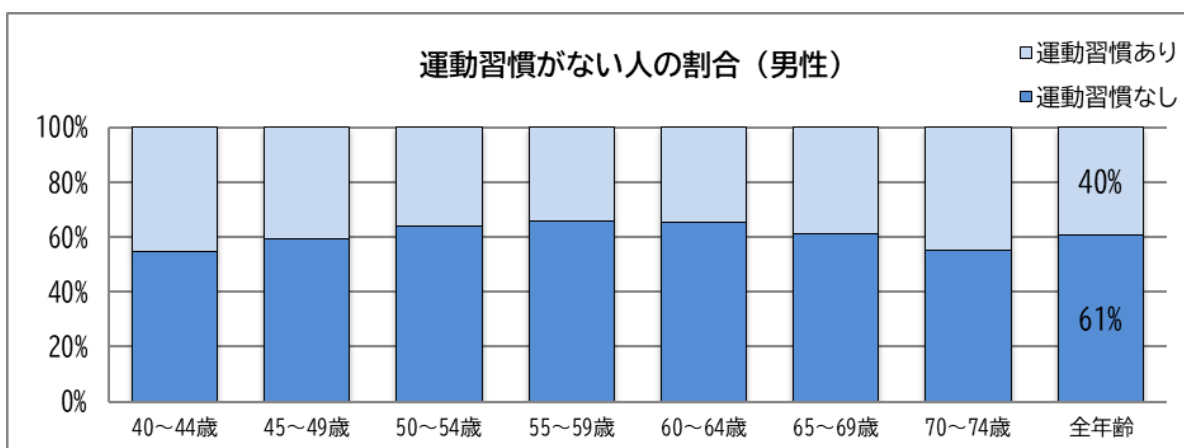
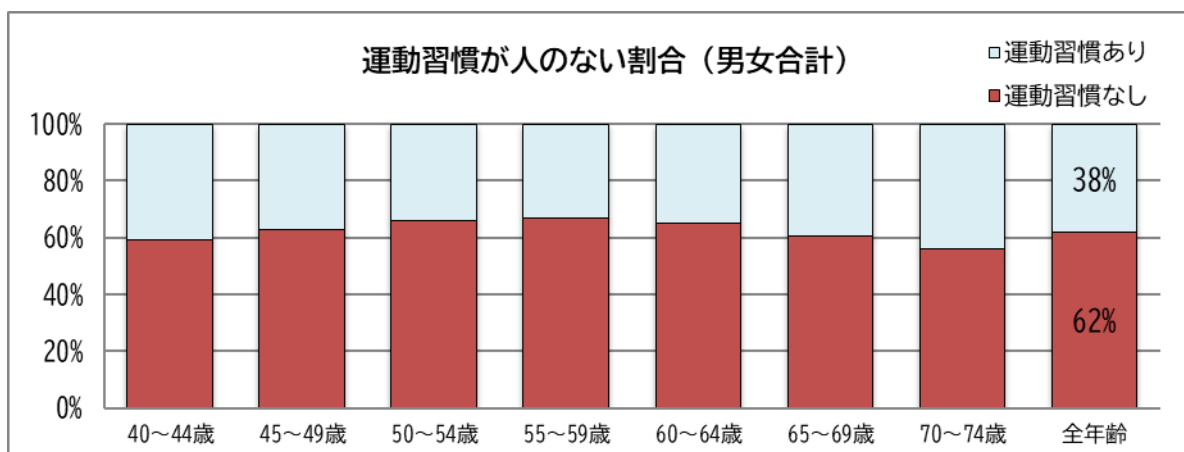
年齢が高いほど、毎日飲酒している人の割合が高く、50歳以上では50%を超えている。男女別にみると、男性が女性を大きく上回っている。



⑦ 運動習慣がない人の割合

運動習慣がない人は6割強と高い。特に50歳代で高い傾向にある。

※問診項目「日常生活において歩行または同等の身体活動を1日1時間以上実施している」に該当する人を「運動習慣がある人」として集計

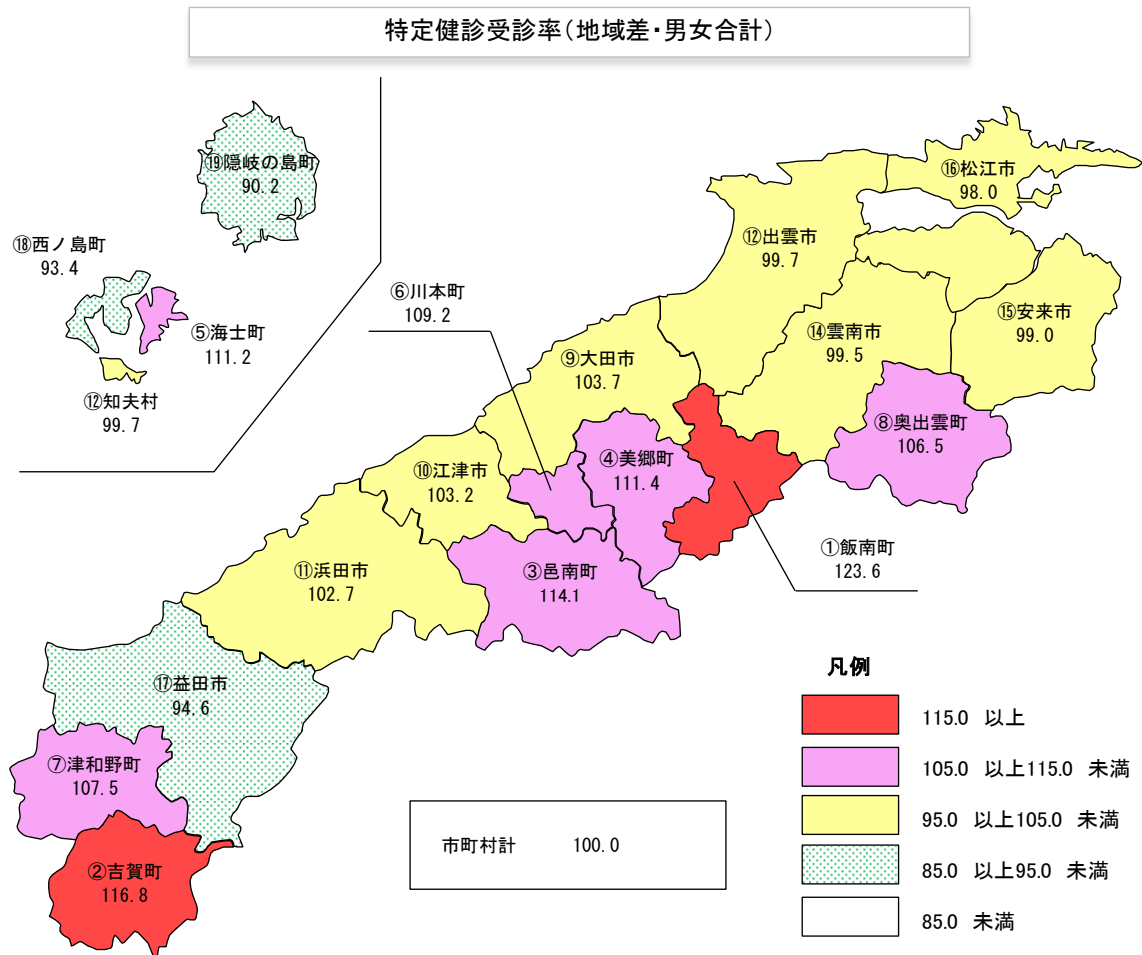


2 市町村別の状況

(1) 特定健診受診者等

本統計における市町村別の特定健診対象者数、受診者数及び受診率は次表のとおり。
受診率が最も高いのは飯南町で72.8%、次いで吉賀町が68.8%と続く。

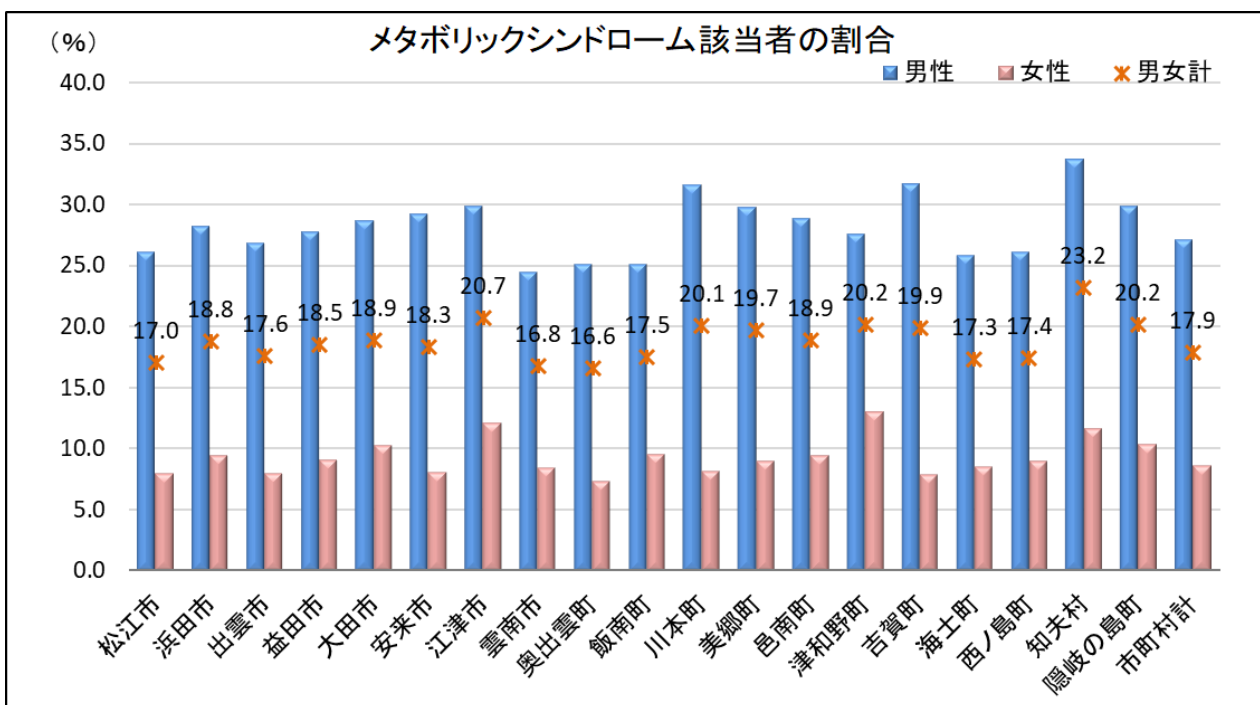
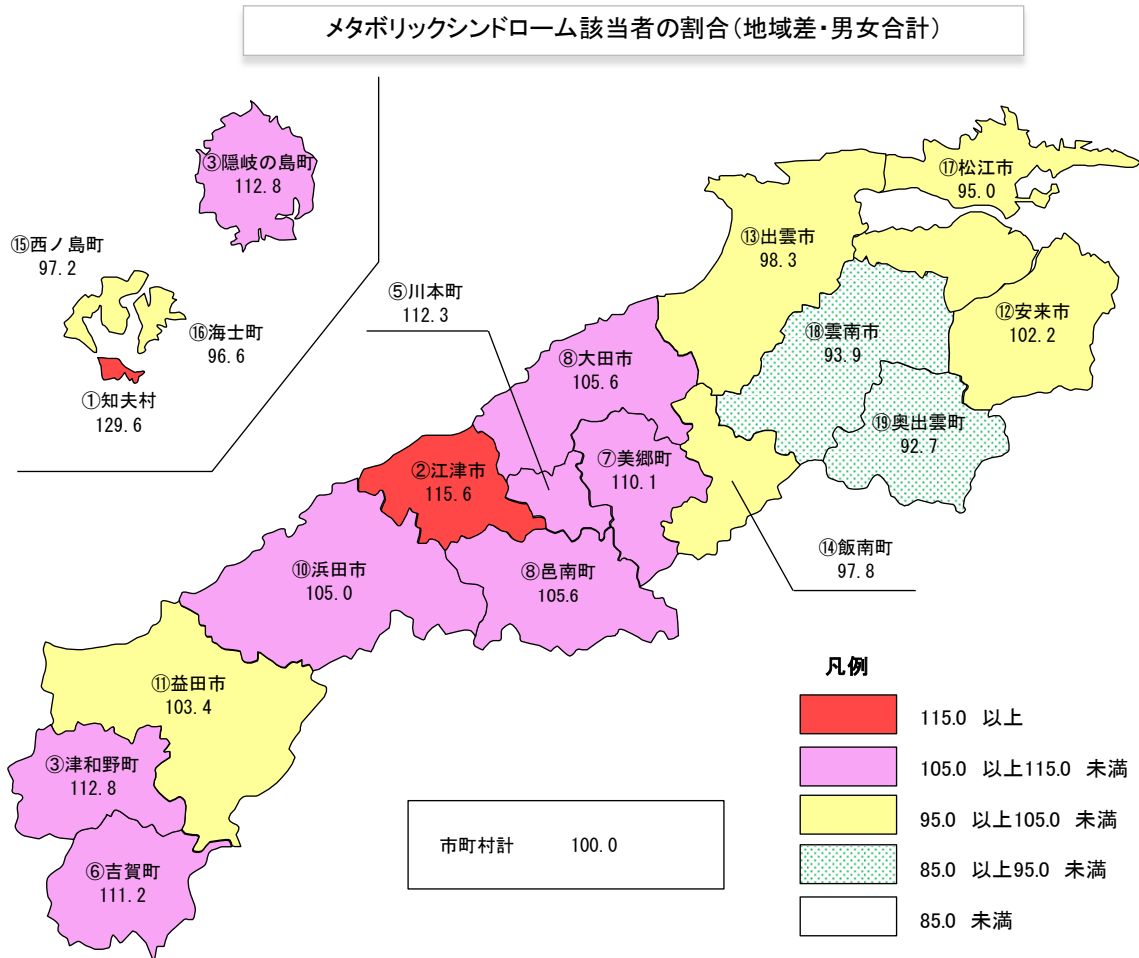
保険者	特定健診対象者数(人)			特定健診受診者数(人)			特定健診受診率(%)		
	男性	女性	男女合計	男性	女性	男女合計	男性	女性	男女合計
松江市	29,300	30,778	60,078	17,211	17,435	34,646	58.7%	56.6%	57.7%
浜田市	8,828	9,022	17,850	5,340	5,465	10,805	60.5%	60.6%	60.5%
出雲市	27,036	27,282	54,318	16,243	15,637	31,880	60.1%	57.3%	58.7%
益田市	8,033	8,406	16,439	4,609	4,547	9,156	57.4%	54.1%	55.7%
大田市	5,864	6,108	11,972	3,401	3,909	7,310	58.0%	64.0%	61.1%
安来市	5,514	5,865	11,379	3,166	3,465	6,631	57.4%	59.1%	58.3%
江津市	4,006	4,196	8,202	2,408	2,578	4,986	60.1%	61.4%	60.8%
雲南市	6,609	6,426	13,035	3,966	3,673	7,639	60.0%	57.2%	58.6%
奥出雲町	2,316	2,122	4,438	1,434	1,349	2,783	61.9%	63.6%	62.7%
飯南町	833	776	1,609	588	584	1,172	70.6%	75.3%	72.8%
川本町	537	551	1,088	352	348	700	65.5%	63.2%	64.3%
美郷町	792	762	1,554	521	498	1,019	65.8%	65.4%	65.6%
邑南町	1,761	1,788	3,549	1,151	1,234	2,385	65.4%	69.0%	67.2%
津和野町	1,274	1,276	2,550	793	822	1,615	62.2%	64.4%	63.3%
吉賀町	991	990	1,981	682	680	1,362	68.8%	68.7%	68.8%
海士町	413	384	797	264	258	522	63.9%	67.2%	65.5%
西ノ島町	473	492	965	252	279	531	53.3%	56.7%	55.0%
知夫村	116	97	213	65	60	125	56.0%	61.9%	58.7%
隠岐の島町	2,618	2,540	5,158	1,374	1,366	2,740	52.5%	53.8%	53.1%
市町村計	107,314	109,861	217,175	63,820	64,187	128,007	59.5%	58.4%	58.9%



(2) メタボリックシンドローム該当者・予備群の割合

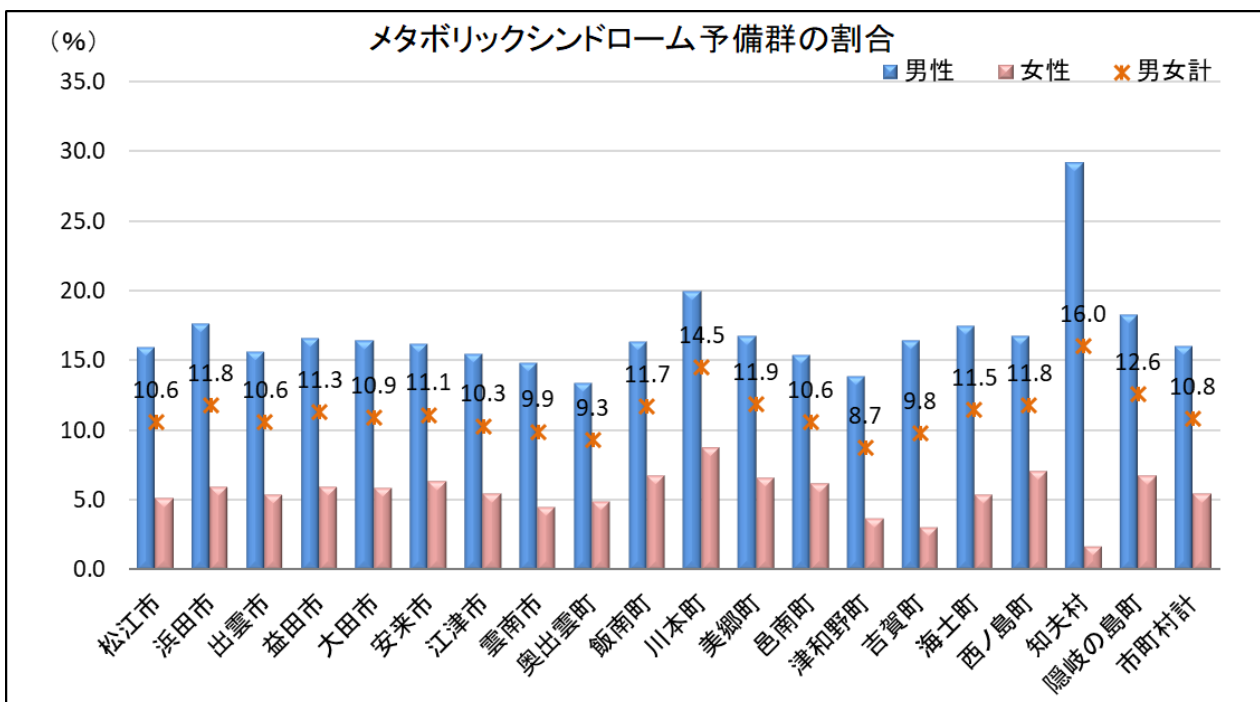
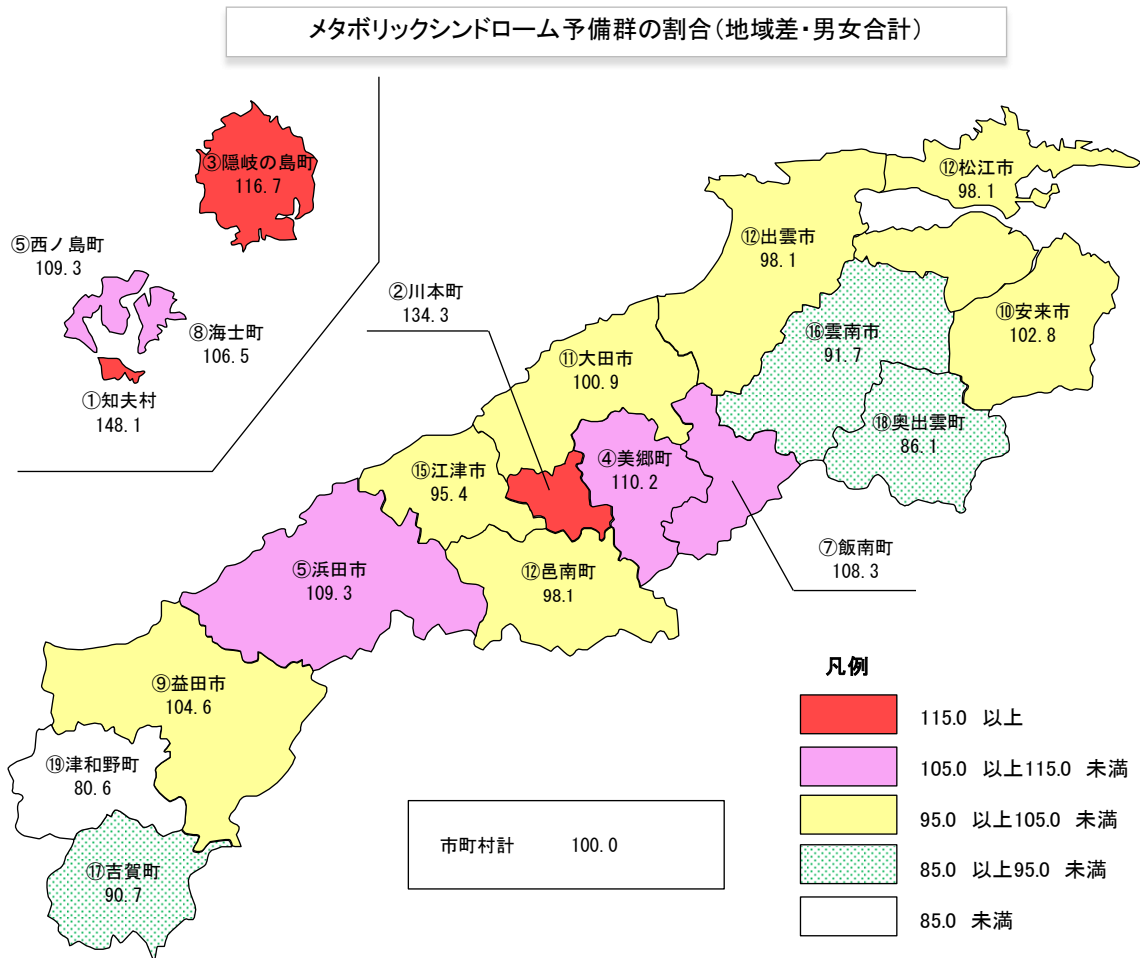
① メタボリックシンドローム該当者の割合

メタボリックシンドローム該当者の割合が最も高いのは知夫村（23.2%）、最も低いのは奥出雲町（16.6%）である。男女別にみると、全ての市町村で男性の割合が高い。



② メタボリックシンドローム予備群の割合

メタボリックシンドローム予備群の割合が最も高いのは知夫村（16.0%）、最も低いのは津和野町（8.7%）である。

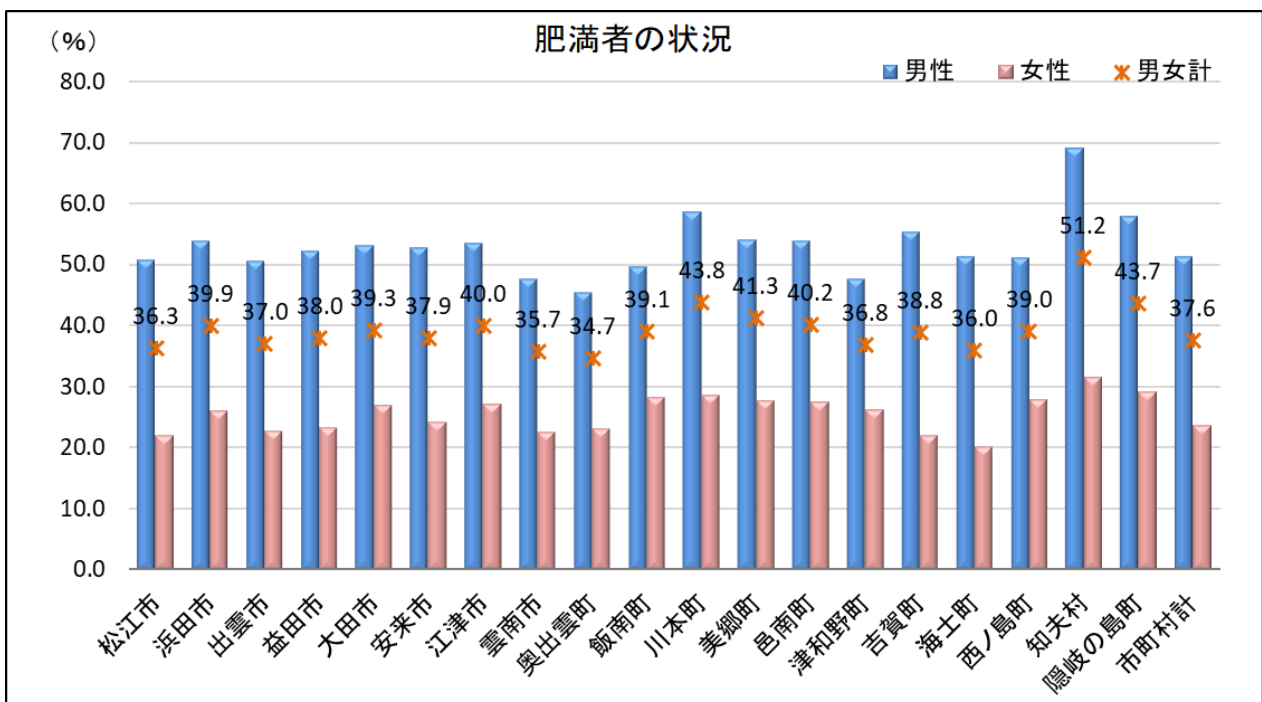
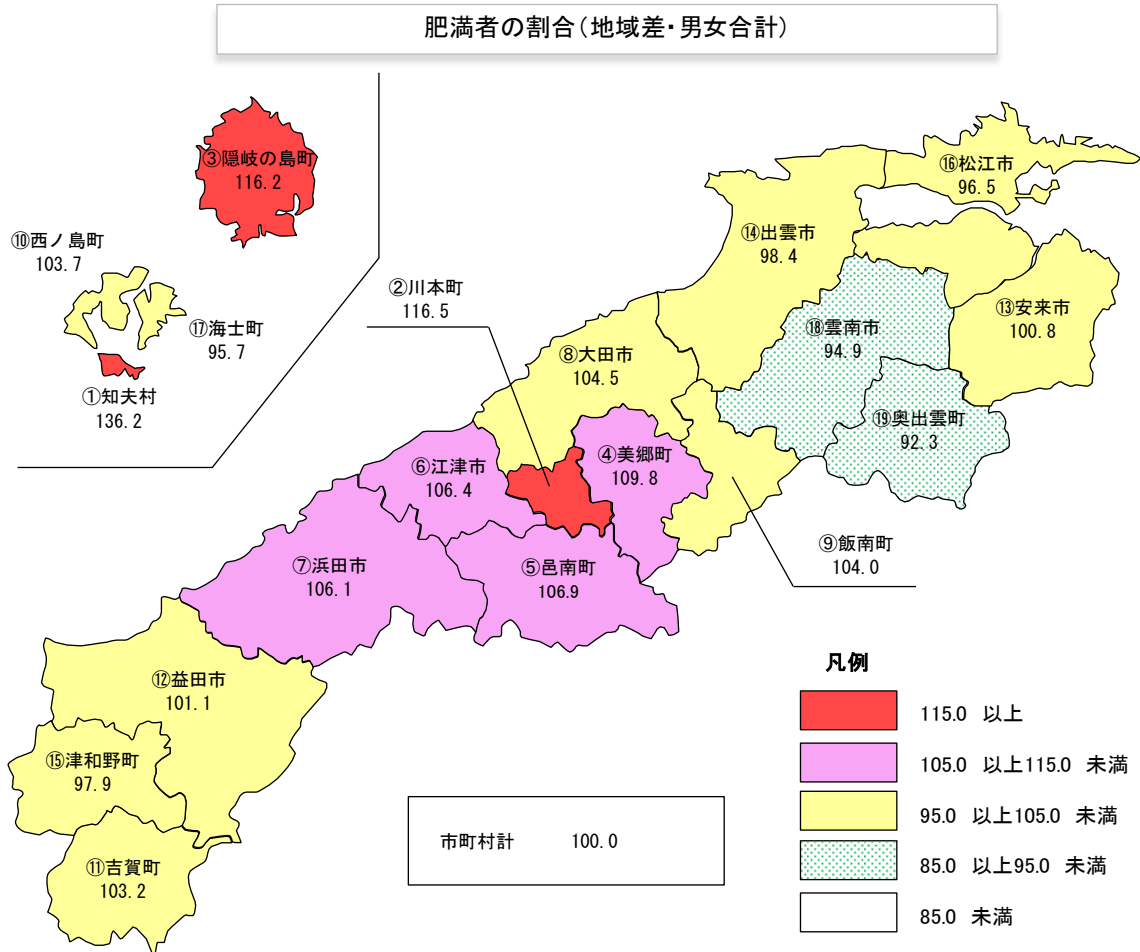


(3) 検査等結果

市町村別及び男女別に、特定健康診査における各検査等の結果を比較する。

① 肥満者の割合

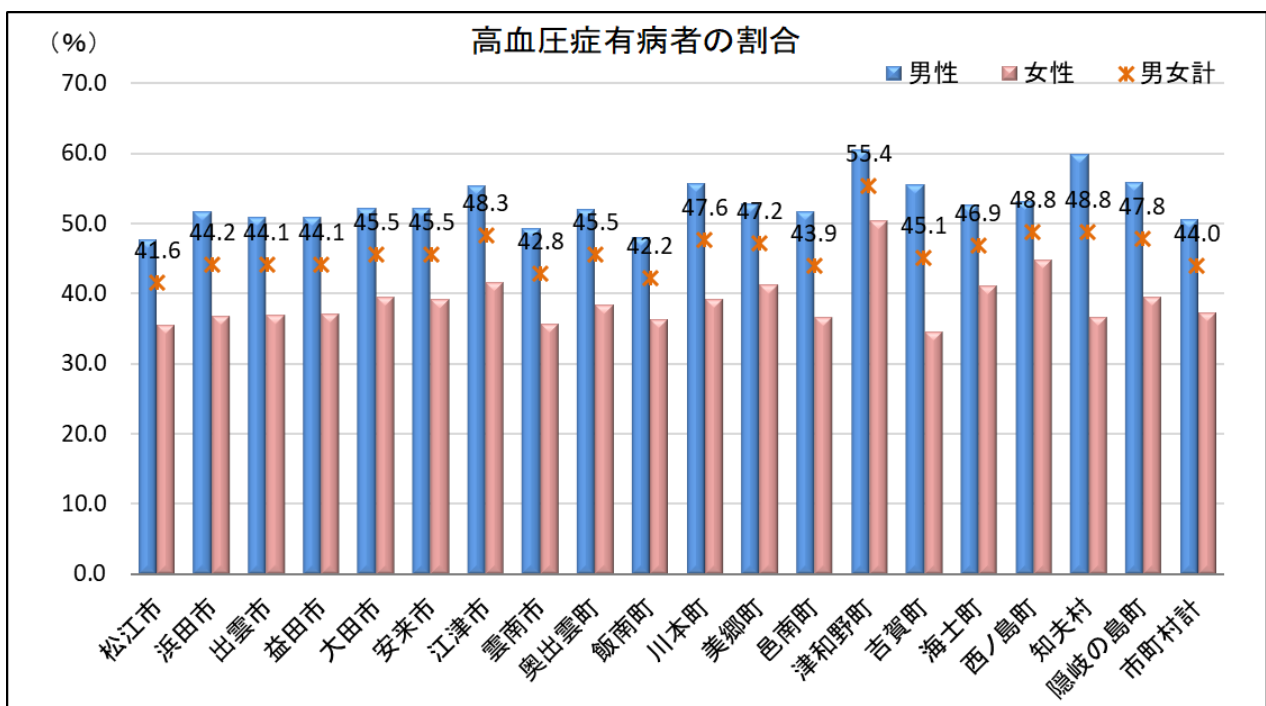
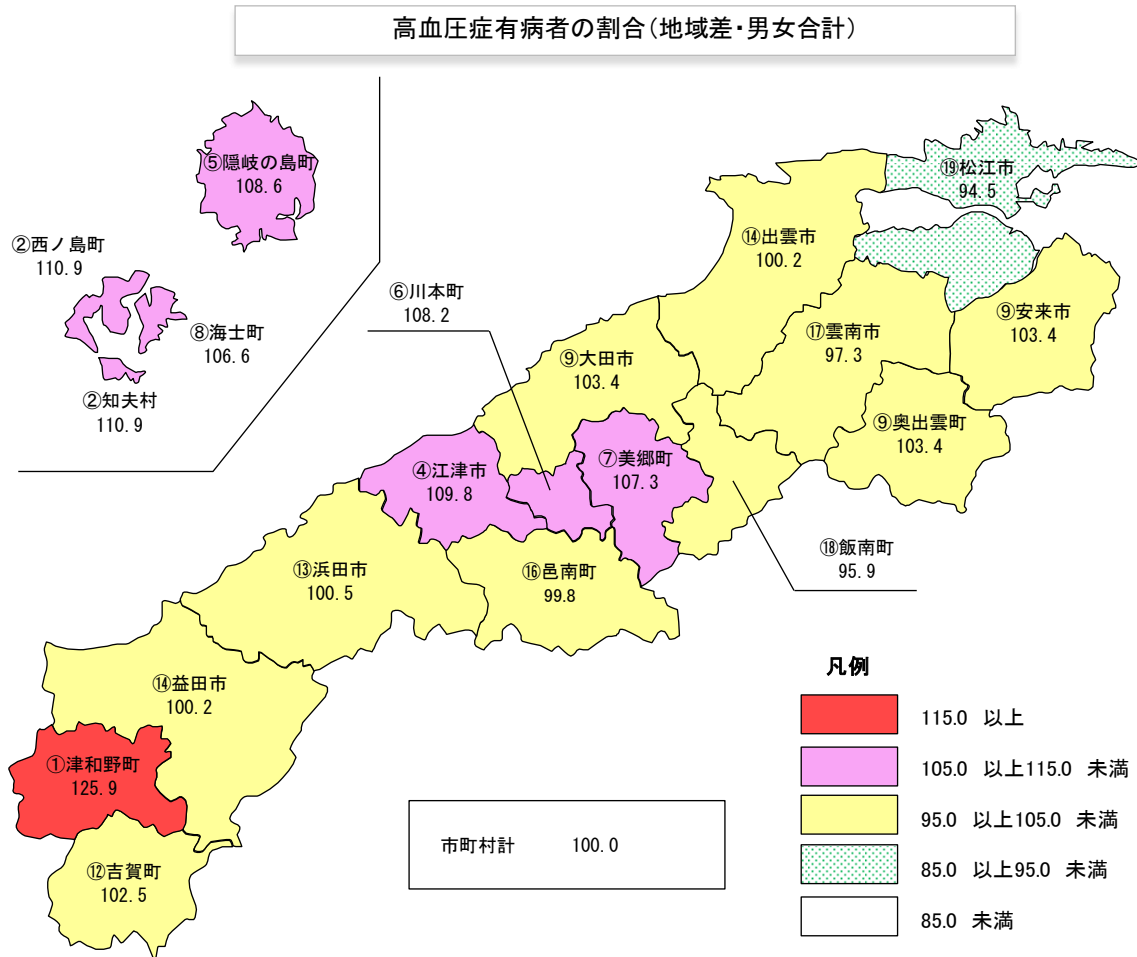
肥満者の割合が最も高いのは知夫村（51.2%）、最も低いのは奥出雲町（34.7%）である。男女別にみると、全ての市町村で男性の割合が高い。



② 高血圧症有病者・予備群の割合

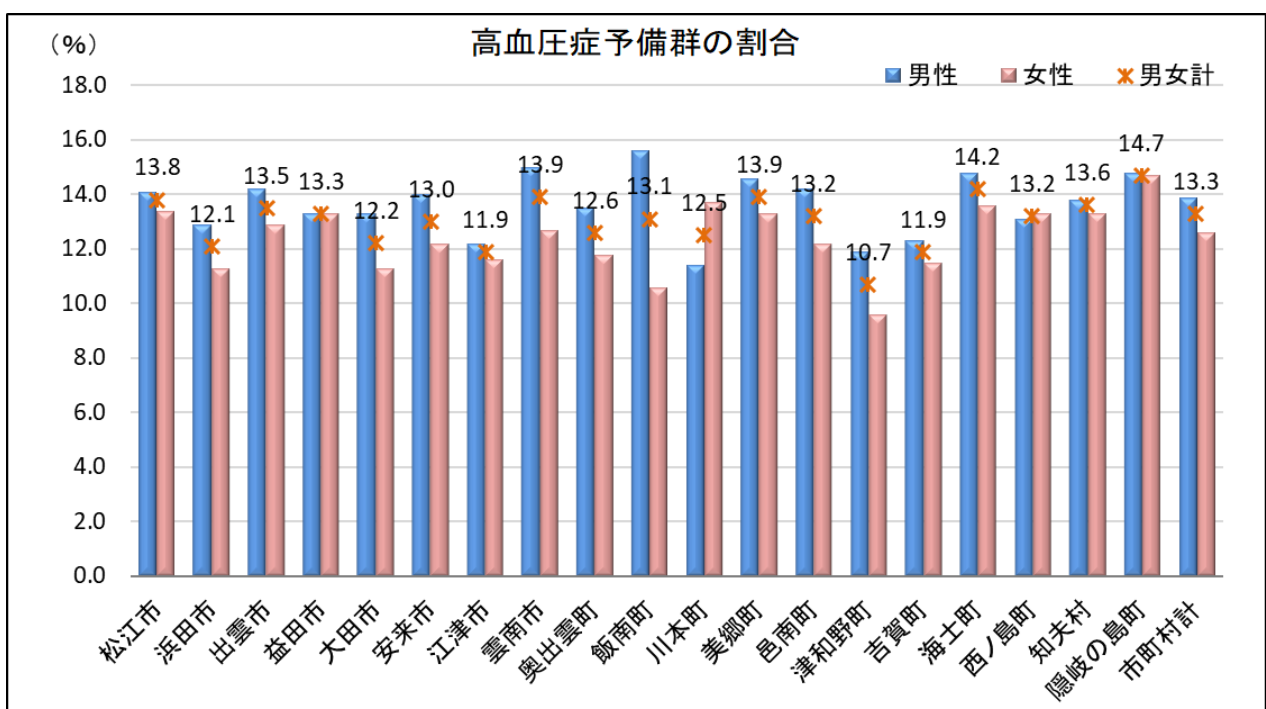
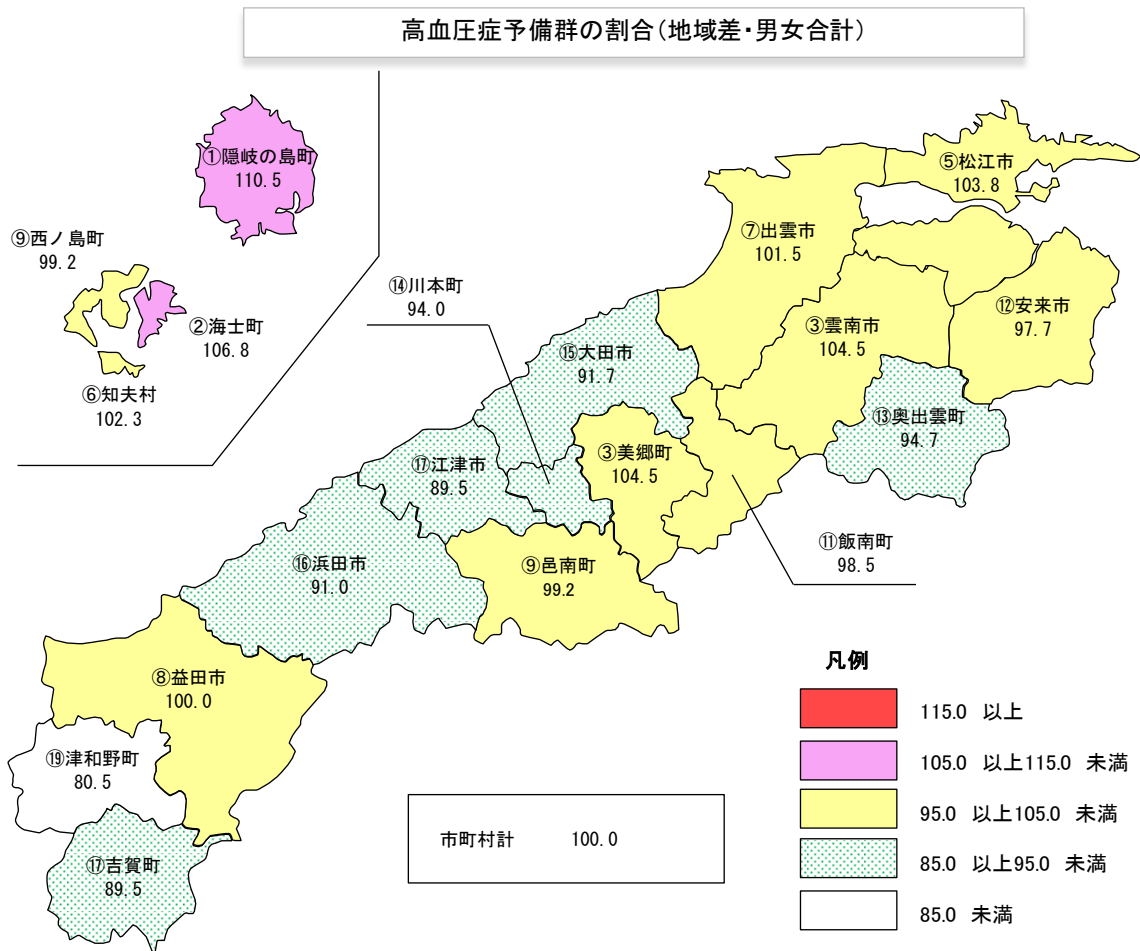
ア 高血圧症有病者

高血圧症有病者の割合が最も高いのは津和野町（55.4%）、最も低いのは松江市（41.6%）である。男女別にみると、全ての市町村で男性の割合が高い。



イ 高血圧症予備群

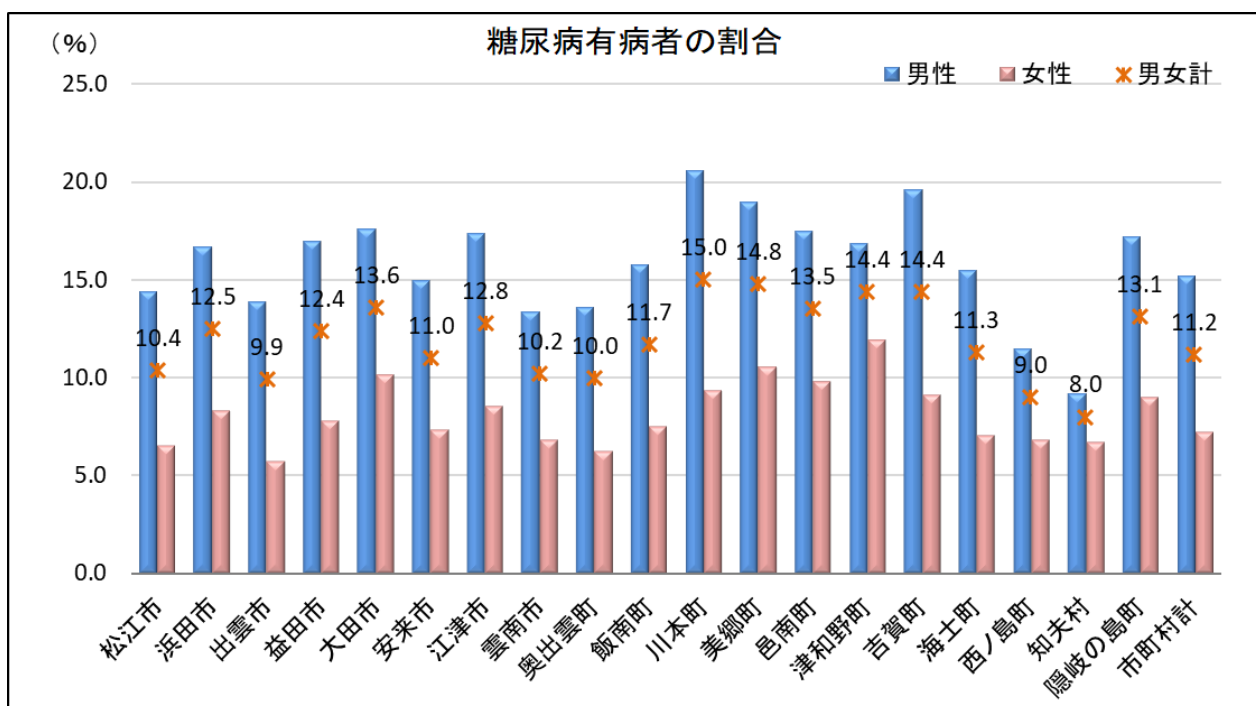
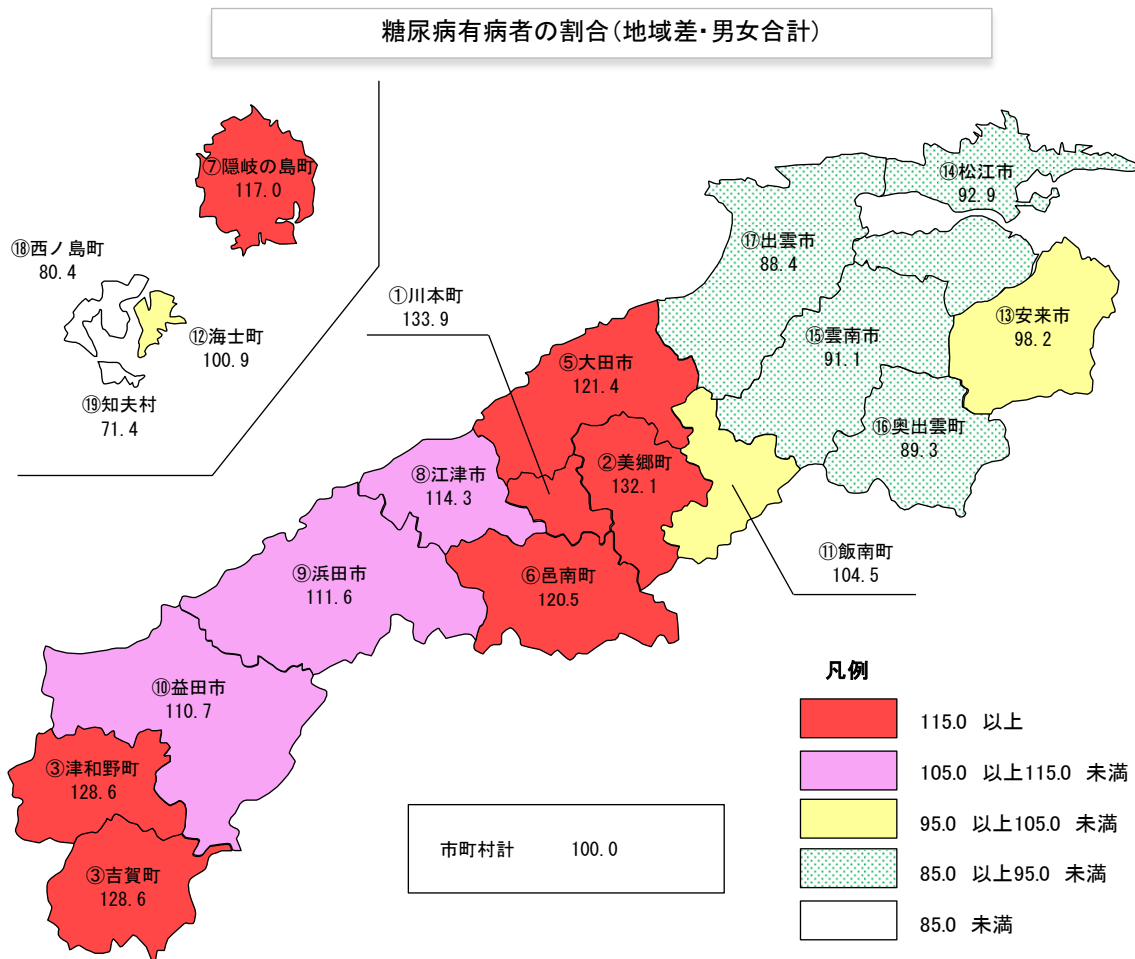
高血圧症予備群の割合が最も高いのは隠岐の島町（14.7%）、最も低いのは津和野町（10.7%）である。



③ 糖尿病有病者・予備群の割合

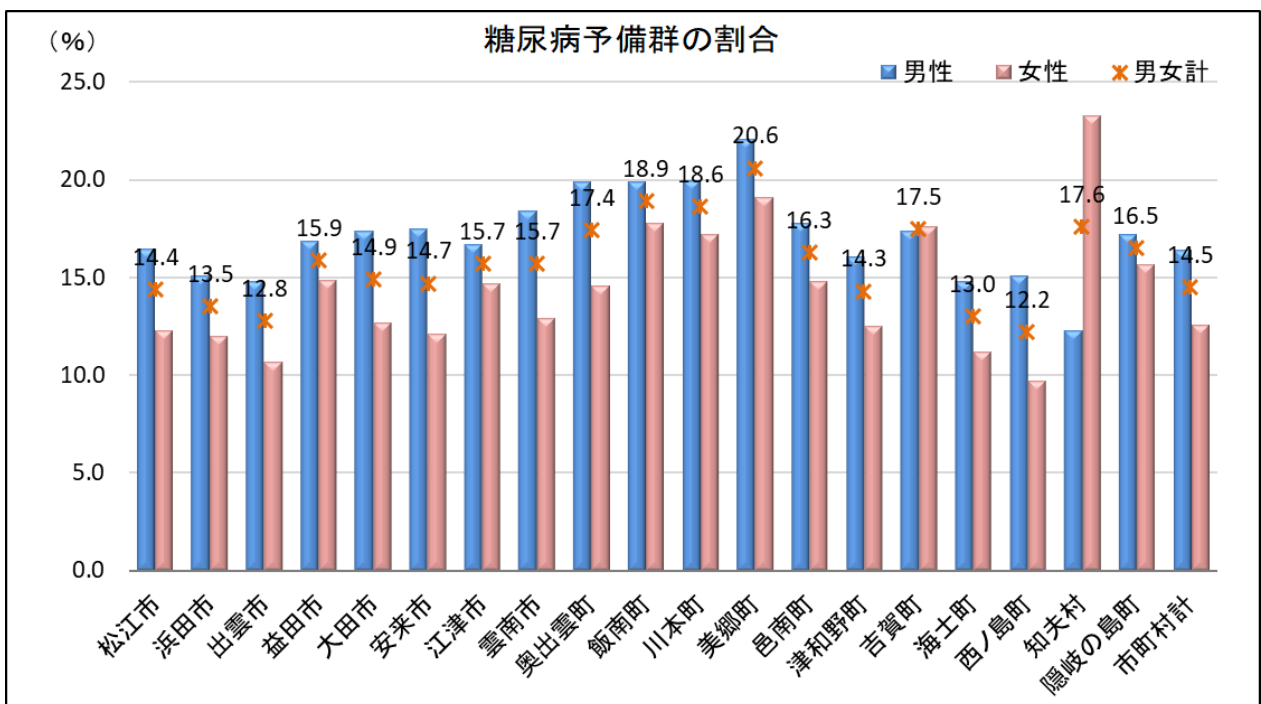
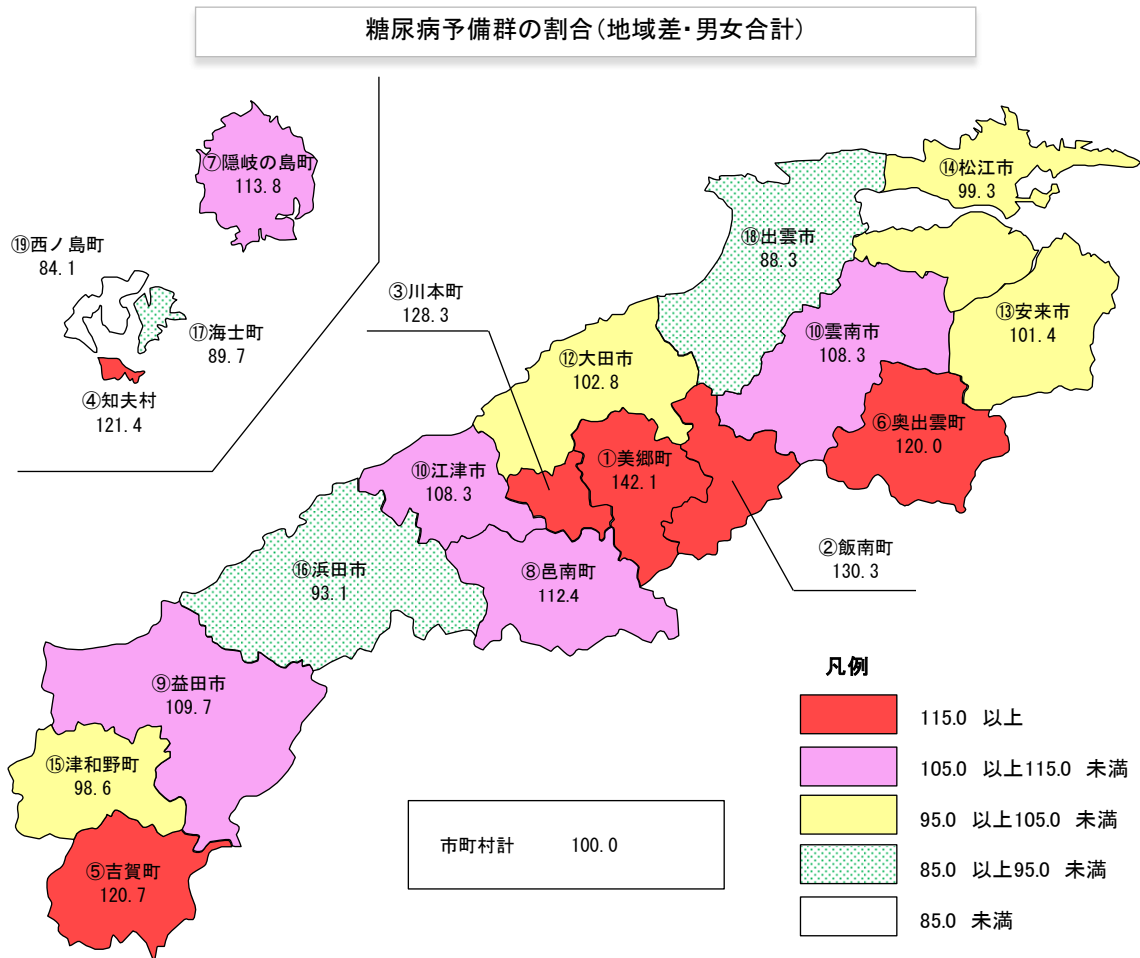
ア 糖尿病有病者

糖尿病有病者の割合が最も高い川本町（15.0%）をはじめ、県中央部及び西部で高い傾向がみられる。最も低いのは知夫村（8.0%）である。男女別にみると、全ての市町村で男性の割合が高い。



イ 糖尿病予備群

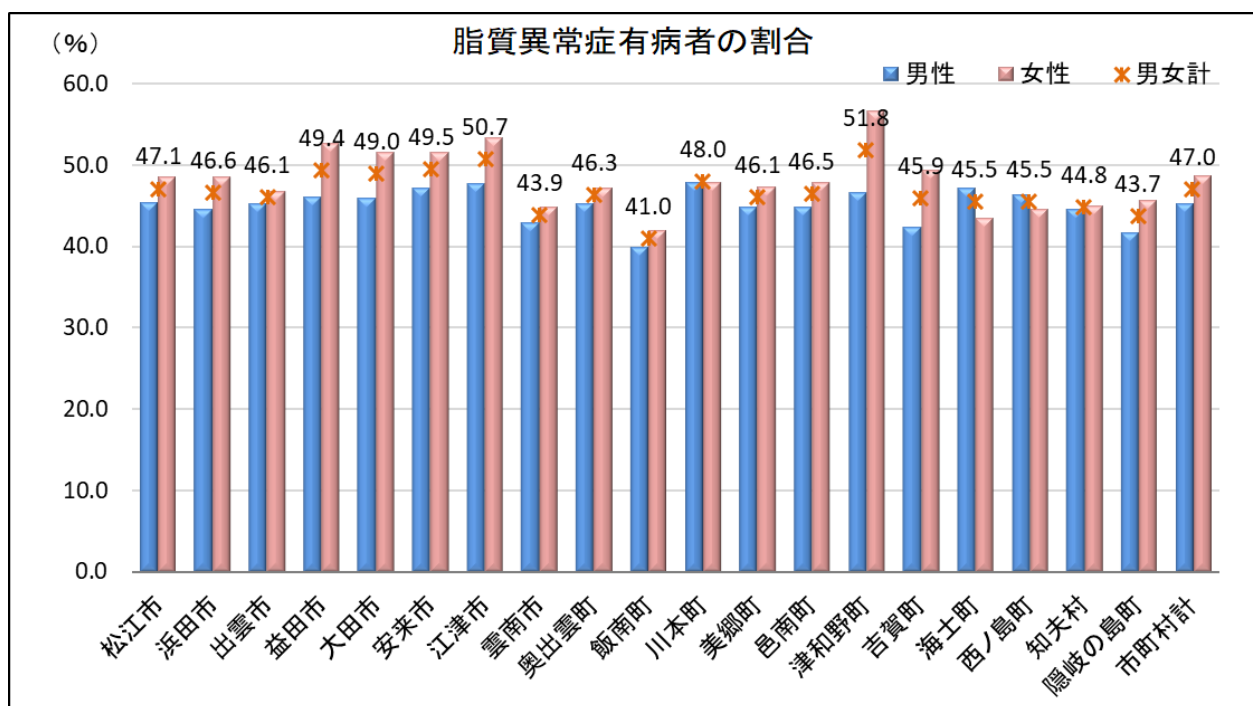
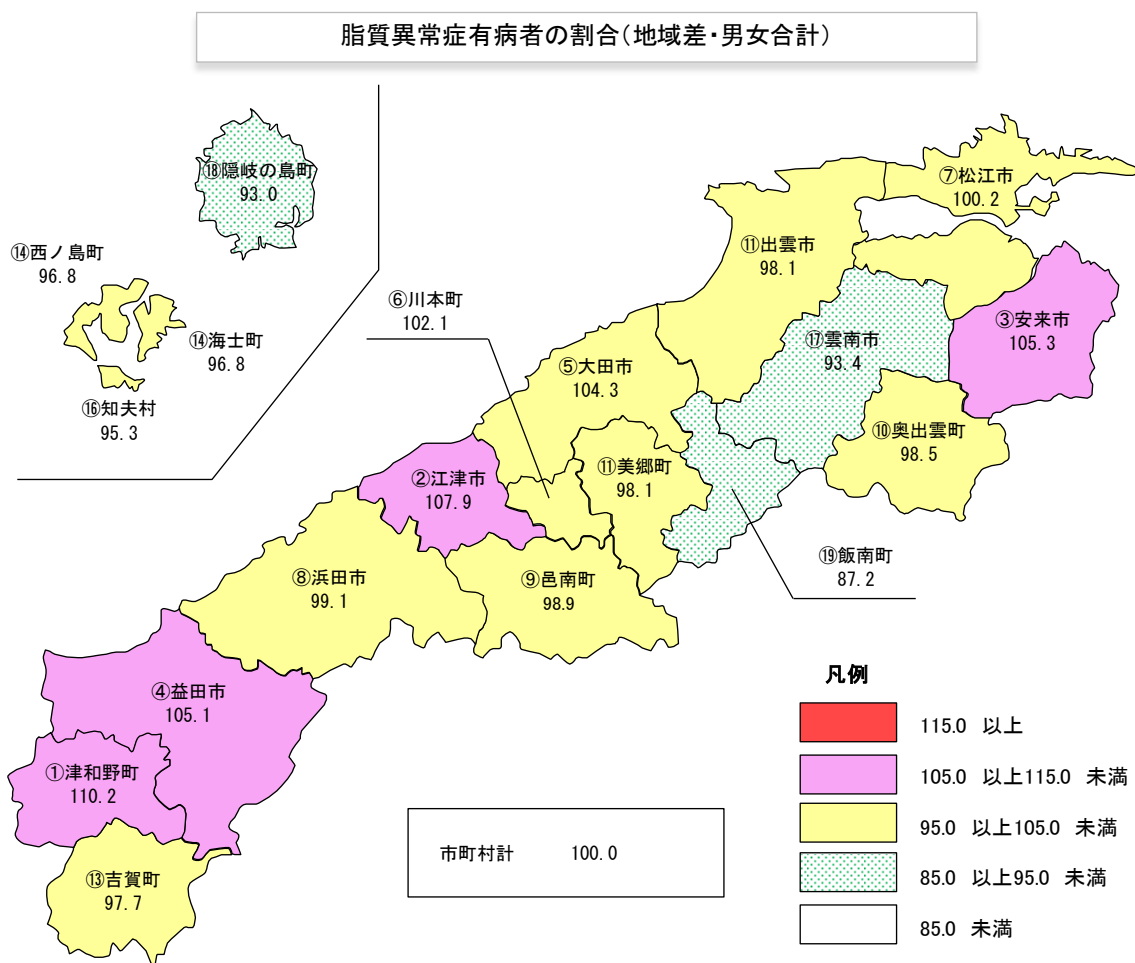
糖尿病予備群の割合が最も高いのは美郷町（20.6%）、最も低いのは西ノ島町（12.2%）である。



④ 脂質異常症有病者・予備群の割合

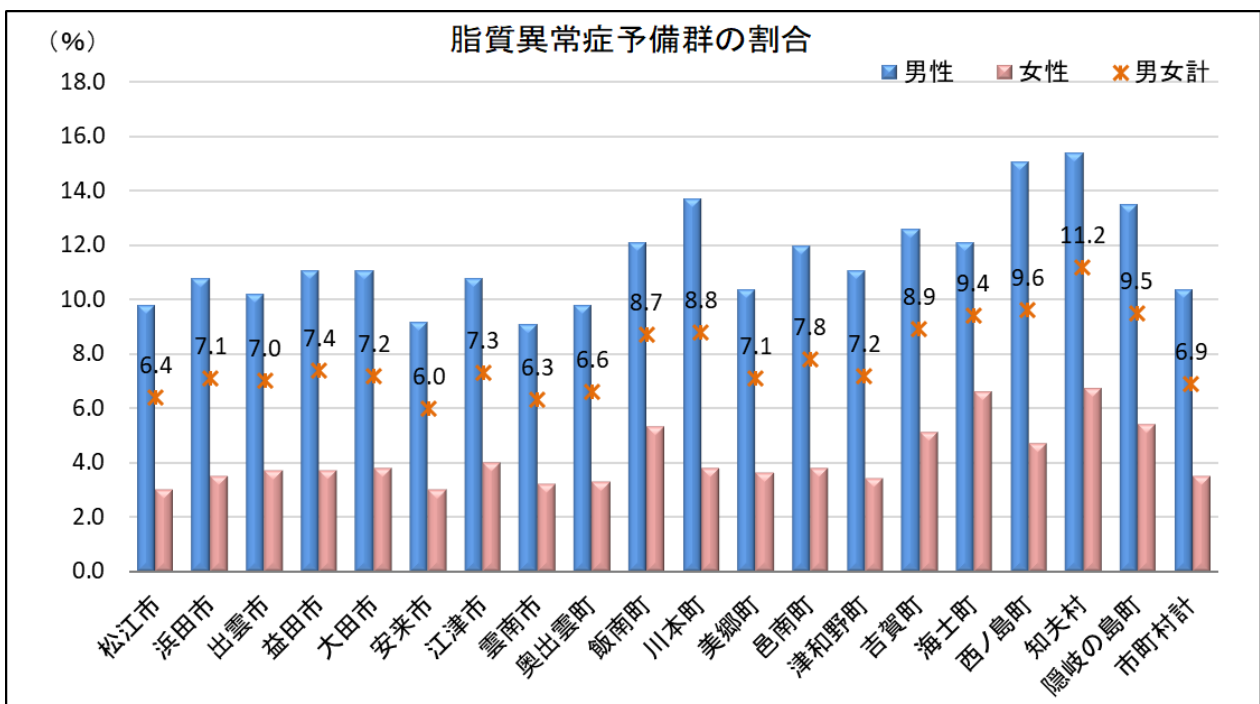
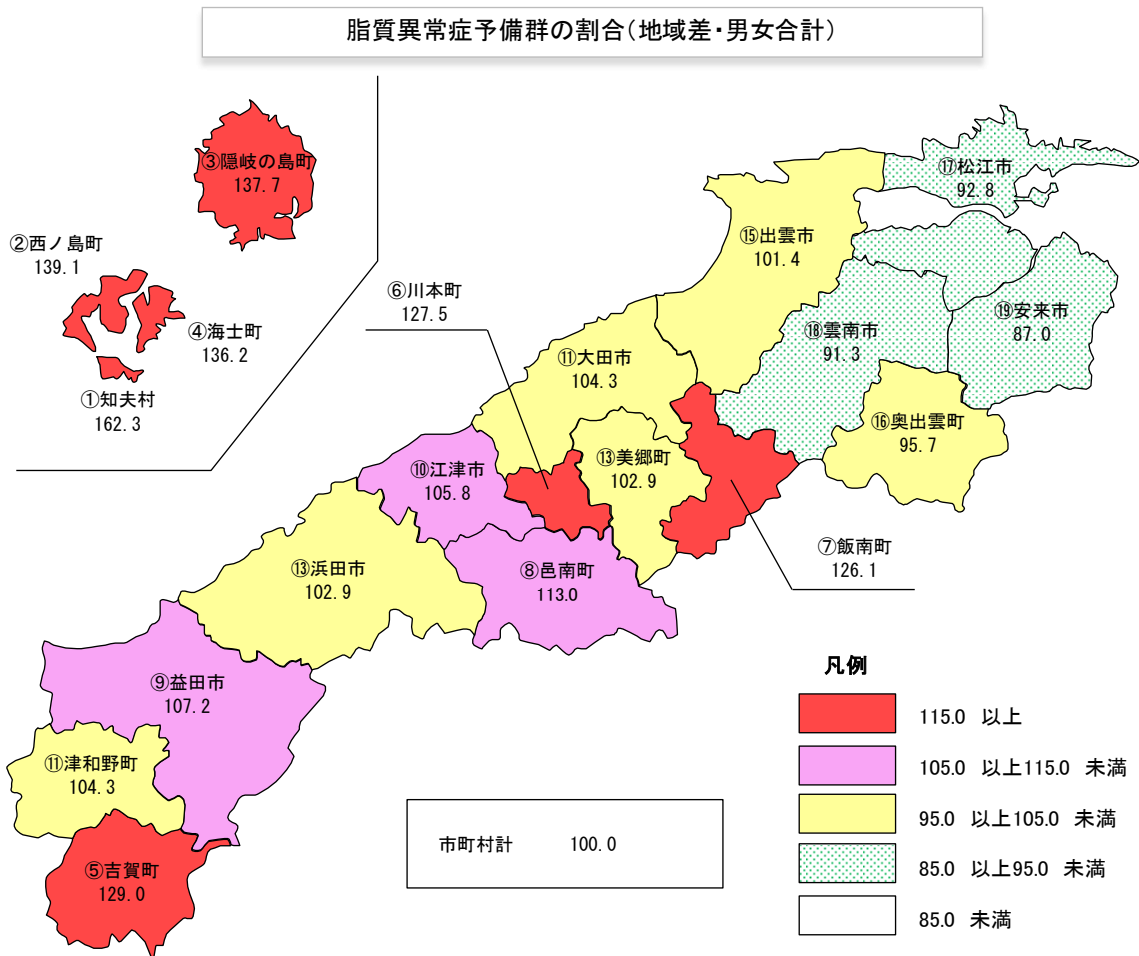
ア 脂質異常症有病者

各市町村における脂質異常症有病者の割合は、市町村計に対して大きな差異は見られない。男女別にみると、ほとんどの市町村で女性の割合が高いが、差は小さい。



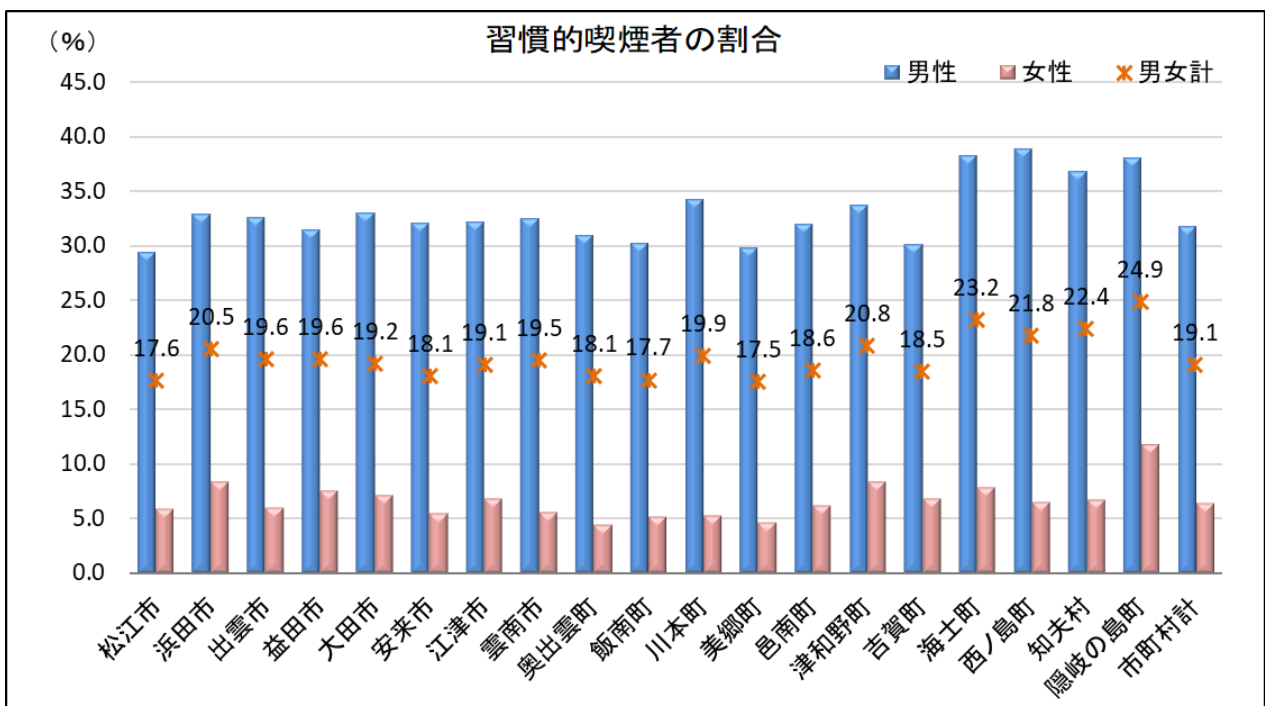
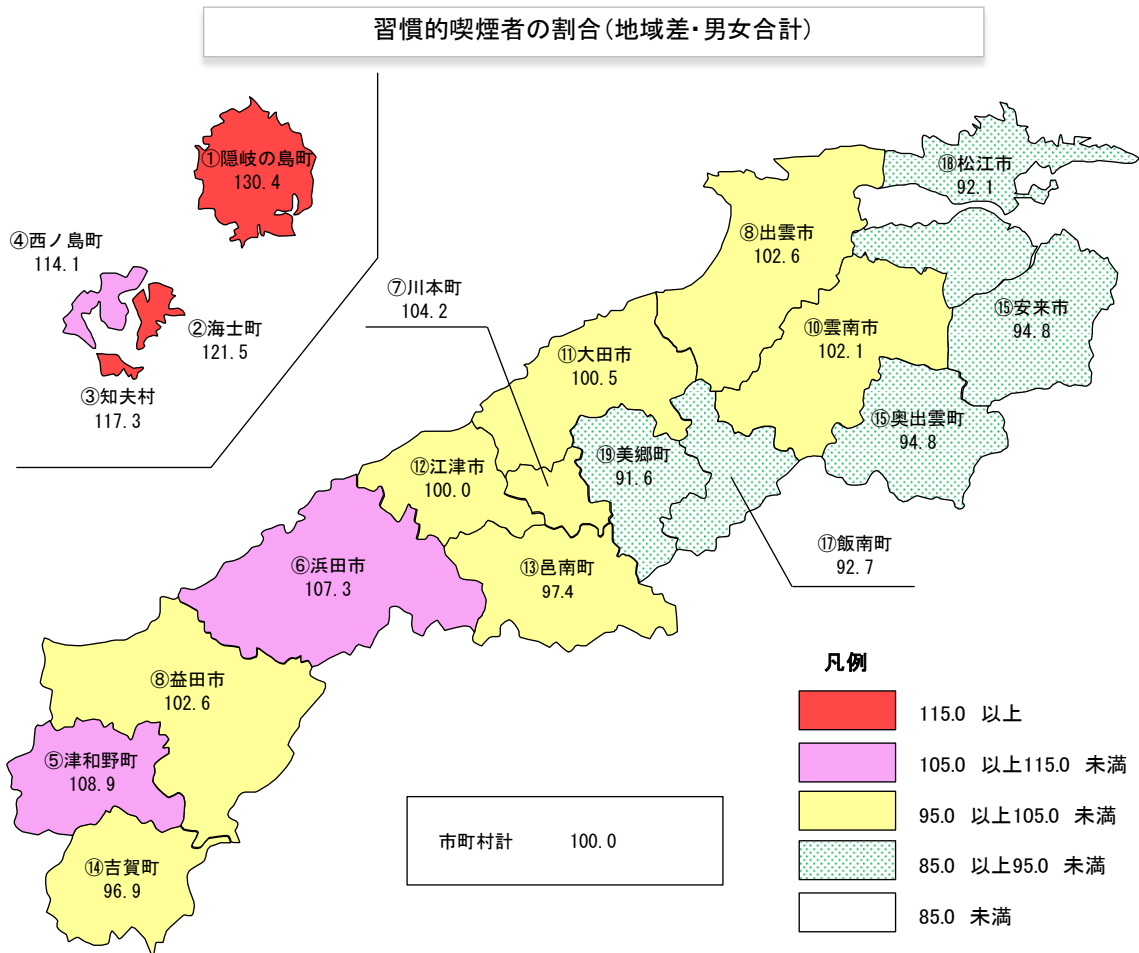
イ 脂質異常症予備群

脂質異常症予備群の割合が最も高いのは知夫村（11.2%）、最も低いのは奥出雲町（6.0%）である。男女別にみると、有病者は女性の方が高かった反面、予備群は男性の方が全ての市町村において高い。



⑤ 習慣的喫煙者の割合

習慣的喫煙者の割合が最も高いのは隠岐の島町（24.9%）、最も低いのは美郷町（17.5%）である。隠岐圏域で高い傾向がみられる。男女別にみると、全ての市町村で男性の割合が高く、差も大きい。



⑥ 毎日飲酒する人の割合

毎日飲酒する人の割合が最も高いのは海士町（32.9%）、最も低いのは西ノ島町（23.9%）である。男女別にみると、全ての市町村で男性の割合が高い。

